

弥生公民館
五十年周年記念誌

弥生公民館

弥生公民館3大事業

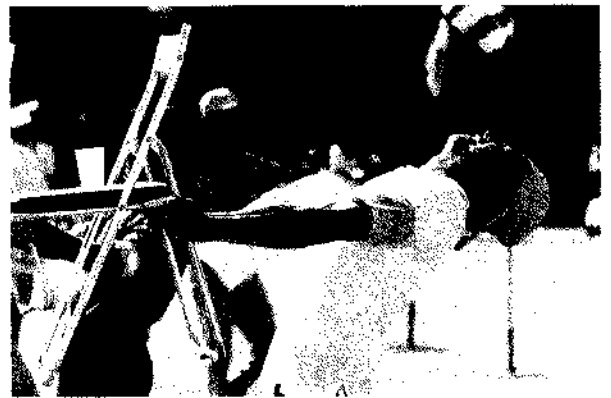
社会体育大会



平成13年



昭和61年



昭和56年



昭和62年

平成4年 抽選会

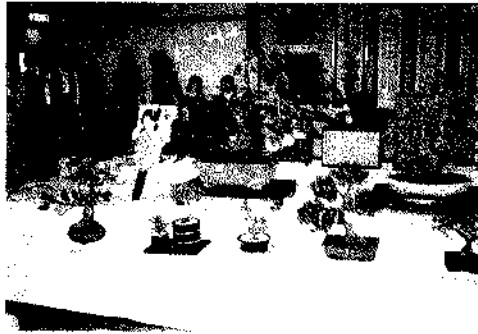


平成12年

平成9年

弥生公民館3大事業

文化祭



昭和58年 旧公民館広間



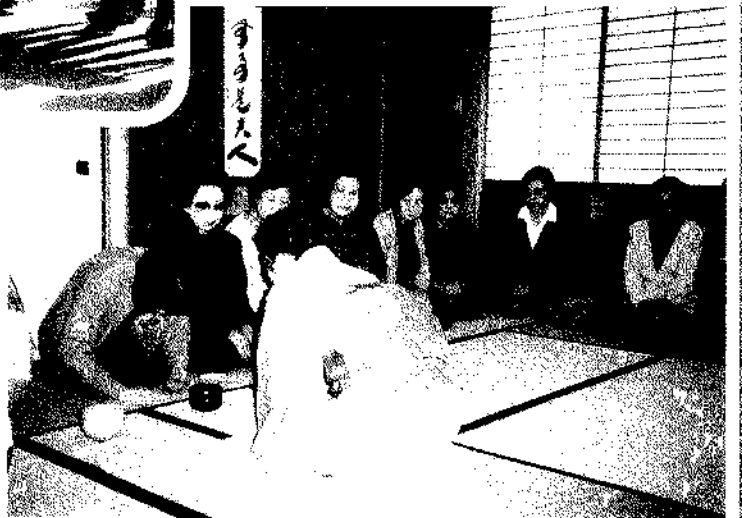
昭和54年 旧公民館前



平成3年
ウォークラリー



平成10年 演奏会



平成9年 お茶会



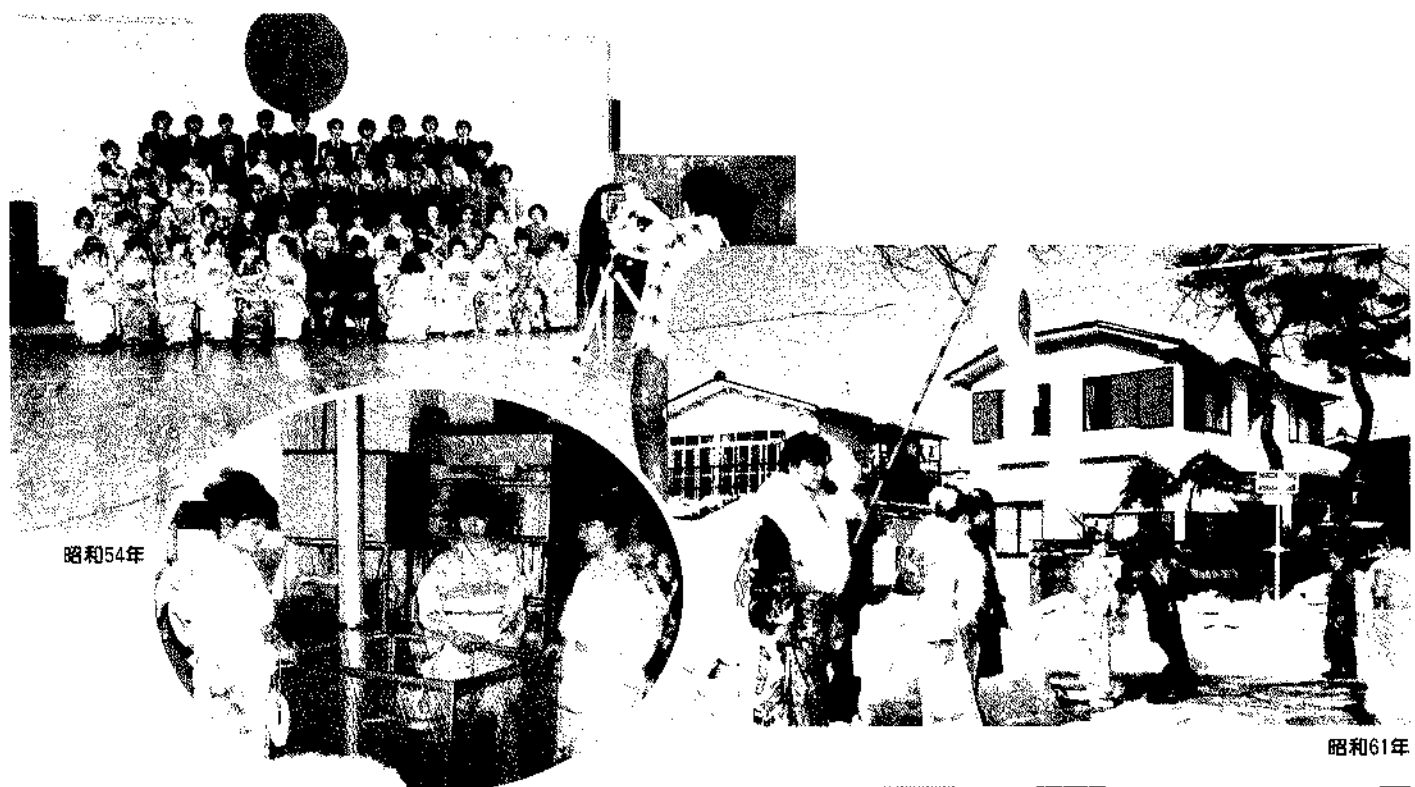
平成13年 リフォーム洋服ファッションショー



平成13年 環境サミット

弥生公民館3大事業

成人式



昭和54年

昭和61年



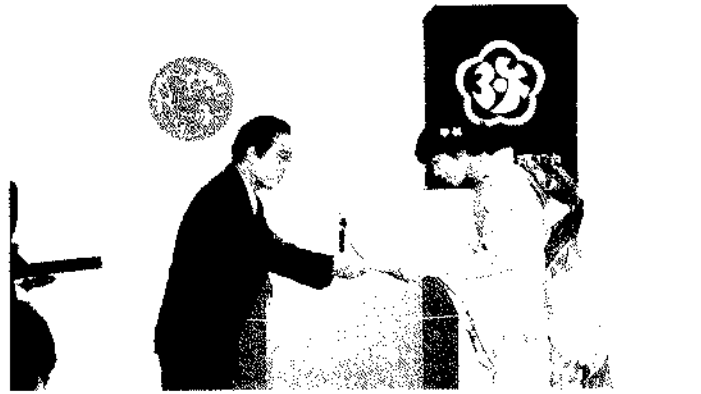
平成10年



平成2年 ビルキントンさんの講演



平成13年



平成11年

写真で見る弥生公民館の歴史



昭和63年 公勇による館章制定



昭和58年 公民館委員会議



昭和61年 弥生会館落成披露「狂喜」



昭和58年 囲碁大会

昭和60年 健全育成映画会



昭和60年 ミニ運動会



昭和62年 子どもたちのためにめった汁作り



昭和59年 ラジオ体操

昭和五八年〜六三年



平成元年 ゲートボール大会



平成元年 提灯行列

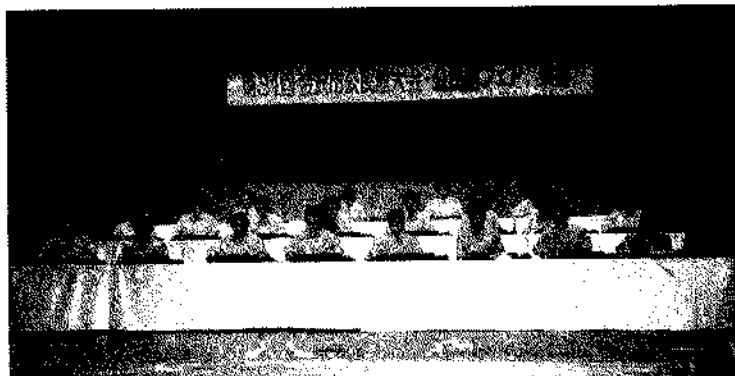


平成2年 歩こう会

平成2年 健全育成地域づくり会議



平成4年
少年消防クラブ結成



平成5年 公民館フェア



平成5年 まちづくり推進会議

平成元年〜五年

平成8年
公民館新館10周年記念植樹



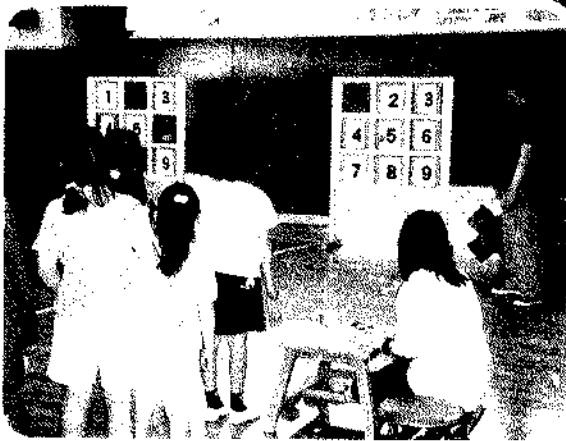
平成8年 マナー向上推進運動



平成9年
さくら学級うたつ山坂めぐり



平成7年 女性学級講演会



平成11年 ストラックアウトゲーム



平成8年
さくら公園オープン



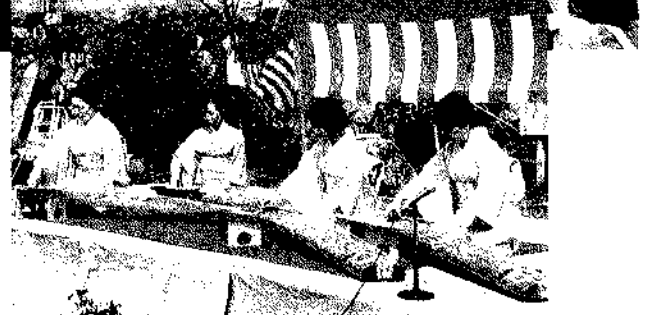
平成10年 第1回防災訓練



平成10年 樹木調査



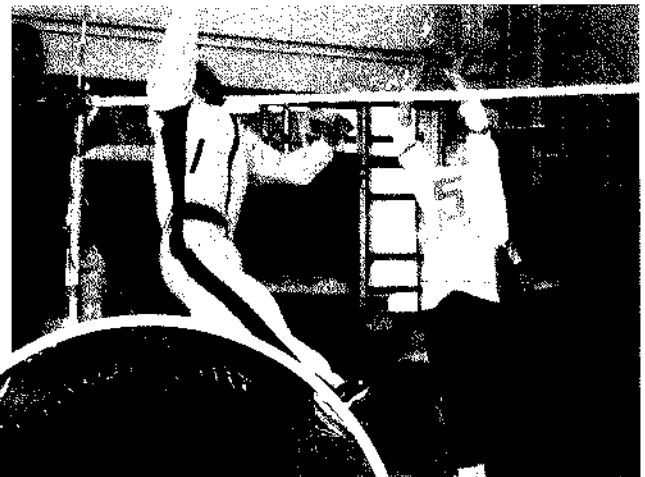
平成13年 弥生さくらまつり



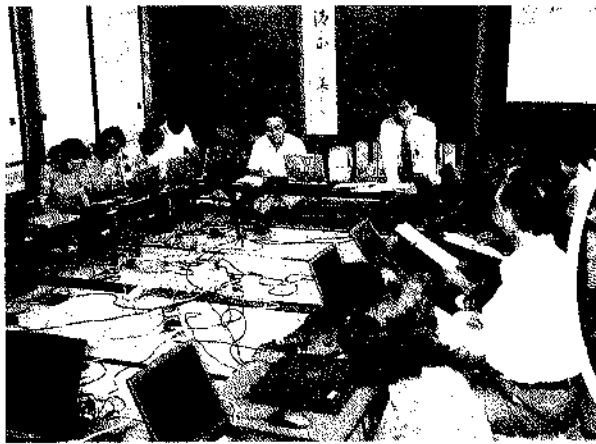
平成12年 さくらまつり



平成12年 大根寿し作り



平成12年
ソフトバレーボール大会



平成13年 IT 講習会



平成12年
弥生の歴史探訪



平成13年 陶芸教室



平成13年 ハビリポート若葉へ手作りふくろうプレゼント

平成十二年・十三年

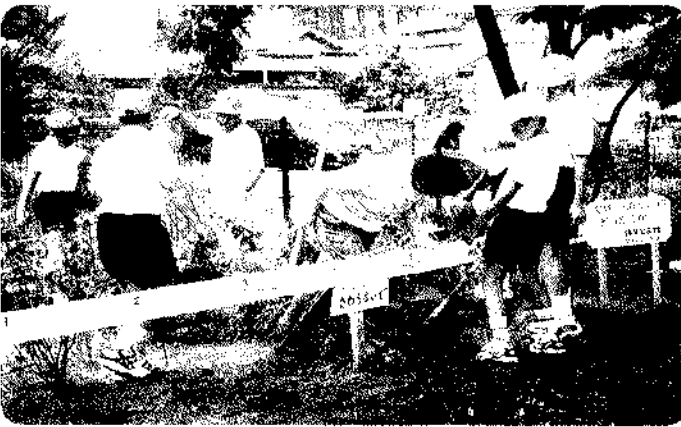
環境にとりくむ弥生公民館



平成12年 高校生が演ずる環境劇



平成12年 夏休みの子供達のごみ分別体験



平成13年 ごみ埋め立て実験



平成13年 公民館フェアで発表、リサイクル小物



平成13年
劇「ゴミたちの環境サミット」



平成13年 エコクッキング



平成13年 古着市



平成13年 児童館の子供達による劇「ごみの行方！」



平成13年 落ち葉清掃

目次

グラビア

弥生公民館3大事業 社会体育大会

文化祭

成人式

写真で見る弥生公民館の歴史

環境にとりくむ弥生公民館

弥生の地形……………守屋以智雄 27

追憶「さくら公園との出会い」……………宮 一郎 29

泉中の出火と弥生小の類焼……………嶋村 正二 34

ジェット機泉二丁目に墜落…………… 35

弥生の事故と出来事…………… 35

暁烏文庫と弥生公民館…………… 36

五十周年を迎えて……………弥生公民館 館長 松下 良 1

祝 辞……………金沢市長 山出 保 2

祝 辞……………金沢市教育長 石原多賀子 3

第二章 回想篇

弥生公民館 創立五十周年記念座談会…………… 37

第一章 沿革篇

弥生公民館歴代館長…………… 5

公民館役員名簿…………… 6

施設の沿革と概要…………… 10

公民館と弥生の歴史…………… 12

第三章 各種団体の活動篇

町会連合会

……………弥生校下町会連合会会長 村西 光男 43

やよい児童館の歩み……………館長 北本 与一 44

社会福祉協議会 弥生地区社会福祉協議会の現況

..... 会長 高田三七雄 45

少年連盟育成会 弥生少年連盟育成委員会の現況

..... 委員長 黒田 悟 46

弥生連合長寿会

..... 弥生連合長寿会会長 野村 辰雄 47

防犯委員会 防犯委員会の現況と今後の活動

..... 会長 喜多 恵 48

交通推進隊 交通推進隊のあゆみ

..... 街頭交通推進隊長 石坂太喜治 49

弥生校下更生保護 弥生校下更生保護の現況

..... 理事 酒井 守三 50

消防団野町分団 金沢市第一消防団野町分団の現況

..... 団長 宮本 哲一 51

第四章 資料編

公民館活動についてのアンケート結果..... 53

弥生年表.....



五十周年を迎えて

弥生公民館 館長 松下 良

天下の書府と讃えられた金沢―そのなかで弥生から木村栄博士（文化勲章受章者、泉野町出身）を始め、数多くの文化人が輩出されました。まさに文教地区弥生でありますことを誇りとしております。

公民館創成期の時代は戦後の動乱が落着きかけ、自主的な活動が芽ばえボランティアと云う言葉がまことに新鮮に聞えた頃でした。

私自身も昭和二十六年（一九五一年）、若くして体育部長に任命され参画したのがご縁で五十年の歳月を公民館と共に歩んで参りました。

「盡而不求」の精神は江川昇前市長から学びました。金沢方式の公民館運営は全国的にも実にユニークな発想として高く評価され、地域の自主性が優先されております。

この弥生の五十年を振り返り地道乍ら確実な歩みを続けて来ました。一言で云えば「和」だと云えましょう。協調と奉仕の精神が弥生の今日の姿だと歴代の館長・役職員のご努力の賜と改めて敬意を表したいと思います。先に『明日の弥生のために』を刊行しました。これからの公民館の果たさねばならない課題も多く運営も大変であります。役職員は勿論、地域の皆様の新しい発想と意識で更なる向上を目指したいと思います。日頃公民館に温かいご理解とご協力頂いている関係各位に心からなる謝意を表し五十年誌発刊のご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

金沢市長 山出 保

弥生公民館が創立五十周年を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

本市の地区公民館は、社会教育の面から地域の発展に大変重要な役割を果たしてまいりました。さらに昨今は人々の学習意欲の高まりにより生涯学習の拠点としての役割に大きな期待が寄せられており、新しい時代に対応した活動が求められております。

弥生公民館では、今日、地球規模で問われている環境問題について早くから様々な角度で取り上げ、活動の輪を広げられてこられました。こうした先駆的な取り組みに心から敬意を表するものであります。近年、地域の連帯感の希薄化が叫ばれており、コミュニティの活性化が課題となっております。また、次代を担う子どもたちが心豊かで思いやりのある人として育っていくためには、地域の教育力を一層高めていかなければなりません。

いずれも、公民館がその中核を担っていくことが望ましく、弥生公民館の今後の取り組みに大きな期待を寄せております。

このたびの公民館創立五十周年を契機に弥生公民館が地域に根ざした活動をさらに進められ、弥生地
区が豊かなまち、住みよいまちとして一層発展されますことを祈念いたしますと共に、今日まで公民館
を支えてこられた関係者の皆様に深く感謝申し上げます、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

金沢市教育長

石 原 多賀子

このたび弥生公民館の創立五十周年にあたり、記念誌が発刊されますことを、心からお祝い申し上げます。

昭和二十六年に開設されました弥生公民館が、地域の社会教育の振興に情熱を傾けた関係者の皆様のご尽力により半世紀の永きにわたって活発な活動を展開してこられたことに深く敬意を表しますと共に感謝を申し上げます。

この五十年の歴史の中で、社会は大きく変化し、私たちの生活は物質面では大変豊かになりました。しかし、今日青少年の心の荒廃など、新たな課題に直面しています。

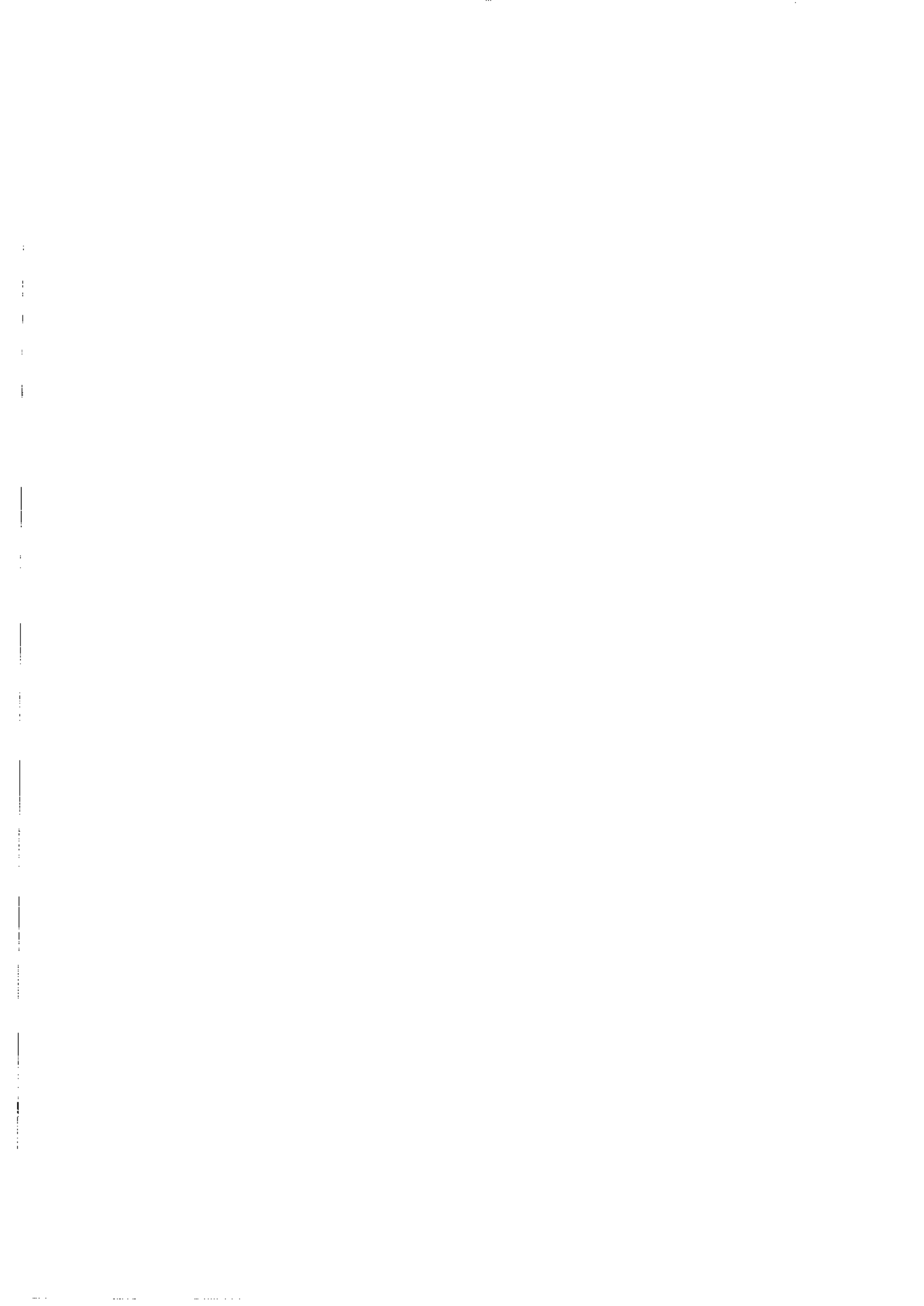
こうした課題に取り組むには、今後一層地域の連帯や教育力が重要になり、公民館は、地域における生涯学習、コミュニティの拠点としてその役割は更に大きくなっていくものと思われまます。

弥生公民館では、子どもたちに身近なゴミの問題をとおして自然との関わりを教え、また、学習をとおして人とのふれあいを進めてこられました。

心豊かな人づくりは、人と自然、人と人とのふれあいをとおして進められていくものであり、これまでの実績から弥生公民館の今後の活動に大いに期待を寄せています。

今後とも公民館活動を軸に、地域におけるコミュニティが活性化され、豊かなまちづくりが一層進みますことをお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

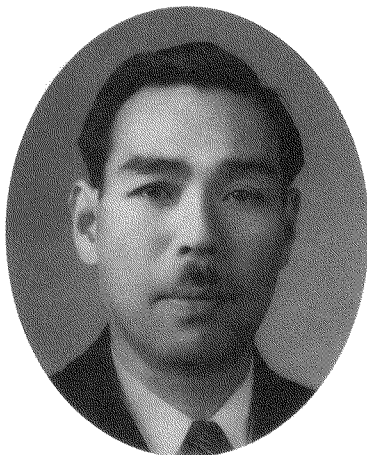
第一章 沿革篇



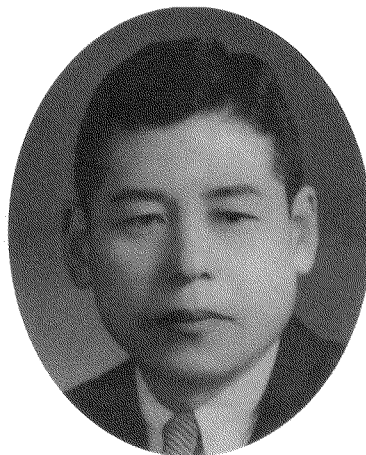
弥生公民館歴代館長



初代館長
松本盛典



4代館長
石田伊三郎



3代館長
山田鉄三郎



2代館長
北中直三



7代館長
松下良



6代館長
寺西忍



5代館長
中村外次

公民館役員名簿

昭和二十六年

委員長 橋本 芳契
書記 高木 茂雄
教養部長 任田 秀雄
産業部長 鶴見 正則
生活改善部長 宗守 薫
視聴覚部長 吉倉 達夫
青年学級部長 松野 茂信

昭和二十七年

公民教育委員長 橋本 芳契
書記 高木 茂雄
産業部長 鶴見 正則
生活改善部長 宗守 薫
体育レクリエーション部長 松野 茂信
教養部長 伊藤 亀雄
福聴覚部長 小松 芳光
青年学級部長 大場 茂

昭和二十八年

館長 松本 盛典
書記 池田 藤作
生活改善部長 宗守 薫
体育レクリエーション部長 松野 茂
教養部長 伊藤 亀雄

昭和二十九年

福聴覚部長 小松 芳光
青年学級部長 大場 茂
館長 松本 盛典
書記 池田 藤作
教養部長 石間 昭次
産業部長 岡村 昭太
生活改善部長 町田 愛子
福聴覚部長 中川 金朔
青年学級部長 東 舜一
青年学級主事 高木 茂雄

昭和三十年

館長 松本 盛典
副館長 山田 鉄三郎
同館長 松岡 久子
文化教養部長 山本 素律
生活改善部長 上坂 美好
福聴覚部長 吉倉 達夫
体育レクリエーション部長 山本 舜一
青年学級部長 岡村 昭太
青年学級主事 高木 茂雄
主事 中川 金朔

昭和三十一年

館長 松本 盛典
副館長 山本 素律
同館長 松岡 久子
文化教養部長 山本 素律
体育レクリエーション部長 角永 晃
青年学級主事 林 秀信
主事 中川 金朔

昭和三十一年

館長 松本 盛典
副館長 山田 鉄三郎
青年学級主事 寺賀仁三郎
主事 中川 金朔

昭和三十一年

館長 北中 直三
副館長 池端 幸和
同館長 松岡 敦子
青年学級主事 寺賀仁三郎
主事 中川 金朔

昭和三十四年

館長 北中 直三
副館長 長沢 嘉一
同館長 松岡 敦子
成人教育委員長 林 秀信
主事 中川 金朔

昭和三十五年

館長 北中 直三
副館長 長沢 嘉一
同館長 寺西 登美子
會計 山岸 春生
青年学級主事 北本 与一
文化教養部長 林 秀信
生活改善部長 寺西 登美子
福聴覚部長 平野 正毅
青年学級部長 酒井 守三
青少年育成部長 松本 政男
主事 中川 金朔

昭和三十六年

館長 山田 鉄三郎
副館長 長沢 嘉一
同館長 山上 芳雄
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和三十七年

館長 山田 鉄三郎
副館長 長沢 嘉一
同館長 山上 芳雄
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和三十八年

館長 山田 鉄三郎
副館長 長沢 嘉一
同館長 山上 芳雄
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和三十九年

館長 石田 伊三郎
副館長 山田 鉄三郎
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和四十年

館長 石田 伊三郎
副館長 山田 鉄三郎
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和四十一年

館長 石田 伊三郎
副館長 山田 鉄三郎
會計 山岸 春生
文化教養部長 山本 素律
主事 中川 金朔

昭和四十一年度

館長 石田伊三郎
副館長 山田鉄三郎
監事 山本素律
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋場春樹
視聽覚教育部長 平野正竜
主事 中川金朔

昭和四十二年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 山本素律
文化教養部長 山本素律
体育部長 石坂弥重郎
視聽覚教育部長 手島晟重
主事 中川金朔

昭和四十三年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 山本素律
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋場春樹
視聽覚教育部長 手島晟重
主事 中川金朔

昭和四十四年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和四十五年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和四十六年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和四十七年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和四十八年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和四十九年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十一年度

館長 中村外次
副館長 相川久雄
監事 市村治之
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十二年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十三年度

館長 石田伊三郎
副館長 林秀信
監事 中村外次
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十四年度

館長 中村外次
副館長 相川久雄
監事 市村治之
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十五年度

館長 中村外次
副館長 相川久雄
監事 市村治之
文化教養部長 山本素律
体育部長 橋爪豊康
視聽覚教育部長 平野正義
主事 中川金朔

昭和五十六年度

館長 中村 外次
副館長 梶 金二
成人教育部長 越野 外至男
生活改善部長 小林 美智子
社会体育部長 折高 啓一
青少年育成部長 中川 嘉久
会計 北川 政男
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

昭和五十七年度

館長 寺西 忍
副館長 松下 良
会計 北川 政男
成人教育部長 越野 外至男
社会体育部長 水野 郁夫
生活改善部長 小林 美智子
青少年育成部長 中川 嘉久
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

昭和五十八年度

館長 寺西 忍
副館長 松下 良
会計 北川 政雄
成人教育部長 越野 外至男
社会体育部長 水野 郁夫
青少年育成部長 小林 務

生活改善部長 沢田 澄子
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

昭和五十九年度

館長 寺西 忍
副館長 松下 良
会計 北川 政男
成人教育部長 越野 外至男
社会体育部長 水野 郁夫
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 沢田 澄子
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

(10月より)

昭和六十年度

館長 松下 良
副館長 北川 政男
会計 越野 外至男
成人教育部長 水野 郁夫
社会体育部長 水野 郁夫
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 沢田 澄子
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

昭和六十一年度

館長 松下 良
副館長 北川 政男
会計 北川 政男
成人教育部長 水野 郁夫
社会体育部長 水野 郁夫
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 沢田 澄子
主事 清水 正男
運営審議委員長 橋爪 豊康

会計 矢来 正
成人教育部長 小川 務
青少年育成部長 米村 みさ子
生活改善部長 宮岸 喜正
社会体育部長 柿木 源吾
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

昭和六十一年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

昭和六十二年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

主事 柿木 源吾
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

平成元年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

平成二年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

平成三年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

平成四年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

平成五年度

館長 松下 良
副館長 河村 富雄
会計 矢来 正
成人教育部長 宮岸 喜正
社会体育部長 小川 務
青少年育成部長 小林 務
生活改善部長 米村 みさ子
主事 伊藤 信子
副館長 伊藤 信子
運営審議委員長 林 秀信

會計 矢來 正
 成人教育部長 宮岸 喜正
 社会体育部長 能村 良
 青少年教育部長 森 和枝
 生活教育部長 河村 富雄
 広報部長 柿木 源吾
 主 務 黒田 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 藤井 澄文

平成六年度

館長 松下 良
 副館長 河村 富雄
 會計 矢來 正
 成人教育部長 宮岸 喜正
 体育部長 能村 良
 青少年教育部長 米田 礼子
 女性教育部長 河村 富雄
 広報部長 柿木 源吾
 主 務 黒田 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成七年度

青少年教育部長 能村 良
 女性教育部長 米田 礼子
 高齢者教育部長 寺西 泰子
 広報部長 遠藤美奈子
 主 務 柿木 源吾
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成八年度

館長 松下 良
 副館長 柿木 源吾
 會計 朝倉恵美子
 総務部長 酒井 守三
 成人教育部長 宮岸 喜正
 体育部長 能村 良
 青少年教育部長 山岸由紀子
 女性教育部長 宮下 菊枝
 高齢者教育部長 遠藤美奈子
 広報部長 寺西 泰子
 主 務 黒田 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成九年度

体育レクリエーション部長 宮岸 喜正
 青少年教育部長 小林 務
 女性教育部長 山岸由紀子
 高齢者教育部長 徳山 慎一
 広報部長 遠藤美奈子
 主 務 寺西 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成十年度

館長 松下 良
 副館長 柿木 源吾
 會計 酒井 守三
 総務部長 荒木 郁雄
 文化事業部長 能村 良
 体育レクリエーション部長 宮岸 喜正
 青少年教育部長 小林 務
 女性教育部長 山岸由紀子
 高齢者教育部長 徳山 慎一
 広報部長 坂本 朝子
 視聴覚部長 谷口 理子
 主 務 寺西 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成十一年度

総務部長 荒木 郁雄
 文化事業部長 能村 良
 体育レクリエーション部長 宮岸 喜正
 青少年教育部長 小林 務
 女性教育部長 山岸由紀子
 高齢者教育部長 徳山 慎一
 広報部長 坂本 朝子
 視聴覚部長 室田 喜作
 主 務 寺西 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成十二年度

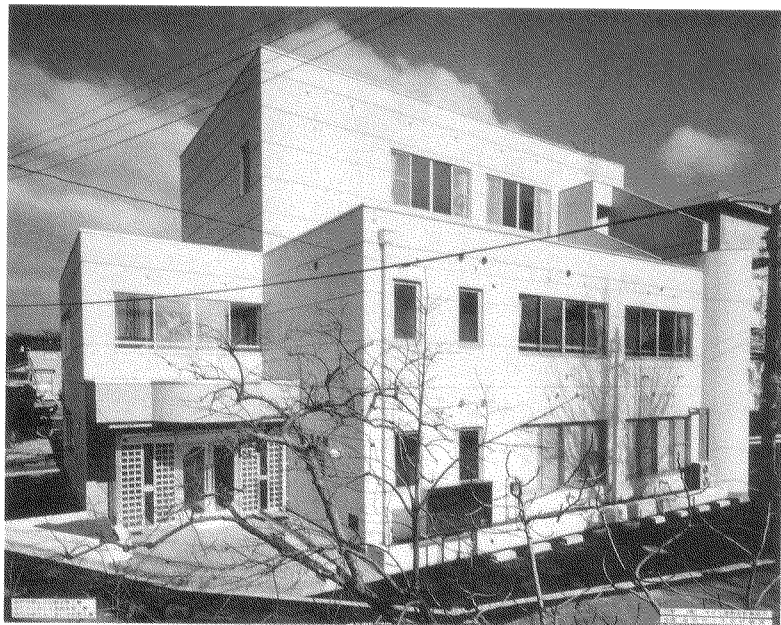
館長 松下 良
 副館長 荒木 郁雄
 會計 酒井 守三
 総務部長 荒木 郁雄
 文化事業部長 能村 良
 体育レクリエーション部長 小林 務
 青少年教育部長 宝田 喜作
 高齢者教育部長 徳山 慎一
 女性教育部長 野々市由美子
 広報部長 坂本 朝子
 視聴覚部長 野村 依正
 主 務 寺西 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

平成十三年度

館長 松下 良
 副館長 荒木 郁雄
 會計 酒井 守三
 総務部長 荒木 郁雄
 文化事業部長 能村 良
 体育レクリエーション部長 小林 務
 青少年教育部長 宝田 喜作
 高齢者教育部長 徳山 慎一
 女性教育部長 野々市由美子
 広報部長 奥谷 陽一
 視聴覚部長 野村 依正
 主 務 寺西 泰子
 事務 黒田 泰子
 運営審議委員長 北本 与一

施設の沿革と概要

旧公民館建物は、昭和二十三年四月、石川師範学校敷地（現弥生小学校）に、暁烏文庫として建設されたものを、文庫の金沢大学への移転により、文部省から金沢市が払い下げを受け、昭和三十年六月、公民館に改装された。建坪一二九平方米（延二五二一平方米）、木造二階建、モルタル塗の建物で、昭和三十四年九月、弥生小学校の火災で、一部破損したため、修繕工事がおこなわれ、昭和六十一



陽光に輝く新弥生公民館

年四月に、新館に移転するまで、弥生公民館として使用された。三十年間余にわたって、校下の皆様のあらゆる集会の場として、住民の連帯意識や教養の向上に貢献し、また社会福祉や青少年の健全育成にも重要な役割を果たした。

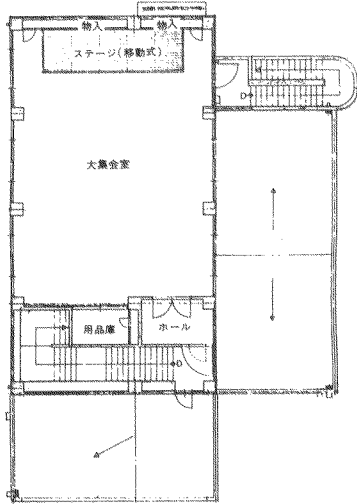
現在の会館は、弥生二丁目二十九番地十三号に、建設費一億三千八百四十五万五千円で、昭和六十一年四月に新築され、老人憩いの家と児童館が併設された鉄筋コンクリート造り三階建て、床面積七百五十八平方米で、一階のフロアには老人室、和室研修室、調理実習室、談話室、事務室がある。二階は、児童館のプレールーム、児童研修室に公民館図書室が設置されている。三階は、公民館大ホール（一五〇名）になっている。三階ホールには、ピアノ（U3A）が備えられている。平成十一年三月、新築十三年目を迎え、外装の汚れも目立ち、また、屋上の漏水が発生したので、外壁改修、防水改修工事を行った。



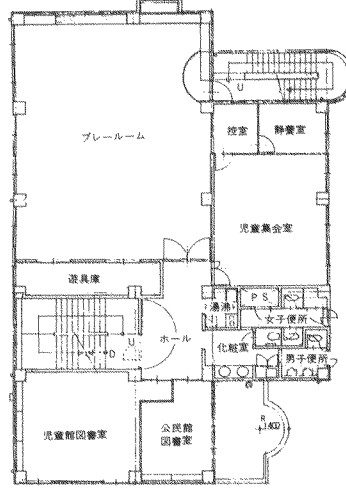
竣工式で拍手を打つ江川昇前金沢市長

新館平面図

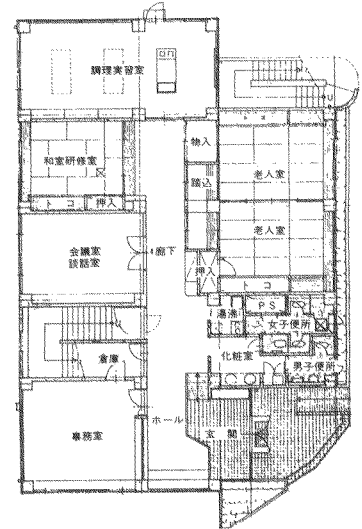
3階平面図



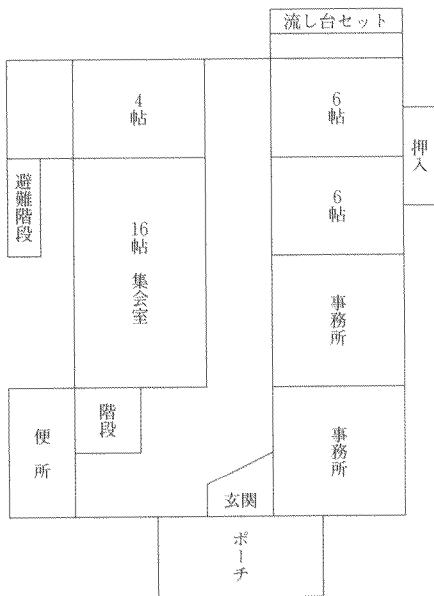
2階平面図



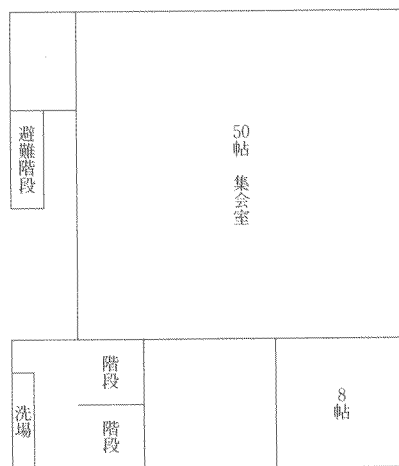
1階平面図



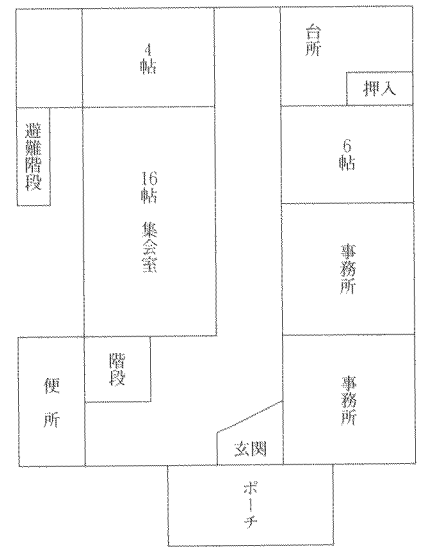
旧館平面図



増築及模様替
1階平面図



2階平面図



1階平面図

公民館と弥生の歴史

公民館の設置と弥生公民館の創設

太平洋戦争の敗戦で、国内は産業が荒廃し食料難とインフレ、思想的混乱に陥っていた。

日本の再建は民主主義に基づく平和的な文化国家が目標とされた。昭和二十一年七月五日、文部省次官通牒で、全国市町村に、公民館を設けることが奨励された。

その趣旨は

- 1 地域住民が自由に読書し、話し合える場
- 2 個人の生活や、地域の産業について指導を受けられる場
- 3 各種の行事によって、教養を高め、娯楽が得られ、相互の親睦を深められる場

の三点にあった。中央官庁の意向を受けた県当局や軍政隊の指導で、石川県下百八十全市町村に公民館が設置され、百パーセント普及率となったのは、昭和二十六年七月一日であり、『公民館県』と称された過去も有する。

教育基本法・学校教育法により学制改革が方向づけられたのは昭和二十二年である。この改革で、本県の各種専門学校が昇格統合され、新制の金沢大学が発足した。旧師範学校の校舎に入っていた金沢大学教育学部は昭和二十七年二月十日、金沢城址へ移転した。併設されていた付属小学校は、それより早く広坂へ移り、新しい付属小学校が誕生した。

昭和二十四年四月一日、旧師範学校付属小学校舎は金沢市に移管、金沢市立野町小学校弥生分校が入校、さらに二十五年十月三十日、弥生小学校が開校した。

昭和26年（1951）

十月一日公民教育委員会が発足し、弥生公民館は弥生小学校内に併置された。そのため、公民館委員長は橋本芳契氏（金沢大学教育学部教官）、事務局長は高木茂雄氏（弥生小学校教諭）の両氏が兼任の形で担当した。また、教養・産業・生活改善・視聴覚・体育レクリエーション・青年学級の各部には地元在住者が参加・協力した。なお、経費は校下負担を主とし、一部の行事に対し、補助金が交付された。

昭和27年（1952）

二月十日、旧石川師範学校校舎にあった金沢大学教育学部が金沢城址三の丸の旧陸軍兵舎へ移転し、二月十五日には、その跡へ金沢市立泉中学校が入った。

前述のように公民館は弥生小学校に併置され、何かと不便であったので、大学図書館（三十間長屋）へ移転後の暁烏文庫の建物の無償払い下げを地域住民は関係官庁へ要望し熱烈な運動を続けていた。

昭和28年（1953）

この年松本盛典氏が初代公民館長に就任した。青年産業研究会が青年学級で行われ、この地域らしく農業・建具・商業・生活改善などの自主的研究活動が営まれた。「青産研に集まれ」の合言葉で、文化・体育・産業・家政部門の会合ももたれ、体育部門のスクエアダンスが感んだった。この青産研活動は昭和三十五年には幕を閉じている。

各種の行事として、盆踊大会・町對抗野球大会・社会体育大会・敬老会・囲碁大会・成人式・成人講座・移動公民館（講演・映画）や市民体育大会への参加があった。

昭和29年（1954）

前年にひきつづき、各種の行事が盛んであった。テレビのない時

代であり、講演や映画に多くの人が集まった。

この年度には新館長はじめ校下が一体となって独立公民館の建設へ向けて文部省、大蔵省、その出先機関、金沢市へ働きかけるとともに地区分担金（最小限五〇〇六〇万円）を各町毎に割り当て、公民館建設費とした。

昭和30年（1955）

六月一日、独立公民館として弥生公民館が暁烏文庫跡へ入った。敷地二百八坪、建坪三十九坪（延七十六坪）で旧暁烏文庫を金沢市が無償払い下げを受け、地元民の負担で改装工事を行ったものである。

校下社会体育大会が小学校と合同で実施された。

昭和34年（1959）

四月六日、皇太子御成婚にあたり、十一屋・米泉線道路脇で記念植樹が行われた。

九月二十九日、弥生地区住民の忘れようとして忘れられない泉中学校と弥生小学校の火災事故があり、弥生公民館も一部を類焼した。一名の死傷者も出なかったのは不幸中の幸いであった。なお公民館の類焼による屋根、南側の壁面は火災保険で修復した。

十月十一日、この年の社会体育大会は泉中学校の運動場で開催された。

十月十八日の市民体育大会は市制七十周年記念協賛事業であったが、弥生公民館は不参加だった。

十月二十九日、運営審議会・公民館委員会が合同で開催され、泉中学校、弥生小学校焼失後の公民館活動について話し合われた。

昭和35年（1960）

この年、市民体育大会には不参加で、社会体育大会も運動場の未整備で実行できず中止された。また、この年の敬老会は学校焼失の

ため大乗寺で実施された。

公民館は施設・設備とも不十分であったが、この当時、茶道、華道（草月流）、ペン習字、毛筆などの学級が熱心に行われていた。電気炊飯器の普及しはじめた頃で、温水器ともども魅力をさそい、北陸電力から講師がきて、電気講座が開かれ、五目御飯を試食した。その他、一般常識、研修旅行、フォークダンス、バレエボール、小旅行、遠足などの活動に人々が集まっていた。

この年、校下有志の寄附により図書室を設置した。

昭和39年（1964）

当時、公民館に校下各団体事務所が併設されていた。社会福祉協議会・民生委員協議会・こまりと相談協議会・町会長連絡協議会・少年連盟育成委員会・婦人会協議会、長寿会（はじめ雀躍会）、防犯委員協議会・交通安全推進委員会の九つである。また常設の講座、教室、学級、グループがあった。

1 学級—家庭教育、婦人、親と子、高齢者、青年（建具組合青年部）

2 教室—珠算、書道、手芸工作

3 講座—子供会指導者養成合宿講座（二―三泊）、各町育成委員会二―三名、合計五十名が参加し、羽咋やわらぎの里、又は宝達の農業研究所で行う。

4 グループ活動—洋裁、華道、謡曲、囲碁、高齢者サロン、読書サークルの記録がある。また公民館地元負担金は一世帯当年一二〇円であった。

昭和42年（1967）

昭和四十二年、芦中町交番所前の十字路に横断陸橋ができた。

弥生福祉協議会の活動が認められて知事表彰を受けた。

町会連合会、婦人会、少年連盟、老人会の活動も目ざましく、ま

た、バレエ、読書、書道、謡曲などのサークルの活動も著しいものがあつたが、町会、公民館、民生委員協議会が地方行政の下請機関になつた観があるとの批判も生まれた。

「歩こう会」は年三回実施され、会員は七、八十名に達し、老幼男女うちとけて、早朝のすがすがしい大気のもと、公民館前から往復一時間の範囲をたどつた。

四十二年の夏休みに少年連盟は押水農村研修会館に二泊三日で合宿した。

昭和43年(1968)

四十三年、城南ブロックの親子バレエボール大会で、男子チームは、新野、菊川、長町等の強豪を破つて初優勝をかざつた。十月十日の体育の日の三回戦に皇太子殿下台覧のもと男女両チームが進出したが、敢闘むなしく敗退した。

校下では読書サークルが六地区に結成され、婦人を中心に学習が続けられた。

昭和44年(1969)

ジェット機、当地区に墜落

二月八日午前十一時五十分、航空自衛隊ジェット機が被雷のため泉新町の道路上に墜落、機体と燃料の油が飛び散つて一面が火の海になり、全半焼二十四戸の大惨事となつた。死者四名、重軽傷者二十二名にのぼつた。(詳細は別記)。死者に総額二千七百万円余の補償費、一億九千三百七十万円余の物件補償が支払われ、金沢市抜いで四百二十万円の見舞金が支払われた。

昭和47年(1972)

弥生公民館は補強と修繕工事の必要があり市へ申請したところ工事費の半額九十万円が予算化された。残る九十万円は校下全世帯の理解と負担のもと、工事が進められた。また、主事以外の事務員の

必要性も、この当時から切望された。

この年から、公民館は部制を当分中止し、運営審議委員(各団体長)、公民館委員に行事を委嘱して主事が中心となつて実施した。

1 これは主事の業務が繁雑で、その都合に依つたものであるが変則的である。

2 あくまでも公民館活動は夫々専門部を設け夫々責任をもつて事業を推進すべきものである。

3 今後は公民館活動に対して校下住民の積極的な理解と協力を求め、ボランティアの育成に全力を傾べきものである。

石田伊三郎館長によつて右のように決定されている。

四十七年度予算

総予算額 一三六四・四九七円

市交付金 八八八・〇〇〇円

地元負担金 二九四・〇〇〇円(一世帯当り一二〇円)

借上金 一〇〇・〇〇〇円

昭和48年(1973)

この年の市交付金は、運営委託料と事業委託料の合計一〇二万二千円あり、前年度に比し、十三万四千円増額であつた。これは次のように分配された。

一 家庭学級(県費補助)

学級は約五十名、十回で二十時間以上。

二 婦人学級(市費補助)

学級規模は、家庭学級に準じ、内容は校下婦人会と相談して決定。

三 親と子のセミナー(市の指定事業)

親と子の対話、映画鑑賞、親と子のバレエ見学、ハイキング等の

行事

四 その他の行事

- 1 少連幹部の合宿講習、球技大会、製作実習等
- 2 校下の敬老会、成人式の共催
- 3 各バレエボールクラブの練習会と試合、読書サークルの幹旋、謡曲、生花、和洋裁等のクラブ活動と珠算、書道などの学級活動に協力

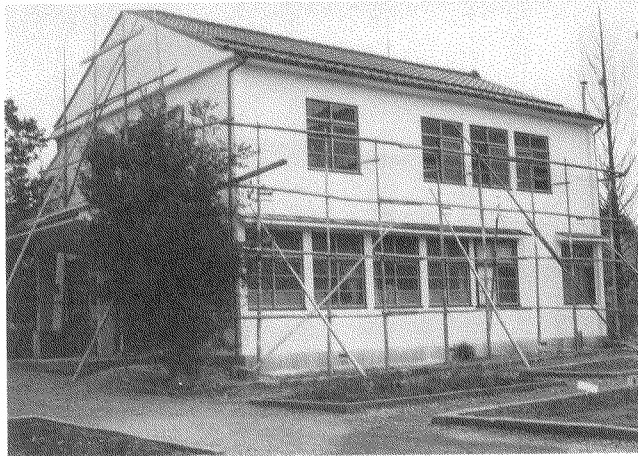
4 老人学級、長寿会の方々との話し合い、修養、趣味、娯楽、見学など、気軽に参加できる学級の開設や、校下各町の美化と環境改善などを目指した講座の推進をめざしていた。

三月十日『館報・弥生』が創刊された。人が入る公民館につづいて伝達手段の創始によって、弥生地区の活動がより強固に展開されることになった。

この『館報第一号』には石田伊三郎館長などが四ページにわたって熱血あふれる健筆をふるった。すなわち弥生公民館の補強・修繕工事のお願い、弥生公民館の生い立ち、弥生公民館と併設各団体の組織と運営の概要、四十八年度行事計画、公民館の運営と問題点、公民館の改築の問題点などが記載されている。

昭和49年（1974）

公民館建物の改装は、この年の二月十日に着工した。昭和三十四年の大火の際、水を被り、館内



改装中の公民館

の腐敗が激しく、昭和四十九年度事業として白いモルタルの外装・クリーム色のペンキ塗り廊下に改装した。工事費は百八十万円で、うち九十万円は校下からの献金によった。工事は三月二十三日に終了した。

この年の行事として小中学生の折り紙のクリスマス・ツリー講習などの紙細工教室が開始された。

昭和50年（1975）

十二年間公民館長の地位にあった石田伊三郎氏が退任の挨拶文を『館報弥生』に掲載されていて、その中に、公民館の事務は専任の主事一人に任せられているための人手不足と役員の一層の協力・校下の人々の参加・協力を切望するむねの記事があった。

在任十二年を顧みて、しみじみ感ずることは公民館活動を推進するボランティアの輩出と活躍財源の確保、さらに館舎の近代化であるとも記した。

講座・講習・学級・クラブ・サークルなどの事業活動は広範に行われて、生涯教育を目指して少年から老年まで各種の活動が展開されていた。

昭和51年（1976）

この年、審議会の議を経て、館則を改訂し、成人部（部長四十万谷与之）、社会体育部（部長山本義雄）青少年育成部（部長川徐保）の各部を設置し、これまでの主事が中心となって実施されていた公民館活動を夫々専門部が責任をもって事業を推進することとした。

十月三日 永年中断してきた校下社会体育大会を秋晴れの弥生小学校グラウンドで実施した。校下町民の期待も大きく、プログラムの広告募集には商店や医師の方々が快く応じたのだった。

コーラ早飲み競走（中学生男女）・満杯競走（町対抗・六十歳以上の男女）・アベック競走（一般男女）などが人々の興味をよび、

歓声がわいた。

参加人員約一、五〇〇名、総合優勝泉野町三丁目町会

十二月十日 初代館長松本盛典氏が死去した。

昭和52年（1977）

宝島外喜雄主事の提唱で、「こんにちは」「さようなら」の挨拶運動と躰の初歩にとりくんだ。初年度は不徹底であったが、根氣を入れた指導で、二年目は挨拶をする児童も増え、三年目に入ると定着化してきた。

館内水洗便所の改装工事を行って金沢市の検査が終了した。工事費の半額は市交付金である。

階下和室を廃止して板張りホールに改造、三分の一を図書室兼談話室に、三分の二を集会室に改造した。ここに前館長石田伊三郎氏より青少年向け図書三十二冊の寄贈を受けた。

公民館特別整備事業として館の正門に黒御影石で『弥生公民館』の標柱を新設、工事費の半額は市交付金、半額は橋爪石材社長橋爪豊康氏の寄附金によった。

五十三年二月にかけて二階大広間の畳替、屋外掲示板の新設工事を行った。半額は市交付金、半額は橋爪豊康・西永茂・高木佐太一・中村外次の各氏の寄付金によった。



昭和53年（1978）

五月十日 正門門標前に盛土して、二坪余りの花壇を造成、カンナ・ダリヤ・夢キキョウを植えた。

九月十日 青年ソフトボール大会を開催、泉町青年会が優勝し、館長寄贈の持ち廻り優勝カップを受けた。十月一日 第十七回社会体育大会

復活三年目で、多数の参加者があり、役員も経験者が多く、運営はスムーズと記されている。優勝泉町

十一月三日～五日、初の公民館文化祭を開催した。

当日は、館長から日頃校下発展に尽力した二十二名に感謝の意をこめて表彰状が、各種の活動に協力した二十五名に感謝状が贈られた。

この日、江川 昇金沢市助役が出席され、これらの方々への感謝の意と健康を祈る旨の挨拶があった。

表彰式のあとのフィナーレは、児童百三十名による盛大な器楽合奏で盛会裡に式典を終えた。

弥生小学校体育館の第一会場では、公民館の組織・教室、子供会育成委員会・連合町会、PTA、防犯・交通・婦人会などの活動がパネルを使って紹介された。

公民館の第二会場では書・俳句・そろばんなどの感想文・毛糸・



第1回 文化祭

洋裁・色紙・版画・生花などの作品展示が行われ、また薄茶や煎茶のお点前などがあり盛会であった。

昭和54年(1979)

一月三十日 金沢市長選で助役の江川昇氏が無投票で当選し、経費の不用分を各公民館に五十万円ずつ交付されたので、事務用機械の整備に当てた。これで乾式コピー機、O・H・P、座机折りたたみ式二十脚、来賓用椅子二脚を購入した。

この年、国際児童年のため、「みんなでもう一度子供の明日を考えてみよう。わが子への愛を世界の子供にも」の横断幕を玄関に設置し、私たちの木「いちよう」(女子)、僕らの木「権」を公民館標柱前に植樹した。

成人ソフトボール大会を六月と十月の二期に分けて実施、前期後期とも泉町が優勝。

十一月三日～五日の文化祭は児童年にあたり、児童も参加し、全館を開放した。各教室の成果を展示発表し、児童年記念文集を発行したり昔の生活用具展も開催した。金沢市民憲章額が市から交付されたので二階大広間に掲額、除幕式を行った。

昭和55年(1980)

五月十四日 老人会セミナーがあり、老人七十余名が二階大広間に集い、巻出乾氏の「今後の老人の生き方」をテーマに高齢化社会に対応する心がまえ、生涯訓練、親子兄弟の話し合いの場の必要性などを話し合った。

八月の婦人学級は「参禅と法話」の会を開き、三十六名が参加した。また、市政バス見学には、市立図書館―港バス工場―金沢港―老人福祉センター―施設園芸実験場―西部清掃工場を見学した。

九月十三日、社会福祉協議会・公民館・校下各種団体の共催で、弥生小学校に校下の七十歳以上のお年寄り二百三十余名を招待して

敬老会を開催した。社会福祉協議会長や来賓のことは続いて、小学生による合唱や器楽合奏があり、「幸せなら手を叩こう」と小学生が唄うと、お年寄りも手拍子をおくって盛り上がった。このあと校下有志の腹話術・手品・舞踊・居合術などが披露され、最後に校下婦人会が揃いの浴衣姿で百万石踊りを踊った。

また、校下長寿会による「ことぶき余技展」も開催され、種々の作品が披露された。

九月二十八日の第十九回社会体育大会の参加者は千五百余名にのぼり盛況だった。

十一月二日、三日と文化祭があり、電話の変遷など各種の展示物が出品された。

この頃、ソフトボールが盛んで、十一月十六日の北陸中日旗争奪第一回金沢少年ソフトボール大会で弥生少連が優勝した。

その他の行事として、「家庭園芸の集い」、「少年スポーツの盛典」、「七夕折紙教室」、「身のまわりのクリーニング」、「成人病と漢方薬」の講演、「家庭のマッサージ」と題する講習などがあり好評だった。

昭和56年(1981)

一月十五日 成人式は弥生小三階集会所で開催、積雪多くブルドーザーで除雪、市長、町連会長、弥生小学校長も祝辞を述べ、代表者の答辞があった。館長の挨拶と記念品授与、長寿会長の萬歳三唱、記念撮影ののち対話の会があった。

三月五日 冬季体力づくり球技大会でドッジボールやバドミントンなどに約百名が参加。

弥生校下には久しく青年団結成の気運が燃え上っていたが、この年、町会長あてに準備委員推せん依頼状を発送し、委員と数回の連絡会議をもち、三月二十七日、結団式を開催した。当日は約三十余

名の青年が集い、経過報告、団結審議、行事計画、役員選出などの後、中村外次館長の挨拶があった。

四月五日 弥生少連のソフトボール教室を開いた。二十四町会の子供会から集まって、チームワーク、礼儀作法の向上を強調した。また同月二・三日は大聖寺青年の家で合宿も実施した。

その他、老人会セミナーで、交通推進隊長虎本正氏の「交通安全対策とマナー」、元泉中学校校長巻出乾氏の「見上げる心」、婦人学級開講式席上で越野迪子氏の「婦人問題」、園芸の集いで元福野高校の先生の「さし木と接木」、農園講習での額俊一・能登長作両氏の「野菜の消毒方法・乳液の使い方」など、講演・講習もさかんに行われた。

その他に「おやつ作り方」、「井波別院参詣と五箇山合掌造り見学」・「手芸教室」・「民謡講話と実演」・「参禅会」・「早起き写生会」・「納涼おどり」・「少年ソフトボール大会」・「手芸教室」・「高齢者のヘルセンタ―招待」・「高齢者余技展」と多彩な行事があった。

社会体育大会、大乘寺山への親子ハイキング、文化祭・版画教室・餅つき大会もあった。

このように年を追うごとに人々の意識が高まり、行事も増加した。
昭和57年(1982)

この頃から、ボランティアの気運が盛り上がり、自ら進んで社会事業などに奉仕しようという人が増加した。婦人会や青年クラブの音頭で校下二千二百世帯から不用品を集めて、収集品の整理と価格の決定を行い、五月三十日、「寄贈品即売会」を開いたところ、短時間で売りつくされた。売上金は校下ボランティアの事業基金に充当された。

この年、公民館活動の活発化をはかる目的で、自主研修「やよい」

のグループ研修が実施された。研修テーマを「事業活動の活発化をはかるために」とし、

- 1 公民館活動の惰性を破るための事業計画
- 2 役職員のリーダーシップ
- 3 学級・講座・レクリエーション行事の参加者の増加策
- 4 公民館行事の再検討とマンネリ化の打破
- 5 第1～第4の事業活動の活性化をはかるための体系化と一貫研修

この頃、盛んに新公民館建設の運動が進められた。

六月二十一日 婦人学級には聖霊病院シスター西村千鶴子氏の「叩けば開かる」の講話があった。

七月二十六日 中央公民館と地区公民館との連けいを図る生涯教育の一環と教養講座が本年度始めて当公民館で開催された。

- ① 明るく生きる知恵 古田福松
- ② 心とことば 増田金一
- ③ 漢方と薬草のはなし 木村久吉
- ④ 人生を考える 大腰大樹
- ⑤ 現代社会を生きる 林 勝次

十月十日 親子ハイキング、地黄煎八幡神社―野田山忠霊塔―ソフトボールと宝探し―昼食とめった汁―公民館

十一月二十八日 少連スポーツの祭典としてドッジボール・ミニバスケットボールが行われ、三五〇名参加した。

この年、寺西館長は『館報弥生』の誌上に再三『公民館への願い』と題して、地域の意志の統一と当局への働きかけによって公民館の新築を目指したいと希望を述べた。

林秀信運営審議委員の『ピクピク公民館』と題する、あらまし次のような文がある。

「昭和三十四年九月二十九日、泉中弥生小火災の時公民館も一部類焼しましたので、修理の為、屋根を一部解体して、柱や梁の主要部分が老朽し、折損応急修理が施され現在に至っています。公民館行事に多くの人が集られるのは嬉しいのですが、二階広間定員六十名を越すと、館長さん主事さんは心中ビクビクとお聞きしました。中古建物を移築して己に三十四余年、老朽も限界に達しているようです。」

昭和58年（1983）

一月十五日は、北陸に珍しく雪のない「成人の日」となった。式場の弥生小学校に集う新成人は百三十余名、式次に基づき盛況裡に進行した。

『館報弥生』の三月三十一日号は珍しく緑地の用紙に印刷され、松下 良副館長が「弥生の四季」と題して、最近の傾向としてジョギングや徒歩運動の減少があり、また老朽化した公民館からの脱却をはかる必要があると言明した。

前年からの継続事業として、役職員はリーダーシップを発揮するためにどのようにすればよいか、のぞましい公民館の体制づくりをはかる必要性が強調された。

第一回（57・7・22） 公民館活動の惰性を破るために事業計画をどのように立案するか。

第二回（57・8・27） 役職員がリーダーシップ発揮するためにどのようにすればよいか。

第三回（57・10・15） 学級・講座・レクリエーション行事の参加者を多くするための対策。

第四回（58・2・18） 公民館行事の再検討を行い、マンネリ化をどう打破するか、運営要領の研修・ブレインストーミングと講義方式。

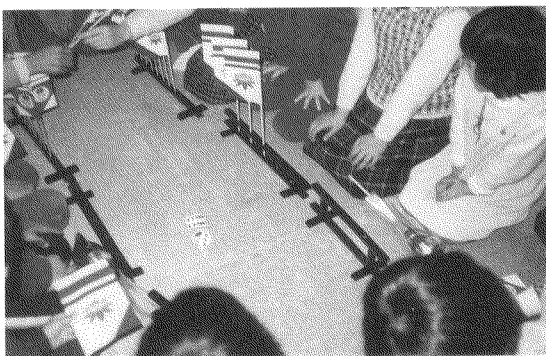
第五回（58・2・25） 第一回～第四回までの総まとめと図解説明と運営要領の研修。

これら五回にわたる結果として、「自主研修会は当公民館をもつて金沢市公民館の矯矢とす」と、記録されている。

成人対象の行事としては三月二十日、第一回囲碁大会があり、二十余名の参加者があった。

四月二十七日 高齢者学級開級式と古田福松氏の「生きがい」と題する講演があり、参加者八〇余名に多大の感銘を与えた。

その他、石代友一氏の「山野草の基礎知識」、上田正二氏の「百歳までの招待」、平松健治氏の「最近の世界の動き」、庄田利男氏の「七夕指導講習会」、張田俊一、山本悦子氏の「七夕折紙のつくり方」、青少年育成部・育成委員会の「ラジオ体操、写生大会、盆踊り大会、旗源平」、能登長朔氏の「野菜の作り方」など多彩な行事が展開された。



旗源平



盆踊り大会

新公民館建設への動き

老朽化し、手狭で不便となった公民館を新築したいという願いが連合町会長を代表とする建設準備委員会に結集し、児童館・老人憩の家も統合した弥生会館に一体化しようということになった。

公民館をはじめこれら施設は、国や県の補助を得て金沢市が建設するものであるが、地域の施設であるからには、備品の購入や建物周辺の整備の経費は地元負担となる部分が多い。弥生会館建設準備委員会の代表には弥生校下町会連合会の橋爪豊康氏が選出され、寺西 忍公民館長・松下 良副館長・その他役員とともに、この難事に対処したのである。

泉文化会館建設を期に三十年ぶりに泉の獅子舞が復興した。市の獅子舞は、一組数十人の巨大型で武装して獅子と戦う。百五十町会二百十八頭もあり、昭和四十年に市民俗文化財に指定されている。

昭和五十八年九月十三日、三十年ぶりに町廻りをして町民に披露された。

昭和59年（1984）

この年の五月二十七日、弥生少年スポーツ団結大会が、少年団員、役員、保護者など百二十余名が参加して開催された。「規律」・「礼儀」・「協調」の精神の育成と体力の鍛錬が希望され、団旗の授与と主将の宣誓があった。

毎週日曜日には、ソフトボール、第二、第四日曜日は親子バドミントン、また冬期には、ミニバスケットやドッジボールの練習が行われるようになった。

他に親子パン作り教室も開かれ、七十余名が参加しパン職人の指導で動物などに型作りをして楽しい一時を過ごした。

また、「滋味の美」と題し、講師に金大美術工芸学芸長桑田良夫氏を招いて開催し六十名の参加があった。日本の教育は見直しの必

要があるのではないか、学校教育は人間の生き方を教えるところに基本があると説いた。

この年の九月末日をもって寺西忍館長が健康上の理由で辞任、十月一日から松下良館長が就任した。

公民館新築にむけて公民館建設事務局が設置され、公民館建設委員も選出された。また、関係者の努力によって、弥生会館の用地は弥生一丁目二八番・二九番に、面積は約二〇〇坪と決定した旨、三月三十一日付の『館報弥生』には記載されている。また、老人憩いの家、児童館、公民館を統合した「弥生会館」の構想が発表され、これに呼応して、各町会でも一斉に地元負担金の積立も始められ、校下の熱意は一段と盛り上がった。

昭和60年（1985）

第十三回金沢市少年ソフトボール大会は、平和町、長坂台小学校グラウンドで二十五チームが参加、弥生スポーツ少年団から「弥生いずみ」、「弥生ふたば」、「弥生ベアーズ」の三チームが参加した。「ベアーズ」は一回戦で敗退、「ふたば」は三回戦で敗れたが「いずみ」は一回戦から圧倒的な強さを発揮し春の大会に引き続き優勝、第十一回大会から三連続の優勝を達成した。

囲碁教室は毎週火曜日午後、高田信一氏を講師に老年・壮年・青年及び小学生の各コースが開催されていたが、老年コースは今日も継続されている。



59年10月20日 パン作り講習会

昭和61年（1986）

この頃、成人式は弥生小学校で行われていた。式には弥生小学校の児童も出席し共に祝った。祝辞を述べたのは六年生の前田早苗さんであり四年生以上による「器楽の合奏」で盛大な拍手を浴びた。

四月十九日、弥生会館が市当局の肝入りと、地域住民の念願を適えて完成した。生涯教育の場にふさわしく、新館は公民館のみでなく市立弥生児童館・老人憩の家を包摂し、さらに校下の町会連合会・社会福祉協議会・民生委員協議会・連合長寿会・少年連盟育成委員会・スポーツ少年団・婦人会連絡協議会・防犯委員会連合会・保護司会・身体障害者福祉協会などの諸団体が活躍している。公民館役職員も増加したばかりでなく、町会も分裂・増加している。新築を機に俄然、行事も盛んになり、会場は住民の熱気で埋まるようになった。なお、十年間続いた『館報』の題字が漢字から平仮名の『やよい』に変わったのは注目してよい。

昭和62年（1987）

二月二十二日、弥生校下で初めて中学二年生を対象に「立志のつどい」を開催し、健全な心身を養い情操豊かな人間形成を目的に、育成連盟と協力し、今後進めていくこととなった。

五月二十五日の運営審議会で、今後十年間の新時代に対応する館則を審議決定し、公民館は諮問機関の「運営審議会」と「事業実施部会」の二本立てで、車の車輪のように活発な公民館活動を展開し、地域の活性化に取り組みむこととした。

九月十二日、七十三歳以上の老人を招いて「校下敬老会」を開き、児童館児童による一輪車の技・民謡・大正琴などで慰労した。

十月三十一日と十一月一日、校下文化祭が開催され、校下児童のピアノ・バイオリン・合唱などの音楽発表会が披露され、盛大な拍手を浴びた。また、婦人会が食堂を担当しカレーやうどんなどが好

評であった。絵画・書道・生花の各教室、フォークダンスの集い、親子の体力テスト、抹茶や煎茶なども盛んであった。

昭和63年（1988）

この年、公民館の「館章」（シンボルマーク）が制定された。地域一般住民から公募し、弥生ヶ丘南の松田良三さんの作品が入選したものである。松田さんは古い街道筋の住民と新しくその周辺を埋めた住民との協調と融合、さらには躍動と発展の心を、この一枚のシンボルマークに表現されたのである。

またこの年、広報部が独立の機関となり、部長以下七名によって広報活動にのり出した。

昭和64年（1989）

一月七日、昭和天皇崩御（六十四年は七日間）、皇太子明仁即位、平成と改元（八日施行）。

二月二十四日、市制百周年にあたり、地域の歴史をつづった待望の『校下のあゆみ』が出版され、弥生公民館で出版記念祝賀会が催された。この出版にあたっては元主事宝島外喜男氏の並々ならぬ尽力があった。

四月から早起き歩こう会が毎月二回、十月まで実施された。七月は午前五時三十分、佐伯病院跡に、それ以外は六時に集合、約四キロ、一時間のコースを歩いた。「みんな元気で歩こう」・「健康は宝物―あなたも歩きませんか」が標語となった。



賞状を受ける松田良三さん

平成2年(1990)

子供行事として写生会・提灯行列・たなばた折紙教室・親子ハイキングなどが盛んであった。弥生少年連盟40周年記念に凧(たな)作りに挑戦。体育館に集い、連凧作り、ドラえもん入りの凧・動物・花など思い思いの絵をマジックでカラフルに描き上げ、尾っぽをつけて走りまわった。このあと、お母さん方で作った温かいメツタ汁に舌つづみをうった。

平成3年(1991)

この年、「花でつなごう人の輪・心の和」ということで花いっぱい運動が成人教育部を中心に展開された。

市営プールで実施された夏季国民体育大会には、婦人会延べ八十名がボランティア活動として湯茶接待をした。またカヌー競技が行われた犀川河べりで弥生公民館茶道教室がお茶席を設け、選手・役員を歓迎した。

この年、八十三年間、地区住民に親しまれてきた金沢地方気象台が駅西に移転した。

平成4年(1992)

五月十日、「火事のない安全な街づくり」を目差して、市内で四十一番目の少年消防クラブが結成され、五十五名の男女クラブ員が真新しい制服とヘルメットに身を包み、弥生小学校体育館にりりしい姿で参加した。金沢市少年消防クラブ協議会の役員の挨拶ののち、



たなばた折紙教室の子供たち

グラウンドに出て消火訓練を実施した。

この年、六十五歳以上の高齢者を対象に「みどり学級」が開設された。年間ほぼ六回の割で、講演会・陶芸教室・金沢市内の歴史散策などの講座で賑わうようになった。

平成5年(1993)

この年、「生涯学習まちづくり推進運動」が展開された。これは、地域でその特色を活かしながら、自ら考え、自ら行動する学習活動を実施し、ゆとりと潤いのある生涯学習のまちづくりをめざすものである。

事業は「明るい地域社会と清潔な生活環境」をテーマに、年間三回の事業が行われた。

第一回「生ごみ収集と清掃活動」八町会のごみ捨て現場、行政側からの指導と対策

第二回「南端国道の花いっぱい運動」と、「クリーンキャンペーン」の実践活動



南端国道歩道の花いっぱい運動

第三回「都市景観と自然環境を学ぶ」

いずれも実践活動とシンポジウムをともなった活発な運動であった。

この年の女性学級では、金沢市教育長石原多賀子氏が、「これからの女性の生き方」と題して講演し、子供には子供なりの役割と責任を持たせ、生きる上で美しい部分も汚い部分もある事を教えることが必要で、「いつも社会と繋がりを持つ事が大切」と結ばれた。

平成6年(1994)

働く女性のために門戸を開放するため、女性学級が夜間にも開設され、六月十日の第一回には鶴羽伸子先生の「備えあれば」の講演があった。

この年、『館報やよい』には、各町の歴史・伝説・特性などを記載した「わがまち紹介」欄が設定された。第一回は泉町、第二回は泉野町三丁目と順次全町会を紹介することになった。

当時、グラウンドゴルフ愛好者が増加し、子供からお年寄りまでの三世代交流グラウンドゴルフ大会が催されるようになった。

この年の十二月、公民館横の駐車場にテントをはって、三世代交流の餅つき大会があった。大人と児童が交互に杵をもち、搗きあがった餅を老人とともに賞味した。

平成7年(1995)

五月十四日、新館竣工十周年記念式典が三階ホールで挙行された。式典は行政と地域の皆様へ多大のご尽力の賜物として館長からの式辞が述べられ、永年勤続役員に感謝状と記念品が贈呈され、つづいて『弥生の明日のために』の発刊記念祝賀会に移り、前市長江川



三世代交流グラウンドゴルフ大会

昇氏の音頭で乾杯・祝宴が行われた。公民館の大正琴教室の生徒が桜奏楽曲で花をそえ、来賓のスピーチで盛り上がった。

七月、松下館長は丹精こめて育てた黄色の大輪のひまわりを、校下の八十歳以上の独り暮らしの方にプレゼントした。温室から運び出す民生委員の顔も喜びに満ちていた。

九月の第三十四回社会体育大会は台風到来のため残念ながら競技を行えず、参加者全員傘をさし運動場を二周して閉会となった。そのため賞品の一部は次年度にまわされた。

平成8年(1996)

この年、児童福祉法五十周年記念として、児童館では「児童館フェスティバル」が実施され、手作りの鯉のぼりを空高く泳がせ、四百人の児童・子どもが喜びに沸いた。

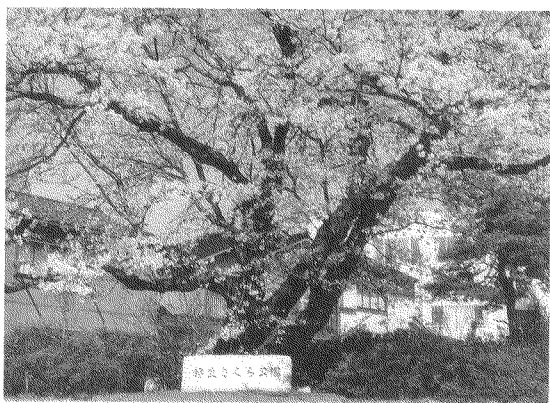
十一月二日の公民館文化祭では校下の各種団体役員が地域住民とともにボランティア活動研究セミナーを行った。大乗公子氏の「ボランティア先進国アメリカで学んだこと」をテーマとする基調講演



ひまわりプレゼント



『弥生の明日のために』



さくら公園



文化祭でのグループセミナー

があり、アメリカではボランティア活動が高校教育のカリキュラムとして組み込まれていて抵抗もなく受け入れられている。町会では生活弱者救済が当然として実践されている。ボランティアとは元来、志願者のことで「自ら進んでしようとする人のこと」などと結び、質疑応答があった。このような講演が文化祭に折り込まれたのは実に有意義なことであった。

平成三年に駅西へ移転した金沢地方気象台の跡地は、消防会館竣工に合わせて、さくら公園が開設され、十一月二十四日、市職員や地元住民多数が参加し開園式を挙行した。気象台敷地の開花標準木ソメイヨシノもそのまま保存され、菊桜・シダレ桜二十本、さらに二千五百本の草花も移植された。公民館の桜も四十周年記念として「シダレ桜」が植樹され、名実ともに弥生さくら公園の誕生となった。

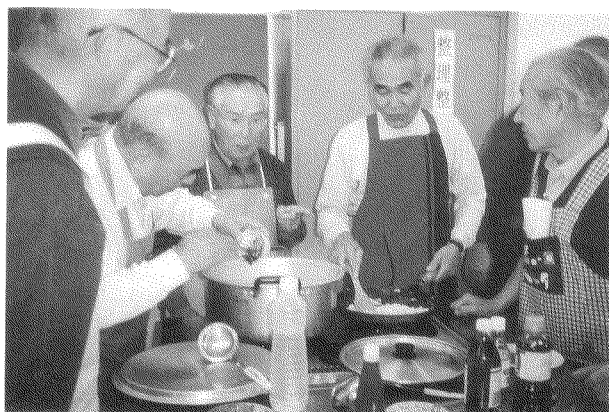
同日、公民館ホールで婦人防火クラブが結成された。家庭におけ

る火災予防や防火PR活動の必要性が強調された。防火クラブの委員長は瀧上彰子さんが選出された。

平成9年(1997)

六月八日、さくら公園に大勢のボランティアが参集し、公園の草取り、ゴミ拾い、プランターの花植えなどに汗を流し、各町会でも清掃作業に励んだ。「プランターも花一杯」ということで、松下館長寄贈の六百株のカンナ・サルビア・マリーゴールド・インパチェンスなどの花々で美しく色どられた。

七月中旬、小学校、町連、少年連盟、長寿会の協力で、暑さの中、校下四神社(泉八幡、国造、地黄八幡、泉野桜木)の樹木調査を実施した。森林インストラクターや造園業の専門家から木の名前、葉の特徴などの説明を聞き、木の高さや幹周りを測定・記録した。その結果はオリジナル樹木マップにして、秋の文化



賑わう「男の料理教室」



樹木マップづくりの子どもたち

祭に発表し、喝采を浴びた。

この頃、「男の料理教室」が活発で、「男性も厨房に入る」時代になったのである。

平成10年(1998)

四月七日、弥生小学校の前庭で「観桜の会」が催された。満開の桜の下、天気にも恵まれ、校下の人々も子供たちと共に花見団子を作り、来客に桜茶を提供するというもので、一層、親睦の輪が広がった。

八月二十三日、校下二十七町会七百六十三名が参加し、

市消防本部・野町消防団の指導で、市民震災訓練が実施された。避難訓練をはじめ倒壊家屋からの救出訓練・応急手当・消火訓練などで防災意識の高揚がはかられた。

平成11年(1999)

四月十日、さくら公園の竣工と標準木であった桜を結びつけて、初の弥生さくらまつりが実施された。プラスバンド演奏・MRO合唱団の合唱・マジックショー・お茶会・お菓子作り……など。

また、「三世代ふれあいランド」に、球を投げて数メートル先の板を打ち落とす「ストラックアウトゲーム」がとり入れられ、人気を高めた。

その他、「地域環境を守ろう」・「背広をリユックに」・「ウエス用布を集めよう」・「和服をベストに」・「夏の和服を巾着に」・「ネクタイの再利用」などのリサイクル活動が盛んになった。



「観桜の会」で

防火意識を高めるため、燃えにくい綿や布で防災頭巾を作り、防災訓練に参加した。

平成12年(2000)

五月二十三日、青少年健全育成組織づくりのため校下諸団体が集い話し合った。青少年の自立心を培い、仲間づくりや思いやりの心を育てるのを目的に、三グループに分かれて話し合い、その結果が発表された。この会議は年三回開催された。

十月二十八日の文化祭の環境コントは、泉中学校OBの高校生が脚本・演出・舞台・衣裳の全てを担当し、高校生のゴミ捨てマナーをめぐって老人がいましめるという内容の迫真の演技を演じて、盛大な拍手を浴びた。

平成13年(2001)

二十一世紀最初の年は内外ともに多難な年であるが、公民館にとつては創立五十周年にあたり、年初より『五十周年記念誌』の編さん事業に入るとともに記念事業実施に向けての歩みが始められた。

六月三日、『ゴミたちの環境サミット』が上演され、小学生たちが高校生の指導を受けて演じ好評を博した。小学生は一つの行事を演じ終え満足感にひたっていた。

金沢市から環境プラン策定モデル地区に指定されたため、当館ではゴミの減量や省エネルギーについて、「環境に関する意識調査」を行った結果、多くの人の関心を集めた。その他、「ゴミの埋め立て実験」・「討論会」・「家庭におけるゴミ調査」・「スーパーの



防災ずきん

「ゴミ・ウォッチング」(六年生による)などがあいいいで実施された。古着市の売上金はシテイ工房へ贈呈された。

この年、国の施策としてパソコンでのIT基礎講習が行われ、人気を集めた。校下百人を対象に、基礎操作・ワード・インターネット・メールなど一人十二時間の課程を学習した。その他、年間十回、年賀葉書・エクセル(表計算)など特別講座が実施された。

講師は金沢工業大学の大学院生などが担当し、パソコンは近隣の公民館から貸し借りをした。

野町公民館と弥生公民館が合同で、野町一帯の史跡を探访した。野町公民館の南野副館長の三回にわたってのご案内で、両公民館の地区民が歴史を探访することができた。

この年、災害時の全体的な対処の方法について防災委員会が開かれ、熱心な討議がた



野町公民館と合同の史跡探訪



古着市売上金の贈呈

たかわされた。

平成14年(2002)

一月二十日、かねて環境問題に取り組んできた弥生小学校の代表の六年二組の生徒八名と公民館の環境委員らによる合同の環境委員会が開かれ、これまでの学習成果を話し合った。当日は山野之義金沢市議・三国千秋北陸大学教授も出席し、児童の質問と要望に応じていた。

児童からは通学路のゴミが多い、たばこの空箱、お菓子の袋のポイ捨てがある、バス停などにゴミ箱を置いてはどうか、年度を追って緑地が減少している、ポイ捨て禁止規制をつくってはどうか・・・などの活発な意見が出た。これに対して法律・条例・規制のようなものをいくつにつくってもそれで徹底するとは限らない、年代をこえての積極的交流でゴミ問題を認識する必要があるのではないかとの意見も出て、この日の会合は終わった。

三月十日、三階大広間に内外関係者を迎えて、弥生公民館創立五十周年記念式典を開催するとともに、『五十周年記念誌』を発行する予定となっている。



防災委員会

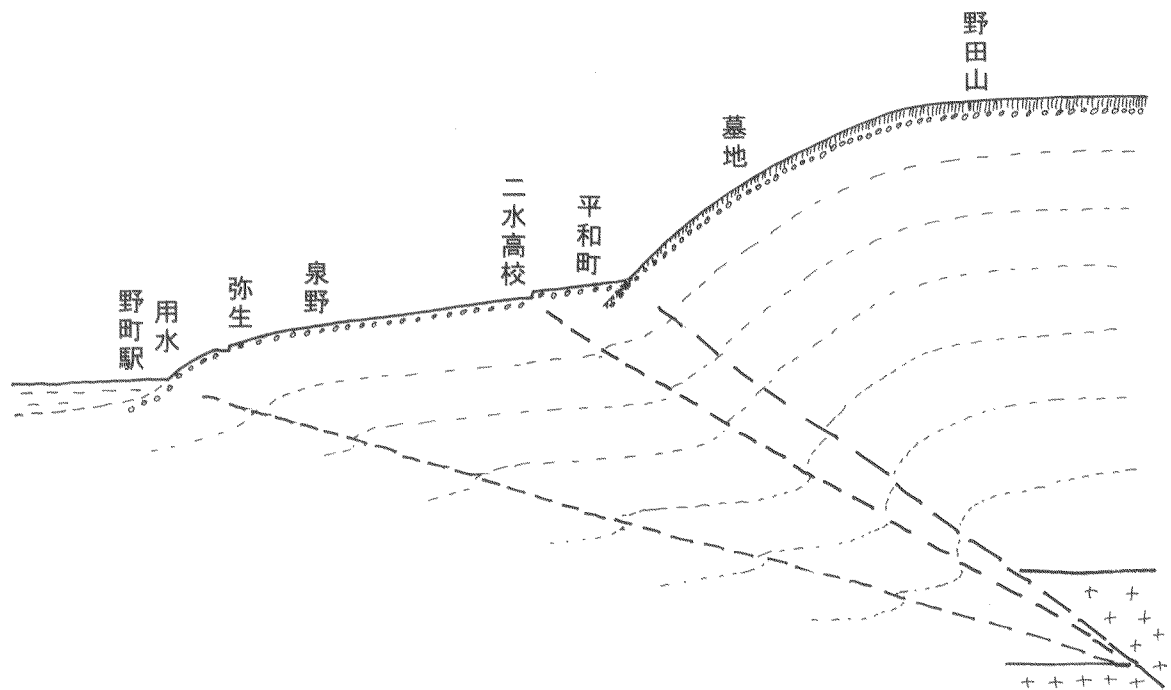
弥生の地形

守屋 以智雄

1 扇状地の上にある弥生

弥生町は犀川がつくった泉野扇状地の末端にあります。いまの犀川は深い谷の底を流れていて、泉野扇状地から犀川の川原に行くには桜坂とか蛤坂など急な坂を通過して段丘崖を下らなければなりません。数万年前の寒冷な最終氷期には、まだ犀川はいまのような深い谷を掘りこまずに、扇状地上を自由に流れていました。豪雨のたびに土石流が押し出して、草木を押し倒し土石を堆積させていました。そのたびに流路が変わりました。したがって非常に危険で、いまのように住宅や農地などが存在できる場所ではありませんでした。犀川が谷の中を固定された形で流れるようになったここ1-2万年前から、安全で居住可能な場所になったのです。ですから泉野扇状地の上には深い谷はなく、伏見川・雀谷川のような水量が少ない小河川があるだけで、洪水の心配はありません。

ちょっとした工事で弥生の地面を掘ると、川原でよく見かける丸い礫がでできます。これはかつてここを犀川が流れていたことの証拠です。扇状地で、ある程度の傾斜をもち、隙間の多い礫でできているため、水はけがよく、畑はありますが、田圃はありません。冬に雪を溝に流すのに有利です。それにくらべ扇状地の末端から海側の増泉・泉本町などは、6000年前の縄文早期には海の底でしたので、低く平らで、地面も干上がったばかりのやわらかい粘土・泥・砂などからできているため、水はけが悪いのです。6000年前は温暖な気候であったため、南極・グリーンランドの氷が解け、海面が4mほど上昇しました。それで増泉・泉本町が海の底になったのです。石油を使いこのまま贅沢な生活を追い続けると弥生一帯は



弥生校下周辺の地下を走る富樫断層の推定断面図
地層がやわらかいので断層は分岐し、地層も切れずに曲がる。

海水浴場になってしまおうでしょう。

2 活断層の上にある弥生

泉野扇状地の末端は森本―富樫断層の運動で折れ曲がり急になっています。広小路から有松に向かう大通り(国道157号線)から右に折れる道路はいずれもゆるい坂になっています。広小路から北陸道金沢西インターに向かう大通り、野町駅までS字に曲がりながらゆるく下る道路など、坂とはいえないほどの傾斜ですが、よく見ると泉野扇状地本来の傾斜に比べ急なことがわかります。この傾斜は157号線の反対側にも続いていて、じよじよにゆるくなりながら、六斗の通りや県道金沢―鶴来線をこえるとほとんど傾斜がなくなり、泉野扇状地本来の傾斜よりむしろゆるくなります。このように扇状地末端で急傾斜、そのすぐ上でゆるくなる現象は、断層によって地面が変形させられた時によく見られるもので撓曲崖たうまがきがけとよばれます。野田山墓地・大乘寺があるゆるやかな斜面も撓曲崖と考えられています。また平和町から長坂に向かう大通りに沿ってすぐ右側に落差1mの小断層崖があり、これら複数の平行する断層がひとつの断層帯をつくっていると考えられます。

森本―富樫断層は森本から丘陵・山地と平野の境界を通り、武蔵が辻・香林坊・広小路・有松など、金沢の繁華街を通って鶴来まで達する長さ28kmの活断層で、1980年に東京都立大学院生であった三崎さんによって発見され、1996―98年に行われた科技厅・地質調査所・金沢大学・県庁・国際航業KKなどの断層掘削調査で確かめられました。調査ではこの活断層は2000―4000年周期で地震を起こし、最後の地震は2000年前の弥生時代ということがわかりました。発生すると最大で神戸と同規模のM7・2の地震になることが、断層の長さ・ずれなどから推定されています。もし2000年周期であれば、いつ地震が発生しても不思議ではな

撓曲運動で生じた弥生小学校付近のゆるい坂。水平に積まれたブロック塀と路面と比較。



弥生小学校・泉中学校周辺を上空から見る。撓曲崖は写真左手、国道157号線のさらに左を平行して走る。

いという結論が得られません。4000年周期であればまだ2000年安全だということになりますが、用心にこしたことはありません。(金沢大学文学部教授 理学博士)

追憶 “さくら公園との出会い”

宮 一郎

弥生校下には桜が多い。娘が弥生小学校にお世話になった昭和三十年代中頃、初めて学校を訪れ正門左手に桜に埋もれるように建つ木造建物に気がついた。それが弥生公民館だったが、昭和六十一年竣工の現在の新館もさくら公園の横にある。私と弥生校下、桜とのつながりは、弥生公民館の歴史と同じ程、半世紀あまりになる。

私が金沢の地に来たのは敗戦間もなくのことで、地図をたよりに金沢地方気象台（当時は測候所）に赴任するためだった。焼野原の殺風景な東京を見馴れてきた目に、南端国道のプラタナスの並木がなんと新鮮に写ったことか。本当に心の休まる感動的な光景だった。

こうして私は弥生校下に仲間入りしたが、その時はまだ職場だけのお付合だった。高さ十六米の赤煉瓦の測風塔と、天気予報旗のひるがえる無線塔は何か異国情緒を漂わせ、観光バスの格好のガイド場所となっていた。弥生の歩みをみると、気象台は市勢南進政策の起点としてその周辺から住宅が増え始めたようだ。昭和二十年代は気象台から北陸病院へ行くにも殆ど家はなく、芋畑の小道を分けて行った。なにしろないづくしの時代。米はない、鉛筆はない。燃料もない。調味料醤油の代りに、犀川大橋のもとにあった魚屋さんで一升びんに入った海水を買ってきたものだ。気象台の敷地千坪余りは、職員が競ってすき間なく耕して野菜畑となっていたが、さすが芝生の露場と、生物季節観測用の花や樹の植った敷地は聖地として誰も手をつけなかった。梅や杏、ぼけに桃、木いちご、日本タンポポ、山つづじ、彼岸花、紫陽花、蝶やとんぼ、蟬、ひばりに鶯、ほたる、しま蛇等々、定められたすべての種目が構内で居なが

らにして観察できた。今の泉中学との境にある石垣は格好の蛇類の住み家で、そろそろ冬眠から覚める頃かと観察に出ると、いたッ。思わず野帳を放り出して尻尾をつかみ……。香ばしい焼鳥ならぬ香りに気のついた所長、生物観測が出来なくなるゾ”と苦笑い。

高度成長期に入ってから急激な環境の変化で、観測に耐えるだけの個体数がなくなった種目も多く、廃止したらと云う意見も出てくる。しかし生物季節観測という一見前時代的に思われる観測は、コンピュータでは到底はじき出せない力を秘めている。農時暦に見られるように、日本人は大昔から自然現象を見つめて農作業や生活の目安にしてきた。それは動植物があらゆる気象要素を総合して敏感に感じとって、人間には感じとれない季節のおくれ進みを知らせてくれるからだ。それだけではなく環境の変化、例えば水質とか大気汚染とかを人間よりいち早く知らせてくれる一つの指標として重要性がある。云いかえれば生物に変化が起るからこそ益々自然の暦を大切に見守る必要があるわけだ。

気象庁の予報官を目指す技術屋は、観察眼を養うため大抵若い頃の一期をこの生物季節観測にかかわり、私も早々に桜の開花予想をやらされた。関係しそうな気象因子を片端から当って実験式を積んだり崩したり。蕾の色や膨みに一喜一憂したことを覚えてる。その時の桜が今のさくら公園の大桜で、その頃はまだ十五年前後の若桜だった。

ところで私にとって弥生がますます身近になったのは、昭和三十年九月第二室戸台風の時からだ。当時自宅は十三間町にあつて、犀川の氾濫で大橋付近の千五百戸が一米を越える濁流につかまってしまった。もう低い土地はこりごとりと居を移したのが今の弥生三丁目。これで名実共に弥生校下の住人となったわけだが、当時はまだ竹林が多く、夜は真暗闇で片町近くから引越した身には恐ろしいほど



赤煉瓦の測風塔と観測基準桜の一枝。
昭和36年4月木造庁舎建替のため取壊す直前に撮った。

だった。しかしわが家の庭に越境してくる竹の子に季節の味を堪能させてもらったし、市営競技場まわりの桜の見事さは今も変わらな
い。

その後二十年余り、主に太平洋側をあちらこちら転勤し氣象庁を
退職。平成三年に氣象台が駅西の合同庁舎に移った後の弥生旧庁舎
の取壊しは、隣接した氣象協会北陸センターの窓から感無量で眺め
た。

今や大型電子計算機がはじき出す数値予報が主役となって、予報
官の職人芸的なイメージも急激にうすれてきたが、そのプロセスを
つぶさに体験してきた私には、喜びの反面、天気予報まで何となく
ほのぼのとした人間味がなくなってきたような気がしてならない。

それにしても氣象台の跡地利用が色々取沙汰された中で、観測基
準桜の務めを終えた樹齢七十年近い老木がそのままの形で残され、

その名もさくら公園として校下のやすらぎの場となったことは、最
高の喜びであり、最高の選択であったと思う。関係各位のご努力に
感謝すると共に、弥生公民館、半世紀の歴史に乾盃。益々のご発展
を祈る。

今、紅葉し始めた大桜を見上げると、この老木が生き続ける限り、
私も生き続けるような不思議な幻想にとらわれる。

終りに弥生校下の気候を知るために、各気象要素の月別平年値表
を見てみよう。

通常、氣象台の観測値はその所在する地方の代表値として使われ
ているが、都市の規模が大きくなればその市内の中でも気象要素に
かなり大きな差があるであろうことは容易に想像される。

従来金沢地方氣象台の資料は、加賀地方の代表値として使われて
きた。しかし石川県は南北に長く、金沢市をみても台地あり、谷あ
り、川あり地形は複雑で、しかも近年は都市気候の特色をもつよう
になってきた。その点金沢地方氣象台の資料は、明治十五年観測を
開始して以来百有余年にわたりその殆どが弥生一丁目のさくら公園
の地で観測されたもので、まさに私達弥生校下の気候そのものであ
ることに意義がある。

都市化が進むと、周辺や郊外の地域とは異なった都市固有の気候
が形成されてくる。都市部の高温、日射量の減少、乾燥化やビル風、
霧や細雨の降る日の増加、大気汚染などである。ヒートアイランド
は、都市気候のうちの気温に焦点をあてたもので、詳細な等温線を
描いてみるとその分布は都市で高く郊外で低く、中心部が海に浮か
ぶ島の形に似ているのでこの名がついた。原因は、ビルや舗装道路
ばかりで樹木や露出土が少なくなったこと、冷暖房をはじめとする
人工熱の放出、大気汚染物質による温室効果などがあげられる。

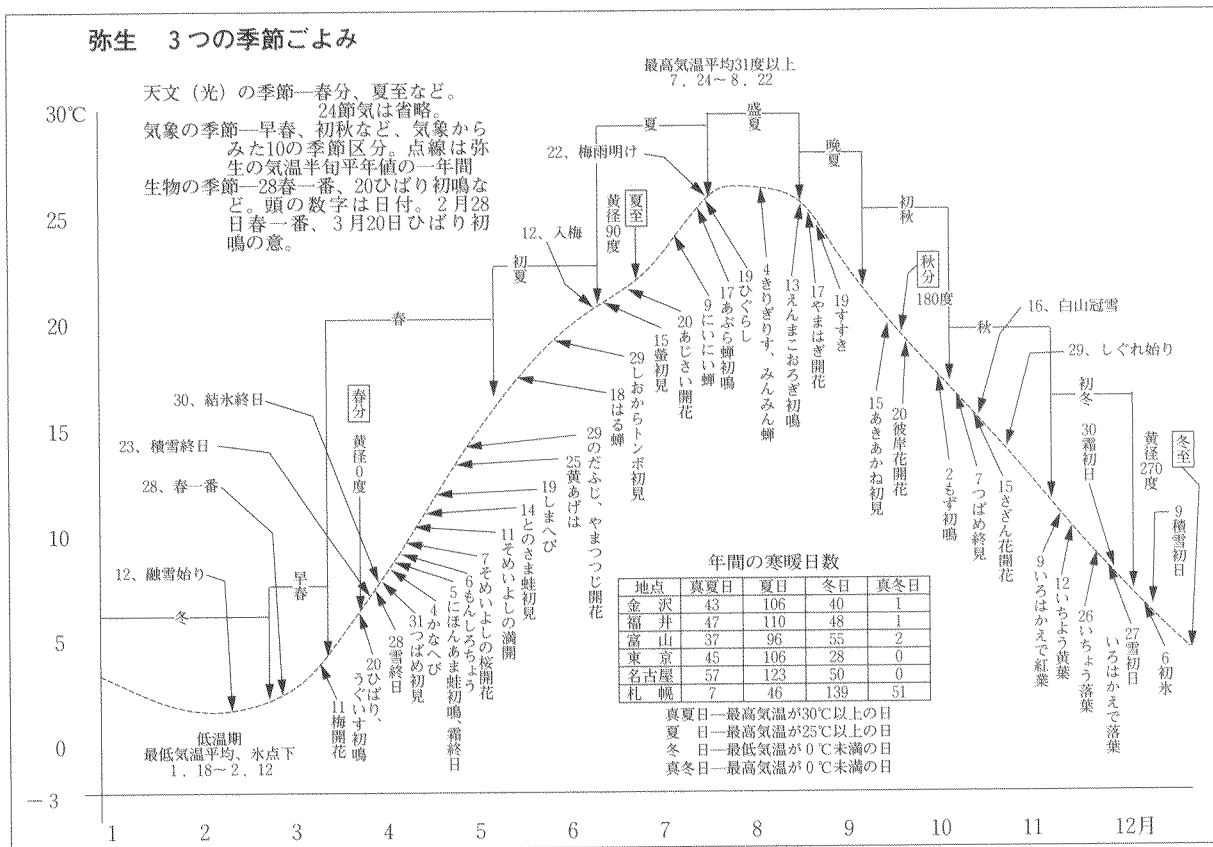
数少ない金沢市内のある夏の気象調査によると、市の中心部と郊

外、卯辰山（一三六米）では三十四度、市外辺とは二度内外の差がある。夏の日中は特に香林坊から武蔵、金沢駅前にかけての高温域が目立ち、まさにヒートアイランド現象がみられる。

さて掲載した月別平年値表はその名の通り例年の値であるが、それは一年の値だけで決めるわけにはいかない。長期間の平均をみる必要がある。といってもあまり長期間をとると気候変動の影響が入ってしまう。そこで現在は、WMO（世界気象機関）の取り決めで、世界各国とも平年値は三十年間の平均をとることになっており、これは十年ごとに更新される。西暦年号の末尾が〇で終わる年までの三十年をとるので、現在使われている平年値は、一九七一年—二〇〇〇年の平均値で、この平年値が二〇一一年まで使われるわけである。

ところで気象台は一九九一年十月に弥生から駅西の西念三丁目の合同庁舎に移転したため、風に関する統計だけ切断されて九一年から新に統計が始まった。このため弥生における風に重きをおきあえて前の平年値をのせたので了承願いたい。平年値には、この月の外に日、旬（十日）年単位の値が計算されているから、例えば国内外の遠い地への旅行などには旬の平年値を調べ、自分の住んでいる地方のいつ頃に当るかを知り、旅を快適にする上で大切なことである。天気予報と色々の統計値を上手に使うことによって、よりゆたかな生活ができるだろう。

（元金沢地方気象予報官）



地上気象観測月別平年値 金沢 (KANAZAWA)

(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)																		
気 温	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
平均(°C)		3.7	3.6	6.5	12.2	16.9	20.9	25.1	26.6	22.2	16.7	11.3	6.5	14.3	4.6	11.9	24.2	16.7
階級区分値(°C)																		
(かなり高い)																		
高い		5.3	5.3	7.7	13.4	18.1	22.1	26.7	28.2	23.8	17.9	12.5	7.8	15.3	5.8	12.7	25.5	18.1
平年並		4.0	4.0	6.8	12.5	17.2	21.3	25.5	27.1	22.6	16.9	11.9	7.1	14.6	5.2	12.3	24.4	16.9
低い		3.2	2.7	6.1	11.9	16.3	20.4	24.7	26.1	21.6	16.1	10.9	6.0	14.1	4.2	11.5	23.8	16.3
(かなり低い)		1.6	1.8	5.4	11.0	15.6	19.9	23.3	24.9	20.8	15.6	9.4	4.8	13.5	2.8	11.1	23.1	15.7
(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)																		
最高気温	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
平均(°C)		6.8	6.7	10.5	16.6	21.4	24.5	28.7	30.4	26.0	21.0	15.3	10.0	18.2				
階級別日数(日)																		
35.0°C以上		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.0	1.7	0.3	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	2.8	0.3
30.0°C以上		0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	2.3	14.2	20.1	5.1	0.2	0.0	0.0	42.3	0.0	0.4	36.6	5.3
25.0°C以上		0.0	0.0	0.0	1.7	8.0	16.1	27.3	30.3	20.0	2.8	0.1	0.0	106.4	0.0	9.7	73.7	22.9
0.0°C未満		0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4	0.1	0.0	0.0
(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)																		
最低気温	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
平均(°C)		0.8	0.6	2.7	7.9	12.6	17.7	22.2	23.1	19.0	13.0	7.4	3.2	10.8				
階級別日数(日)																		
25.0°C以上		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	4.6	0.3	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	7.1	0.3
0.0°C未満		12.2	12.9	5.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	32.9	27.8	5.1	0.0	0.0
(統計期間1961 - 1990 資料年数 30)																		
風速	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
平均風速(m/s)		2.1	2.1	1.8	2.1	2.0	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.8	2.1	1.9				
暴風日数≥10(m/s)		1.8	0.7	0.5	1.3	-	-	-	0.2	0.2	0.5	0.8	1.3	7.3				
(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)																		
日照時間	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
合計(時間)		60.7	80.3	144.6	183.0	211.8	158.2	166.3	214.1	141.5	138.5	98.8	69.6	1667.5	209.1	539.4	538.7	378.8
階級区分値(°C)																		
(かなり多い)																		
多い		77.1	99.2	173.8	218.0	250.8	210.1	233.0	291.0	171.8	185.2	117.0	92.9	1805.0	245.8	580.4	659.7	417.3
平年並		64.0	88.0	152.6	194.7	217.2	176.1	191.7	247.1	149.5	146.3	108.0	74.4	1758.5	218.0	557.5	579.9	399.6
少ない		56.0	71.7	135.8	169.0	200.0	138.2	143.8	191.8	128.3	124.7	97.2	59.7	1623.0	194.1	531.9	522.9	361.8
(かなり少ない)		47.1	65.1	118.4	159.0	179.1	106.7	89.4	128.1	113.3	107.5	72.4	50.4	1423.8	177.3	493.5	354.1	340.6
(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)																		
降水量	期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
合計(mm)		265.9	184.4	153.3	143.6	154.0	193.7	226.8	164.4	241.9	188.3	267.2	286.9	2470.2	737.1	450.8	584.8	697.4
階級区分値(mm)																		
(かなり多い)																		
多い		325.5	259.0	199.7	206.7	236.7	345.2	469.0	308.7	408.5	261.0	368.5	404.2	2925.5	954.7	567.2	825.0	947.5
平年並		286.5	187.5	177.2	161.0	182.2	225.0	284.7	202.5	298.5	206.0	317.7	310.7	266.2	739.7	487.7	682.2	759.2
少ない		252.0	153.0	131.0	122.0	110.5	140.7	121.5	111.7	171.7	160.0	196.7	230.7	2270.7	674.7	398.5	495.7	600.5
(かなり少ない)		165.0	130.5	101.7	85.0	97.0	91.2	53.5	31.5	82.7	102.0	159.2	182.7	2013.5	637.2	354.0	286.7	419.2
階級別日数(日)																		
100.0mm以上		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.6				
70.0mm以上		0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.4	0.4	0.7	0.2	0.2	0.0	2.4				
50.0mm以上		0.0	0.1	0.0	0.0	0.6	0.7	1.2	0.8	1.2	0.5	0.7	0.2	6.1				
30.0mm以上		1.4	0.8	0.7	1.3	1.5	2.1	2.7	1.7	2.3	1.7	2.9	2.2	21.4				
10.0mm以上		10.4	6.0	5.6	5.0	5.0	5.5	6.0	4.6	6.6	6.3	8.9	11.0	80.9				
1.0mm以上		23.8	19.7	16.0	11.9	10.5	11.3	12.1	8.9	12.4	13.0	16.6	21.9	178.1				
0.5mm以上		24.7	21.4	18.0	13.2	11.7	12.5	13.2	9.9	13.8	14.9	18.0	23.3	194.6				
0.0mm以上		28.2	25.1	23.6	18.3	16.6	18.5	18.8	16.2	19.3	19.5	23.0	27.0	254.1				

降雪の深さ

(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)

期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
合計(cm)	109	87	19	0	0	-	-	-	-	0	1	31	247	226	20	-	1
階級区分値(cm)																	
(かなり多い)																	
多い	210	173	55	0	-	-	-	-	-	0	6	104	512	471	55	-	6
平年並	130	108	22	0	-	-	-	-	-	0	0	22	270	256	22	-	0
少ない	51	47	6	0	-	-	-	-	-	-	0	7	141	135	7	-	0
(かなり少ない)	22	15	1	-	-	-	-	-	-	-	0	3	97	74	1	-	0
日合計の最大(cm)	29	23	10	0	0	-	-	-	-	0	1	12	37				

積雪の深さ

(統計期間1971 - 2000 資料年数 30)

期間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年	12-2月	3-5月	6-8月	9-11月
最大(cm)	42	41	19	0	-	-	-	-	-	-	1	17	53	51	19	-	1
階級区分値(cm)																	
(かなり多い)																	
多い	85	91	58	0	-	-	-	-	-	-	6	53	101	101	58	-	6
平年並	51	41	18	-	-	-	-	-	-	-	0	16	54	54	18	-	0
少ない	21	23	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	34	32	3	-	-
(かなり少ない)	9	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	20	1	-	-
階級別日数(日)																	
100cm 以上	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1				
50cm 以上	3.4	4.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	8.6				
20cm 以上	7.7	8.9	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	20.0				
10cm 以上	11.5	12.2	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	2.2	29.3				
5cm 以上	14.6	14.3	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	3.5	37.1				
0cm 以上	19.8	19.1	7.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	7.4	54.7				

泉中の出火と弥生小の類焼

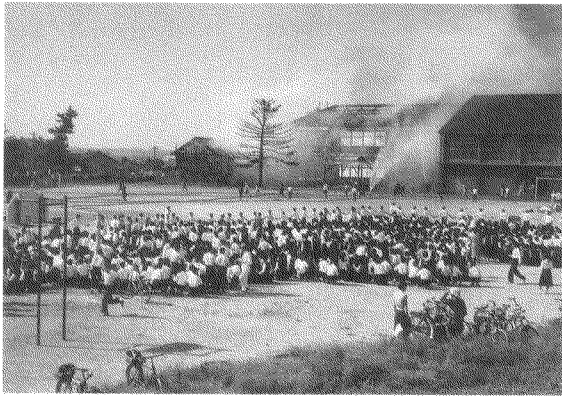
嶋村 正二

昭和34年9月29日午後1時50分頃、「泉中より出火」が私の勤め先にかかってきた。仲間の中に泉出身の方も多く、一斉にバイクを飛ばす。消防車がサイレンを鳴らして野町方面へ走っていく。南の空には黒煙がもうもうと上がっている。一旦、家に帰りすぐ現場へ走る。弥生小学校はまだ無事だ。消防士がホースを持って走っている。黒だかりの人々が心配そうに見ている。

火勢は物凄く泉中はどんどん燃えてゆく。昔の師範学校の木造校舎（大正二年建設）で、古いから実によく燃える。西風が強く、弥生小も危ないから今のうちに備品を出そうと誰かが叫んだ。

私も、一緒に校内に入った。生徒は既に野町小に避難して誰もいない。勝手の判っている私は、先ず二階へ上がり、泉中一番近い図書室へ入りデッサン用の彫像を持ち出し前庭へ運ぶ。続いて隣の教室から世界地図、日本地図を壁から外す、机、椅子を運ぶ人、子供の学用品を運ぶ人、職員室から書類を運ぶ人、みな懸命だ。

旧師範学校と付属小学校を結ぶ渡り廊下を消防士が壊しているが紅蓮の猛火は、それより速くあつという間に炎の



運動場で下級生を守る泉中の3年生

トンネルになる。学校の両側にあるツガの木々がパチパチと燃え出す。約40メートルある道路は何も役立たない。弥生小に燃え移るのは

とにかく物凄く熱くてとてもいられない。弥生小に燃え移るのは時間の問題だ。危ないから全員外へ出ると言われて前庭に避難した。すると先生が体育館のピアノを出してほしいと言われ、5、6名の中に私も入り再び校内を走る。ピアノは下に滑車が付いているから、板の間はスルスルと動かせるが、外へ出すのが一苦労、火事場の糞力くそぢからで、どうにか外へ運び出す。火はどうとう弥生小に燃え移り始めた。もうこれ以上どうする事も出来ず傍観するだけだ。渡り廊下を嘗め尽くした炎は新たな獲物を見つけた如く踊り狂って東西側の校舎に襲い掛かる。

窓ガラスがバリバリと、いとも簡単に割れて行く、図書室にもついに火が入った。すると東側の百メートル以上離れた二階の音楽室が、正面の教員室を飛び越して先に燃え出す。

あつという間のこと、天井裏が煙突の役目をしたのである。あまりの速さにびつくりする。消防車が何台も放水しているが、一向に火勢は衰えない。

さあ、そうなると東部弥生の方が危ない。現在のように立ち並んではいないが、三軒ほど建っている。

校舎前庭にある暁鳥文庫（弥生公民館）にも飛び火したが、消防がすぐ消し止めた。



燃焼中の泉中学校

東部弥生の方を見ると、やはり飛び火で一・二軒くすぶり出した。もう一軒の板塀が黒くなってきたので家人が水をぶっかけているがとても追いつかない。素早く消防が入った、今や全力を挙げて東部弥生を守る。

学校の方は燃えるものが無くなったのか、やっと下火になってきた。幸い風向きが変ってきて東部弥生は無事で、さしもの猛火もようやく鎮火した。

この間、約2時間ほどだった。ぼつぼつ人も帰り始めたので、私も懐しい母校が見る影もない姿になったのを見て、何とも言えぬ気持で家路に向ったものである。

焼失後、弥生小の子供達は新校舎が出来るまで、低学年は野町小、高学年は十一屋小、泉野小、長土塀小へと近隣の学校で分散授業となった。(泉中は鳴和中などへの分散授業)

子供達も大変でしたが、大人達も学校再建の寄付割り当てがあつて、校下約二千世帯に対し五百万円、世帯平均で二千五百円、六斗林の町内でも約九十世帯で二十二万五千円の支出でした。あれから四十二年、火災の怖さとともに忘れえぬ出来事です。

(弥生一―二二―一七)

平成十三年『長寿だより』から

ジェット機泉二丁目に墜落

昭和44年2月8日午前11時59分、金沢市泉二丁目の人家密集地帯に航空自衛隊第六航空団小松基地所属のF104Jジェット戦闘機が墜落、発生した火災と爆風で四人が死亡、重軽傷者一人を出した。また民家一四戸が全焼、全壊、一〇戸が半焼、半壊し、被災者

一―四人。このほか周辺七〇戸がガラス破損などの損害を受け、自衛隊機事故による被害としては最大のものとなった。操縦士はパラシュートで脱出、軽傷を負った。事故原因は、機体に落雷があり、操縦不能になったためらしい。

金沢市は、同日午後、災害対策本部(本部長徳田市長)を設け、被災者の救助活動に入り、安楽寺を避難所とし、炊き出しを始めた。金沢市消防本部は市内の全消防車に出動を指令、また金沢中署の全署員動員をはじめ県警本部などからも応援、合わせて約四〇〇人の警官が出動、交通整理などに当たった。県警本部は操縦士を業務上過失致死傷の疑いで取り調べた。同深夜事故現場視察のため来県した有田喜一防衛庁長官は、市街地上空での飛行はしないと述べた。

『北国新聞』記事から

弥生の事故と出来事

五十年間の弥生地区の事故と出来事として小さい火災などは発生しているが、中でも人々の記憶に鮮明なものは、泉中学校の火災・弥生小学校および弥生公民館の類焼と泉二丁目の街道筋への自衛隊機墜落炎上事故であろう。たまたま、弥生長寿連合会の『長寿だより』第36号・37号に弥生二丁目二二―一七の嶋村正二さんが『泉中出火と弥生小の類焼』を記載しておられたので、お許しを得て、主要部分を転載させていただいた。燃焼中の写真は二枚とも泉中学校からお借りした。

またジェット機墜落事故の方は、北国新聞の記事を『実録石川県史』五六二ページから引用させていただいた。

暁烏文庫と弥生公民館

師範学校は小学校教員を養成する専門学校で、師範学校令という法令に基づいて運営されてきたが、昭和二十二年、学校教育法が施行され、師範学校令は廃止された。県内各専門学校が結束して総合大学を建設することになった。当然、石川師範学校も大学昇格を志向したが、中央の示す施設内容の充実が必要であった。そこで清水暁昇石川師範学校長は日頃師事する暁烏敏氏を訪れ、その抱負を述べて援助を乞うた。

暁烏敏氏（明治十年（一八七七）～昭和二十四年（一九五四）は石川郡出城村（現松任市）字北安田の真宗大谷派明達寺の住職、真宗大学在学中に東本願寺の宗教改革に参加、仏教語を使わない仏教雑誌『精神界』を発刊するなど思想界に多大の影響を与えたといわれ、出版物も数多い。教団にとらわれない宗教活動は国内のみならず、ひろく世界各地に及んだ。

石川師範学校の熱意にほだされた暁烏敏氏は大文庫の譲渡を約束した。師範学校では広く同窓生・在校生・父兄・一般有志、職員から寄附金を募ったが、アメリカ軍政部の指令で中止され、改めて文部省から九十四万円の建築費が交付されて、延七十坪の文庫が完成、昭和二十三年（一九四八）十一月三日、晴れて落成式を挙行した。

よをたしとあつめしふみを

のちにくる

人にのこしえやすく世をさる

（暁烏敏）

いまはたゞ思ひのこさむ

こともなし

この花植えてここを去る身は（清水暁昇）

かくて翌年、六万冊の蔵書は金沢大学に寄贈され、「暁烏文庫」となった。金沢大学教育学部は、旧師範学校の地にあつたが、いずれ移転と決定していたため、暁烏文庫は城址内の三十間長屋へ移され、ここを書庫として昭和二十五年四月二十九日に開館した。暁烏文庫が金沢大学の中心的蔵書となったのは言うまでもない。大学図書館はその後、二の丸下、河北門附近、角間地区と移動した。

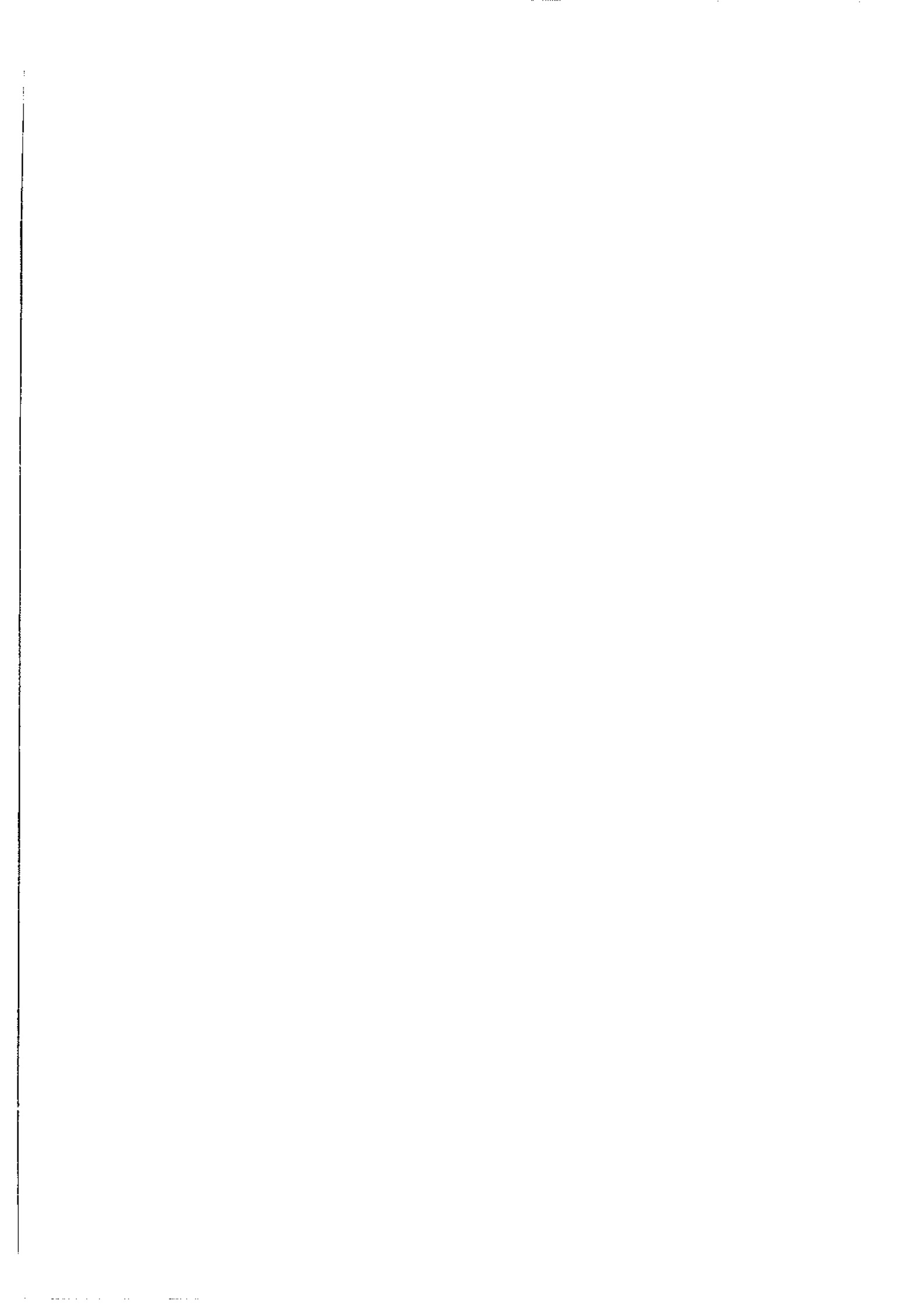
昭和二十七年二月十日、教育学部は城内キャンパスへ移り、師範学校跡は泉中学校、広坂へ移転した附属小学校跡は弥生小学校に転換された。弥生公民館はこの弥生小学校に同居していたのであるが、十分に機能を發揮できなかった。目前の旧暁烏文庫の建物は五年二カ月も空屋状態になっていた。

当時の公民館や校下の各種団体は、一丸となって無償払い下げ運動を展開し、文部省、大蔵省、その出先機関、金沢大学と折衝した。かくて昭和三十年六月、払下げの許可をうけ、独立公民館となった。ただ、旧暁烏文庫は、公民館として改装の要があり、それを弥生校下全世帯の協力で達成した。当時、金沢市内でも数少ない独立公民館であつたという。

昭和三十四年九月二十九日、泉中学校から出火、弥生小学校とともに烏有に帰した。その際、弥生公民館の一部も被災し、かなりの損害を受けたが、幸い火災保険で修繕できた。

物資不足時に建てられ、耐用二十数年、各種行事を展開するには限界に近づきつつあつた。新公民館建設の声がおき、寺西忍館長は常時『館報弥生』に協力を訴えた。かくて昭和六十一年四月十九日の新館開館日を迎えたのである。

第二章 回想篇



弥生公民館 創立五十周年記念座談会

○平成十三年四月二十四日
○弥生公民館会議室

(出席者)

公民館長	松下良
公民館会計	酒井守三
体育部長	小林務
元運営審議委員	遠藤美奈子
記録広報	坂本朝子
記録広報	田辺和代
主事(テープ取り)	寺西泰子
	黒田泰子
副館長	荒木郁雄
記念誌委員長	奥谷陽一
記念誌副委員長	
司会	

司会

今日は、皆様方忙しい中をお集まりいただき、ありがとうございます。

弥生公民館も、平成十四年に五十周年を迎えることになりました。本日は、古

くから公民館にかかわってこられた皆様に思い出をお話頂きたいと考えております。

最初に、小林さん、遠藤さんのこれまでの公民館との関わりや、思い出などを話してもらいたいと思います。

小林 私と公民館との関わりは、当初連合町会との関係から始まり、当時、少年連盟は未だ結成されておらず、育成委員会は大人、子ども会は子どもと別で、規約も二つありました。

当初、育成委員会に予算はなかったもので、活動を積みあげ、町会連合会から一世帯五十円の予算がつくようになり、現在の少年連盟に発展することが出来ました。

現在の会館が建設される前の古い公民館は、狭くて、成人式は小学校で開催したものです。その頃は大雪の年が多く、除雪が大変で、ストーブを運んで行った思い出もあります。

遠藤 古い公民館で思い出すことは、木造二階建て、階段は、ギシ

ギシ音がし、二階の畳の大

部屋は、床が落ちそうで、

心配しながらボランティア

や民生委員の定例会に集ま

りました。お年寄りをお招

きしての昼食会は、公民館

の台所がせまいため、お仲



間の藤原さんのお宅の台所をお借りしてお菓子を作り、持参したこともありました。

その頃、文化祭には、小学校の前庭にごさを敷いて、野菜や皆様から寄付して頂いた品物を買ったりしたことなど楽しい思い出です。

新しい公民館になって、併設の児童館厚生委員をお引き受けし、毎日、午後五時まで、子供達と遊びました。毎日の遊びとメニューを考えるのは、学校の教師時代の仕事より大変でした。教師の殻を脱いでと心がけましたが、つい、きびしい言葉も出てしまい、反省したものです。はじめてのトランポリンも楽しい経験でしたが、ただ、狭い部屋でいろいろの遊びを行うため、事故の起きるのが一番心配でした。

あとを谷さんにお譲りしたとたん、館長から、公民館の運営審議委員に推薦いただきました。運営審議委員としても、いろいろなお話がりましたが、行事があるたびに、委員長でいらした藤井澄文先生が、短冊に歌を書いて下さったのを覚えています。また、市制百周年の行事として、校下を旗行列で廻ったこともあり、辛いこともありましたが、苦勞した分、あとで楽しい思い出となっております。

酒井 私が公民館活動に関わるようになったのは、昭和三十一年頃と記憶しています。当時、

青年学級の全盛期だったと思います。書道、華道、茶道などいろいろな講座があり、市から予算も出ていたようです。中川主事が他館の実施状況など調べ、良



いものをどんどん取り入れ、いろいろな所から、立派な講師を呼んで頂きました。私は、週一回の北電講師による電気講座を受講しましたが、とても役立ちました。講座の数は、他のどこも校下より多く、フォークダンスもありましたね。

松下 私と公民館との関わりは、酒井さんよりやや早く、昭和二十七年頃で、公民館活動の胎動期で、まだ、地元二五%、市七五%負担の金沢方式が確立されていなかった時代でした。その頃、



私は体育部長をしていましたが、城南ブロックで軟式野球大会などやりました。競技に参加する人達は、ユニフォームも靴もなく、ランニングシャツで、ゴム草履やズックでプレイをしたものです。

校下の卓球大会など場所がないので、旧師範学校の体育館を借りて、開催したことを記憶しています。

遠藤 その頃の公民館は、学校に併設されていましたね。

松下 そうですね。どこの公民館も学校に併設されていた時代で、弥生公民館は、旧^{あけがらす}暁鳥文庫を金大より金沢市が払い下げを受け、大改修して、昭和三十三年六月から六十二年四月に、現在の新館が出来るまで使用されてきました。

新館のオープニング・セレモニーとして、祝事に上演される狂言「棒しぼり」があり、校下の方々に、日本文化の古き良きものを知って頂くよい機会となり、弥生らしさを出すことが出来たと思っております。

司会 皆様、この外にも、関係された事件や行事、人物などいろいろ

いろいろ思い出はあろうかと思いますが、つい先日（一週間程前）にお亡くなりになった橋本芳契先生が初代運営委員長をなさっておられますね。

松下 あの方の講演を聞いたことがあります。宗教家としては大人物で、昔の人は信仰心が厚く、お年寄りによくお寺へ行ったが、お寺は一種のサロンで、悩み事を相談するなどしたが、将来的には、公民館がその役割を担うだろうと言っておられました。西田幾多郎先生や暁鳥敏先生の流れを汲む方で、実におだやかな方でした。

荒木 私の小学校時代（石川師

範学校男子部附属小学校）

の主事先生で、いろいろと

薫陶を受けました。

司会 そのほか人物について、

この方と言う方はおられま

せんか。



酒井 私は、弥生小学校の卒業生ですが、館長をされていた松本盛典先生は、校医で、PTA会長をなさるなど、医師としてだけでなく、校下のためにいろいろと尽力されました。

山田さんが、館長をされていた昭和三十八年は、未曾有の豪雪で、みんな力を合わせて除雪しました。

松下 北中直三さん、山田鉄三郎さん、石田伊三郎さん、中村外次さんなど歴代の館長は、すばらしい方が出ておられます。

小林 寺西忍館長さんは、在任中に亡くなりましたが、新公民館建設について、一方ならぬお世話になりました。

司会 先程、酒井さんから、青年学級のお話が出ましたが、最近は、若者と公民館の関係が薄くなり、社会体育大会でも余り出てこ

なくなり、公民館とは、成人式の場所ぐらいに思っている人が多いのではないのでしょうか。青年向けの行事が少なくなっているからではないかと思われませんが、この傾向についてどう思われますか。

酒井 私達の時代は、ソフトボール大会など青年団活動はありましたが、現在は、泉町交友会は獅子舞など伝統的な行事を通じて、青年団の活動は続いています。一般の町会では、後継者がいないなど、殆ど活動は見られないようです。

遠藤 リーダー的存在の方がいないと続きませぬ。私達の泉旭一丁目の場合、昔は、青年部があり、映画鑑賞会や読書会などがありました。

司会 それでは、公民館の三大大事である成人式、社会体育大会、文化祭のあり方について、話し合いたいと思います。

小林 現在は、体育部が社会体育大会、文化部が文化祭、

青少年部が成人式と、それ

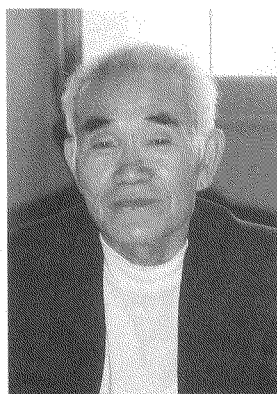
ぞれ担当して責任を持って、円滑に実施されていますが、以前は各行事とも、公民館

全体の部長、副部長が主と

してやっており、その出席率も良くなかったので苦労しましたが、現在のように各公民館委員が各組織に所属して、三大大事をやるようになり、良くなりました。

荒木 各部が責任を持ってやるようになる以前の組織は、現在の組織と異なっていましたか。

小林 部そのものはありませんでしたが、各町会からの公民館委員は、名前だけのケースが多く、実際活動して頂ける人が少なく、どう



しても役員でやることになりました。

松下 寺西館長の時代から、広い視野での公民館運営が出来るようになり、それ以前は、町連(町会)や婦人会などが両輪となつて、リーダーシップを握つており、中間に公民館があり、独立の活動が余り出来なかつた。寺西館長が近代化をされました。

小林 寺西さんは、五十七年に館長になられ、五十八年に当番館の役目を務められ、あと五十九年六月に入院され、十二月に逝去と余りにも早く惜しい人をなくしました。その間、新館建設委員会副会長として尽力されました。その後任に、現館長が就任され、現在に至っていますね。

酒井 社会体育大会を公民館主催で実施する意義は、大変大きいものがあると思います。

社体があるから、町会の結束が保てるという面もあり、社体の前に、子供に走る練習をさせ、優勝を狙うという過熱気味のところもありましたが、芦中町会の場合、三年連続優勝したこともありました。今は、どの町会にも優勝のチャンスがあるシステムになっており、リレーを別にしたこともあり、町会対抗でがんばろうと励みになっています。

松下 泉などお祭りに獅子舞がある町会は、獅子舞が結束の中心、他町会は運動会による連帯感が結束の中心になって来たと思われませんが、獅子舞も衰退して来たので、現在は、千七百名余の参加を見る社会体育大会が、校下の人が集まる一番の機会であると思います。

遠藤 文化祭や成人式は、参加する人が限られており、町会の多くの人に参加するのは、社体が一番であると思います。

松下 昔、プログラム作成の際、広告を取っていたこともありましたね。

小林 五十一年と五十二年の二回だけありますね。一回目は余剰金

でテントが購入出来、二回目は、公民館の畳替えが出来ました。文化祭での思い出としては、高価な展示品が展覧されていたので、警備のため、毛布持参で公民館で泊り込みをしたこともありましたが。元連合長寿会長の松下七雄さんが展覧された立派な盆栽を子供が折つてしまい、頭を痛めたこともありましたが。

松下 公民館の組織化、規律化が確立されたのは、寺西館長の時で、それまでのだらだらした寄り合いの話でなく、会議の開始時間、終了時間が徹底されるようになりました。時間が来ると館長自身が座布団を片付け始められるなど率先されました。

司会 最近の金沢の町は、南の方も伸びているが、北の方が急速に伸びているように思われますが、北の方が土地があるからでしょうか。

松下 合同庁舎など官庁、武道館、体育館、競馬場、住宅団地の建設など、行政主導の施策が進められている。湿地帯でコストもかかり、どちらかと言えば、南の方でしょう。

南郵便局の年賀状の発着数は、全国九位であり、企業や住民数からして、南の方が伸びていると思われれます。

司会 弥生公民館の管内には、転勤族やマンション族、学生などが多く住んでいるように思われ、これらの人達の公民館活動が余りないように思われるが、どのような施策により引き込むことが出来るか。また、最近、高齢化、核家族化が進み、ひとり暮らしの人が増加し、二百戸程あると聞いております。これらの方についての対策も問題だと思われれます。

荒木 最近、発足した弥生サロンのような地域サロンに、高齢の人達が積極的に参加出来るようにし、交流をはかっていくことも必要だと思われれます。

松下 現在は、福祉の方々が中心となってやっておられますが、将来的には、公民館がフォローして行く必要があると思われれます。高齢化の時代で、若い人の公民館役員も少なくなっている、中高年の人達を中心となって行く傾向にあります。そのような状況の中で、公民館に対して若い人に顔を向けさせ、足を運んでもらうかが、今後の課題だと思われれます。

司会 これには、公民館からの積極的な働きかけが必要と思われ、地域における掲示板や回覧板などによりPRし、一人でも多くの若者に公民館活動に参加してもらうことが必要です。

松下 昭和五十五年頃、国の施策でコミュニティセンターの建設がはかられ、弥生地区は、昭和五十七年頃、泉八幡神社の八光会館、国造神社の泉文化会館、桜木神社の会館、旧地黄煎町の致芳会館などが現在、それぞれの地域の行事や町会総会、役員会などに活用されています。現在は、センターである公民館と各会館の連携はないが、今後、夏休みの子どもの集まりなどを通じ、公民館と各会館の役割分担を考え、住民全員参加の施策を進めて行きたい。公民館まで、出かけられないお年寄りに、出前講座なども考えて行きたいと思われれます。

遠藤 現在の公民館の行事や講座には、女性にとつて魅力的なメニューが多い反面、男性向けのものが少ないように思われれます。子供には、児童館があり、高齢者には、みどり学級があります。若者も参加したいと思うメニューが出来ないものではないでしょうか。そういうものがあれば、若い人にも底辺を広げることが可能かと思われれます。

松下 今年八月に計画しているパソコン講座は、若い人も参加出来る、各コース二十名で、三コース六十名を予定しています。これは、各館五台のパソコンを近隣の四公民館が貸し合って実施してい

るものです。

司会 今年度、野町公民館では、他館とタイアップして、共催事業を企画しているとのことですが。

松下 パソコン講座については、野町、中村、城南、弥生がタイアップして、四月から、各館毎に実施しています。

荒木 パソコン講座以外においても、講演会や行事など共催することも考えられます。今年の弥生、野町両公民館交流事業として、町並み体験ウオークが、六月、七月に計画されています。

遠藤 親子でウオークラリーに参加したことがありますが、よい勉強ができました。野町の寺院めぐりなどして、他校下との交流もあつたらよいと思われれます。転勤族の方にも、地元を知ってもらう足がかりになるのではないのでしょうか。

松下 地域の伝統や文化についての語り部がだんだん少なくなっていると思われれます。弥生公民館として、昨年八月の夏休みの一日、児童、一般の人が多数参加して、泉旧道の一部を散策し、古老に、昔の町家の様子や生活について説明を受け、大変好評でした。二回目も計画していましたが、今後、泉旧道の残り、旧市営住宅附近、旧地黄煎町など四回位にわけて、各地域の語り部の説明を受け、地域の歴史や文化を知る機会を作つて行きたいと思われれます。

司会 それでは、最後に、将来的に公民館に期待することを、皆様、一言ずつお願いします。

小林 若い人を集めるには、どのような行事をやれば、よいか頭を悩ましていくところですが、男の人を集めるには、ソフトボール大会がよいと思われれますが、問題もあり、今後検討して行きたいと思われれます。

遠藤 最近の公民館の行事は、以前の形式的で固いイメージがなく

なり、講師も地域の人の場合が多くなり、親近感があり、リラククスして受講できます。ただ、集まってくる人が固定化しないように、一人でも多く、新しい人に声をかけて、底辺を広げるようにしたいですね。

酒井 私は、公民館に隣接する桜公園の恵まれた環境を活用して、もっと人が集まる行事を企画したらよいと思います。三年前からの弥生さくらまつりや文化祭には、大勢の人が集まって来ており、今後いろいろと工夫して行く必要があると思います。

遠藤 昔、気象台が、弥生のシンボルだったように、桜公園も弥生の広場として活用したいですね。

松下 弥生公民館の行事の場合、住民の自主的な参加が多いと思われる、毎年の役員研修旅行の場合は、親睦を深めると同時に、美術館見学などにより、美術鑑賞を柱としています。

将来的には、形の変った研修旅行や一般の方のカリキュラムを組みたいと考えています。

荒木 来年から、学校の完全週休二日制が実施されますが、学校と公民館の協力体制が、より重要になってくると思われれます。子供の問題は、大切であるので、学校と密接な連絡を取りながら、公民館に期待される役割を円滑に果して行くことが必要かと思えます。

パソコン教室も一年だけで終りとせず、地域の講師により、続けて行きたいと思えます。

松下 学校の週休二日制の実施に対応するため、今年から、市の生涯学習課が、生涯学習推進課と青少年教育課の二つに組織改正が行われています。

今日は、公民館について、いろいろな角度から、過去、現在、将来についてお話し頂き、有意義だったと思います。

司会 本日は、長時間にわたって、貴重な体験談や公民館に対する今後の期待などについて、お話し頂き有難うございました。



第三章

各種団体の活動篇

町会連合会

弥生校下町会連合会 会長 村西 光男

弥生地区は、昔から古い町と新しい町が混在している地区です。犀川以南の地区が旧一連区に属していて、昔は、野町地区の一部が分離して出来た校区です。

その関係で弥生地区は、明治以来の小学校は野町小学校でした。当時は、校区と言う制度がまだ確立せず、戦後の教育改革により、石川師範学校男子部付属小学校がこの地区から、広坂通りに移転し、それにもない付属小学校の校舎と敷地が金沢市に移管されました。その校舎と設備を活用し、野町小学校弥生分校として新発足しました。その後、分校の整備がすすみ、野町校より分離して弥生小学校が開設され、弥生校区が誕生したようです。それから、校区に諸団体も発足し、現在に至っています。

現在の「さくら公園」の地に、明治四十一年に、金沢で初めての測候所が出来ています。出来た当時は、観測塔はレンガ造りで、上へ登ると日本海まで見えたそうです。ところが、周囲に住宅やビルが建設されて観測が困難となり、平成三年十月に、金沢駅西合同庁舎へ移転しました。

その跡地に、金沢の開花の標準木として市民に親しまれた桜の木を中心に公園が造成されました。しだれ桜など主としてさくらの木が植樹されましたが、四季を通して花が咲く「さくら公園」として多くの住民に利用されています。

公園に隣接して、野町分団の消防ポンプ車が格納されている野町、弥生消防会館があり、非常の場合にスムーズに出動出来るように万

全の備えがされています。

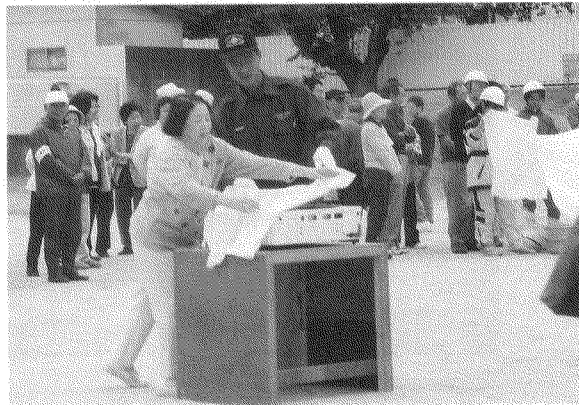
公民館は、これからも生涯学習の場として住民が活用して行かなければなりません。

公民館設立五十周年誌発行に際し、町会連合会の沿革を述べさせていただきます。

今後の公民館のますますの発展を祈念し、五十周年をお祝い申し上げます。



さくら公園 開園記念植樹



防災訓練

やよい児童館の歩み

館長 北本 与一

昭和六十一年弥生会館の竣工と共に、その二階に開設された金沢市立弥生児童館は、十五年を経て現在に至りました。

児童館は子ども達に安心して遊べる安全な環境を与え、遊びをとおして生活指導をし、健康で情操豊かな社会性のある子ども達へと、その成長を支援していくのがねらいです。

幸いにも弥生児童館は、小、中学校にも近く校区のほぼ中心に位置し、隣接して美しい「弥生さくら公園」もあり、市内三十の児童館のうち恵まれた児童館であるのは喜ばしいことです。

当児童館では、児童が登校して不在の午前中の施設を利用して平成元年五月から、親子ふれあい事業の「かんがるー教室」が、地区児童館として最初に開設され、親と子のコミュニケーションを深める遊びを通して幼児の成長をはかると共に、母親同志も交わりを深めながら育児力の向上をはかるよう導いてきました。

また共働き等の家庭の子ども達の放課後の生活を導く、「児童クラブ」も年々希望者が増えています。その子ども達は異年令の仲間、男女の差なく遊びや行事、文化的な活動を経験しながら社会性を培っています。

当児童館では遊具類も充実しており、開館中は誰でも自由に利用することができ、楽しく遊びを工夫しながら交遊しています。

また子ども達の能力を高めるために、季節や行事に応じた遊びや手作りなどを計画すると共に、折紙、トランプポリン、バトン、料理、お茶、絵画、しよぎ等のクラブに自由に参加でき、個性を伸ばす

よう計らっています。

少子化傾向のある現在、将来国を背負う子ども達に対する期待は大きく、国、県、市も児童館に多大の理解をもち、その発展を計っているのは、ありがたく、職員一同もその期待にそうよう努力しています。



魚つりゲーム



旗源平ゲーム

社会福祉協議会

弥生地区社会福祉協議会の現況

会長 高田三七雄

弥生地区の社会福祉協議会は、昭和二十八年十二月一日に、弥生校下民生委員協議会・社会福祉協議会として創設され、事務所を弥生小学校に置いて活動が開始された。その後昭和三十年に事務所が弥生公民館に移され今日に至っている。

当時の福祉業務は、昭和二十六年の社会福祉事業法の制定に基づき、行政が主体となり行政処分として福祉サービスを決定するという措置の制度で行われていた。

弥生地区の事業活動は、要保護・母子・父子・老人等の対象世帯の実態調査、戦没者追悼法要、敬老会、共同募金運動・歳末助け合い運動等で、各団体の協力を得て実施された。

本格的な少子・高齢社会の到来、核家族化や家庭機能の変化といった社会機構の変容をうけ、平成十二年に社会福祉事業法の一部改正と社会福祉基礎構造の改正が実施された。

これまでの「行政が行政処分によりサービス内容を決定していた措置制度」から、「利用者が事業者と対等な関係に基づきサービスを選択する利用制度」へと内容が改正され、介護保険制度も平成十二年四月から、導入施行された。

弥生地区の福祉業務も、改正への方向に見直されて実施された。高齢者福祉対策では、高齢者福祉保健台帳を作成し、それに基づいた各事業の実践、地域のデイサービスへのボランティア活動、ひとり暮らし高齢者を対象とした、まちぐるみ活動、更には、各種団体が協力して開設した弥生サロン事業等、地域の特徴を生かした福祉活動が実施されている。

◎歴代弥生地区社会福祉協議会会長譜

- ①山田 鉄三郎 昭二九・四〇～昭五〇・五
- ②田村 勝治 昭五〇・六〇～昭五六・四
- ③寺西 忍 昭五六・五〇～昭五九・四
- ④高田 一男 昭五九・五〇～平成三・六
- ⑤新保 友栄 平成三・七〇～平成八・四
- ⑥高田 三七雄 平成八・五〇～



長寿を祝う会

少年連盟育成会

弥生少年連盟育成委員会の現況

委員長 黒田 悟

弥生少年連盟は、各町会（二名）から選出された委員数名の理事で組織され、六十名位で運営しております。

活動費は、市や各町会からの助成金により運営しております。

子供達がいろいろな活動を通じて、異世代の人達との触れ合いの場を作り、社会性を身につけ、地域社会の一員として、自立した人間性を育てることを願い、多くの行事をおこなっております。

活動は、クリーンキャンペーン・バラ園写生会・ちようちん行列・ホテル調査・球技大会・七夕折り紙教室・ラジオ体操・三世交代会・ミニ門松作り・ユニセフ募金・スキー教室・立志の集い等いろいろあります。

球技大会においては、ソフトボールは三チーム、ドッジボールは二チームを作る人数しか集まらなく、最近の子供達は、ボールやバットで遊ぶことが少なくなり、大会の近くに即成チームを作つての参加となります。

昭和のころは、二十数チームの参加で、泉中、弥生小両グラウンド使用で、一日中走りまわつた思い出も、今はなつかしく感じられません。

他の行事は、子供達に手造り活動の楽しさと、充実感が得られ、思いやりの精神を育むことができることを願っております。

平成四年に、弥生少年消防クラブが発足し、地域に密着した活動により、ボランティア精神を養っております。

今後とも、地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。



七夕づくり



スキー教室

弥生連合長寿会

弥生連合長寿会会長 野村 辰雄

昭和三十八年老人福祉法の制定によって弥生校下長寿会が結成され、以来高齢社会化に沿って目覚ましい発展が進み会員ニーズは身近な健康、友愛、教養など資質向上を高める機会を強く求めて、地域町会を基軸に単位長寿会が誕生、従ってこれら単位組織の連帯感の強化が必須となり、昭和五十一年「弥生連合長寿会」を結成、現在は六つの単位長寿会が加入し、たゆまぬ努力で漸次、活動範囲が広まり地域の「生き字引」として校下諸階層からその参画を強く望まれている。

泉野三丁目長寿会	会長	野村辰雄	七八名
泉 旭 長寿会	会長	竹村武次	六五名
弥 生 長寿会	会長	北川政男	八九名
泉ヶ丘 長寿会	会長	千代 宏	五九名
南弥生 長寿会	会長	松岸 勉	五八名
泉寿会	会長	堀 一男	一〇三名

合計 三六五世帯 四五二名

女性部代表 宮本喜美枝

会 計 吉野 晃

主なる活動状況

- 一、教養を高める活動は、歴史、文化、生活など専門講師を招き、年二回聞き聴講が多く生活に大変役立つと喜ばれている。
- 二、会員間の親睦を深める研修旅行を年二回実施し、生涯スポーツのグラウンドゴルフ大会を春秋の二回会長盃争奪戦で人気は高い。



研修旅行

- 三、生活情報の「長寿だより」は広く会員と校下学識経験者の方々からもご執筆戴き内容充実の広報を八月、一月の年二回発行。
 - 四、高齢者とは言え人生半ばにして、野辺に向われた方への追悼法要を毎年十一月僧侶を招き盛大に挙行している。
 - 五、奉仕活動では校下公園、小学校及び全国老人会一斉美化運動での奉仕を実施している。
 - 六、交流活動では四月の小学校観桜会や三世代交流に参加し子供達に励ましを受けている。
- 二十一世紀は少子化と相俟って今後一段と高齢者環境が厳しくなる事が予想され、健康で教養を高める活動に一層努める所存です。

防犯委員会

防犯委員会の現況と今後の活動

会長 喜多 恵

弥生公民館発足五十周年と言う記念すべき年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。

当委員会は、各町会より、一名ないし二名の委員を選出頂き、若干名の理事を含め、約五十名の委員で活動を実施しています。

基本的な活動としては、毎月三回、校下全域をパトロールし、活動の内容は、住民の夜間の安全を願い、自転車の無灯火の注意、雨の日の傘さし運転の注意、駐車違反車のチェック等の呼びかけを重点としており、これらの点は、昔も今も変化がないように思われます。

校下全域における近年の事象としては、青少年の非行化が目立ち、未成年者のシンナー遊び、喫煙、公的施設における花火遊びなどがあり、交番所と密接に連絡をとりながら対処しているところです。このようなことが今後多発しないよう地域の皆様と協力しながら、微力ながら努めていきたいと思っております。

また、全国的に東南アジア系の外国人の犯罪が増加しており、自販機荒し、空巣狙い、ワイセツ行為など多様化しております。

青少年の健全育成、地域の治安向上をはかるため、当委員会では、公民館、町会連合会、各種団体の協力を得て、毎年合同研修会を開催しており、意見交換を活発におこない、その後の活動に取り入れ、明るく住み良い町造りに努めております。

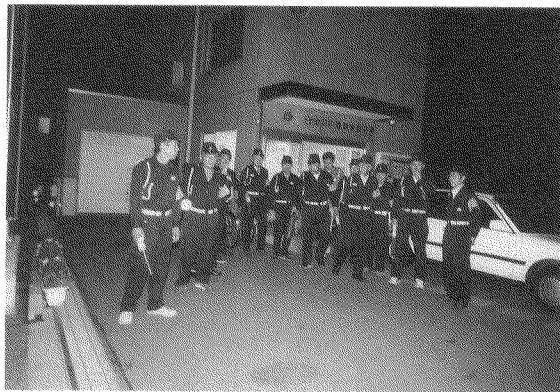
二十一世紀を迎えた今日、自分達の校下、町会は、自分達で守る

うをスローガンに、皆様方のご協力を頂きながら、活動を展開して行きたいと考えております。

今後、公民館活動は、町連、各種団体が一体となってサポートし、弥生校下の治安、福祉の向上、青少年の健全育成、生涯学習など明るく住み良い町造りに貢献されるよう切望しております。



桜木神社前の夜間パトロール



泉交番前で勢揃い

交通推進隊

交通推進隊のあゆみ

街頭交通推進隊長 石坂太喜治

街頭交通推進隊の出来る前（昭和三十五年半頃）は、「みどり」のおじさん、おばさんとして、緑色のジャンパーに黄色の帽子という服装で、信号機のない交差点に立って、手旗で交通整理をしていたもので、その頃が懐しく思い出されます。

昭和四十三年に、金沢市街頭交通推進隊が発足し、弥生支隊は八名で構成され、毎月一日、十日、十五日、二十日を交通安全日と定め、学校通学路の主要交差点で、安全指導を行って、すでに三十三年を数えます。



子ども提灯行列

毎月一日の活動終了後に、必ず、ミーティングをおこなう。当月の行事や関係機関からの連絡事項の伝達など、交通安全について話し合い、隊員間のコミュニケーションをはかっています。

推進隊発足時に比べると、現在の車輛の交通量は、十数倍に増え、朝夕のバスレーン設定、朝時間帯の通学路禁止道路、シートベルト、チャイルドシート着用など交通規制

等も数多くなっています。

近年では、夜の交通事故の発生も多いので、毎月、第二、第四火曜日の夜、出動を実施し、有松交差点で車の上に赤いランプを廻し、隊員全員がピカピカ光るライトを手に、ドライバーに交通安全意識の高揚を訴え、無灯火自転車運転、傘さし運転の注意など、「赤ランプ作戦」を展開し、安全指導をおこなっています。

年間恒例行事としては、年末年始、春、秋の全国交通安全運動をはじめ、百万石まつりの子供ちようちん行列、百万石行列、市民マラソン大会、小学三年生の自転車乗り方教室への出動などがあります。

隊員は、現在六名で、一、二名の入隊を募っています。「交通安全は家庭から」を合言葉として、今後も交通安全に積極的に取り組んでいきますので、弥生校区の皆様方のご協力、ご支援を心からお願いたします。



交通安全運動のポスター

弥生校下更生保護

弥生校下更生保護の現況

理事 酒井 守三

更生保護の目的は、犯罪を犯した非行少年達の更生を保護し、援助し、促進することであり、心身および生活態度を改め、社会人として社会生活を営むことが出来るように再社会化する(させる)こととあります。

保護司は、犯罪者や非行少年達の改善および更生を助け、保護観察官をサポートするために、地域の篤志家が委嘱されております。

また、保護司は、社会奉仕の精神をもって、犯罪を予防するため、世論の啓発に努め、地域社会の浄化を図ることを任務とする非常勤の国家公務員です。

七月は、社会を明るくする運動月間で、全国的に行事が行われています。当地区では、更生保護婦人会やBBS会が協力して、ここ数年、公民館、連合町会、各種団体がタイアップして、講演会やケース研究を行っております。

青少年の健全育成について、テーマに基づいて各グループで熱心な討議をおこない、その結果を全体会議で発表しまとめるなど、地域住民に啓蒙をはかっております。地域住民と話し合いしながら、ケースについて理解を得ることが必要で、ミニ集会を何度も実施しております。

犯罪予防活動の外に、社会参加活動もあり、知的障害児施設や特別養護老人ホームで、車椅子やベッドの掃除、利用者の話し相手や車椅子の介助など、非行少年と保護者、保護司と三者同伴のボラン



ミニ集会

ティア活動も盛んになってきております。

当校下における犯罪非行件数は、昭和三十五年代は多かったように思いますが、昭和五十五年代は、事件件数が減少し、野町、三馬、泉野校下のケースが回ってくるようになりました。

最近では、少子化が進み、IT革命の進展もあり、事件も以前に比べて複雑化、多様化しており、パソコンや携帯電話を使つてのケースが増加の傾向にあります。

保護司は、他人のプライバシーや秘密を守り、地域が少しでも良い環境になるよう、相談の場を開催するなど、日夜、活動をすすめています。

弥生校下の保護司

昭和二十八年頃活躍された方々

森 末松 弥生一丁目

高橋外吉 弥生二丁目

能登長朔 泉が丘二丁目

竹井 央 弥生一丁目

井口与一 有松二丁目

昭和五十六年頃活躍された方々

越野迪子 泉が丘一丁目

高田一男 有松二丁目

北崎喜義 泉野町三丁目

田村勝二 泉三丁目

浜野千代子 泉二丁目

現在活躍中の方々

堀 克己 泉野町四丁目

松下直武 泉が丘一丁目

田村 清 泉三丁目

坂本朝子 泉が丘二丁目

酒井守三 泉一丁目

消防団野町分団

金沢市第一消防団野町分団の現況

団長 宮本 哲一

野町分団が、弥生二丁目の「さくら公園」へ移転して、はや、五年目を迎えようとしている。野町二丁目（広小路交差点）にいた頃に比べて、全ての点で充実しています。

野町、弥生消防会館は、神戸・淡路大地震の教訓を活かし、耐震構造建築になっており、一階は、ポンプ自動車と人員機材搬送車の二台の車両が格納出来、二階は梯子登りの練習や婦人防火クラブ、少年消防クラブ等の会合が出来るような施設となっております。

地域住民の生命と財産を守るという使命と任務を達成するため、毎月二回、点検と訓練の日を設け実施しています。灼熱肌を焼く修羅場にあつて、千変万化の火勢を制圧し、消火活動を効果的に行うには、日頃から卓越した技能と激務に耐える強靱な体力を養成することが必要とされます。毎年六月には、金沢市のポンプ自動車による操法大会が開催されますが、野町分団は、日頃の訓練の成果を発揮し、毎年連続して敢闘賞を受賞しています。

昨年における火災の出火原因の一位は、放火であり、最近は、何にでも無差別に火をつけるケースが多く、連続車両火災は、その一例である。昔も今も放火は重罪であるが、この認識が薄く、放火によつてこれまで築いて来た財産が、一瞬にして灰となるむなし現場に遭遇することもある。

消防団は、火災だけでなく水害などあらゆる災害時に出勤に備え、特に、梅雨時期や台風シーズンには待機命令が出る場合が多い。

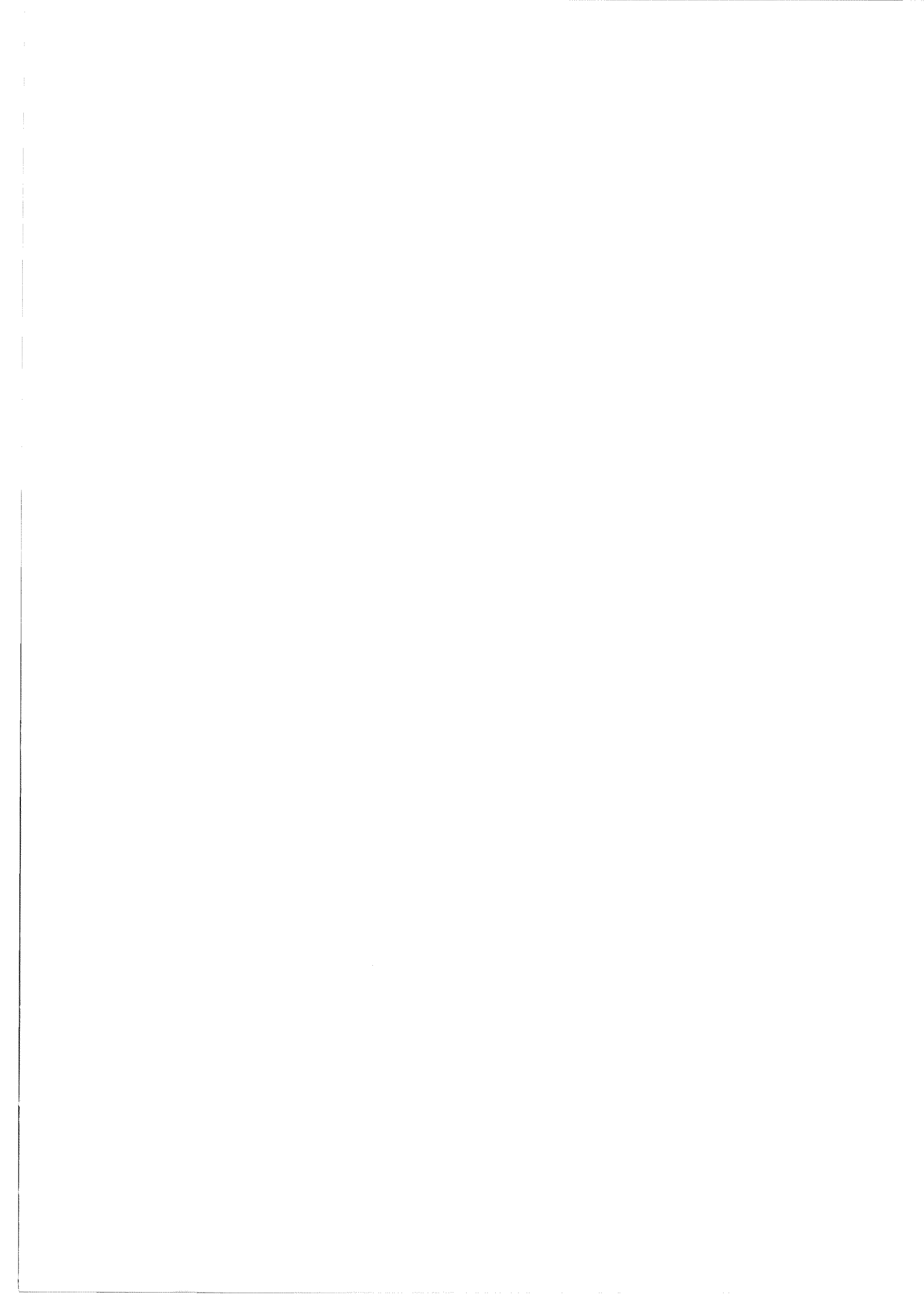
金沢市の中心部でも、空店舗が増え空洞化が進み、危険な建物が見られ、野町分団の管轄区域には、寺町寺院群があり、重要文化財も多い。災害は、何時、何処からやってくるか予測出来ないが、住民の皆様も、自主防災組織の実施する震災訓練に参加し、災害時に備えて頂き、野町分団も地域住民の期待に応えられるよう努力していく所存です。



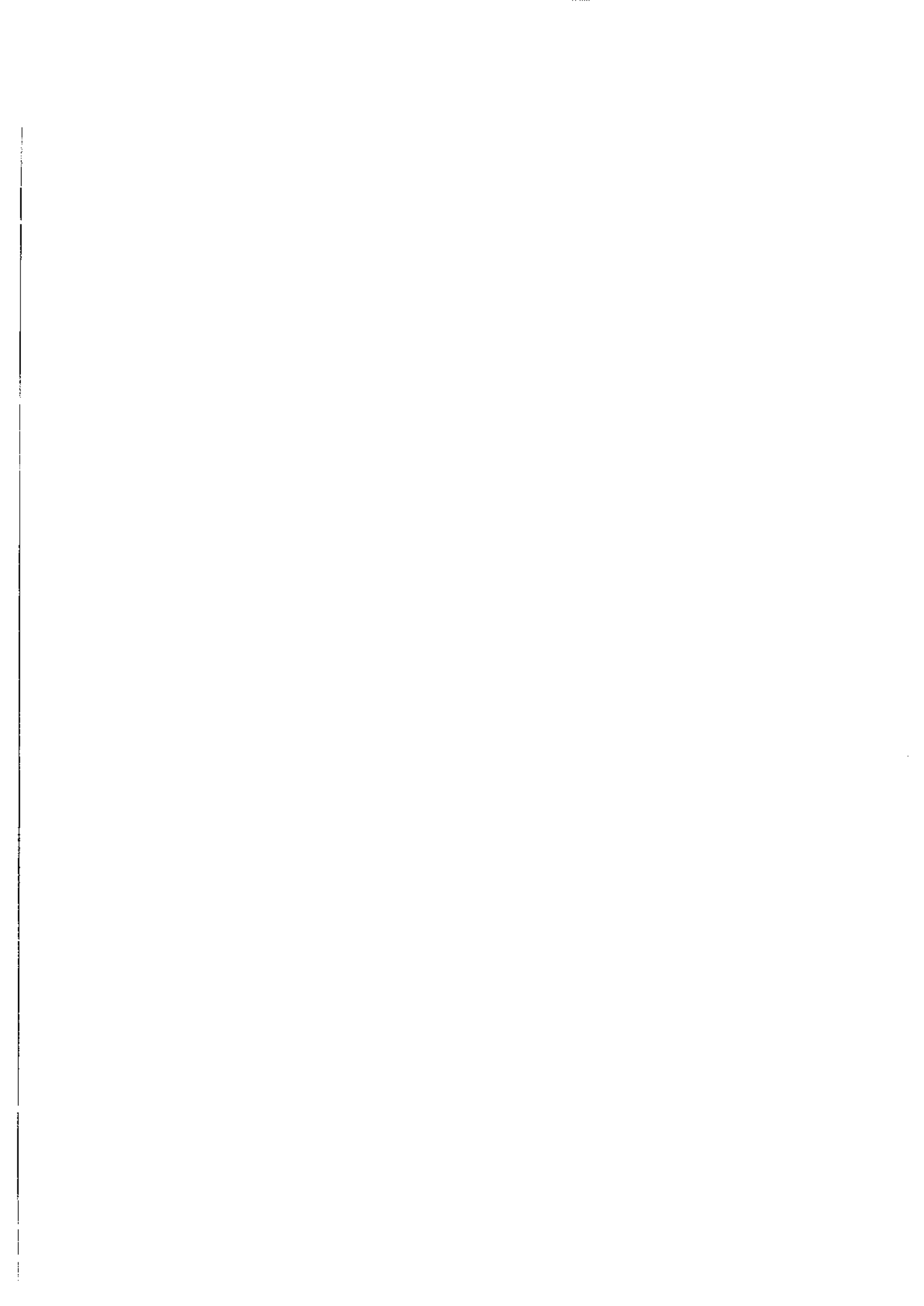
器具、設備点検



消防団野町分団員



第四章 資料篇



公民館活動についてのアンケート結果

(H13. 8) 弥生公民館

1. アンケート調査の目的

弥生公民館が50周年を迎えるにあたり、地域の皆様に現在の公民館活動についてのご意見、将来についての要望等を調査し、今後の改善の資とすることを目的とする。

2. アンケート調査の方法

弥生校下27町会に対し、5枚程度（各年代1名目途）アンケート用紙を配付し、記入を依頼し5月迄に回収した。

3. アンケート回答者

校下全体から145名の回答が集まり、内訳は、20代15.9%、30代25.5%、40代19.3%、50代23.4%、60代以上15.9%とバラツキはあるが、どの年代からも回答が得られた。

4. アンケート回答結果

1) 公民館行事、催物についての周知率

公民館三大大行事である「成人式」「校下運動会」「文化祭」については、各年代とも周知率は高く、三大大行事に準ずる「弥生さくらまつり」についても周知率は高い。「みどり学級」「さくら学級」については、高年齢になるほど周知率は高くなっているが、50代、60代で40～50%の周知率なので、もっとPRが必要かと思われる。

「各種講演会」については、20代、30代は20%台、40代～60才代以上は40%～60%の周知率となっている。

「クリーン活動」については、20代は13%と低いが30代は51.4%と高くなり、60才代以上は60.9%と「クリーン活動」を実践している世代の関心の高さを表している。

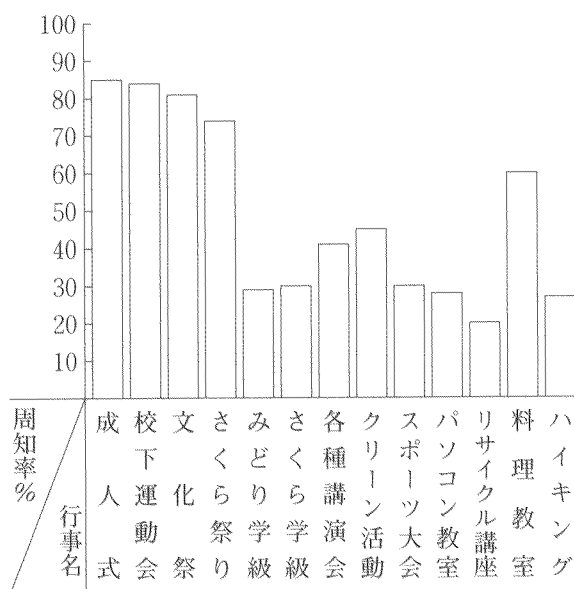
「スポーツ大会」については、20代、30

代は10%台と低く、40代は50.0%と一番高いのは、親子で参加というケースが多いためかと考えられ、50代、60才代以上は、30%台と下がっている。「パソコン教室」「リサイクル講座」は10～40%と周知率は未だ低い。

「料理教室」は40%台から60%と各年代ともある程度周知されている。

「ハイキング」については20代4.3%、30代18.9%と低く、全体で26.9%の周知率となっている。

公民館行事、催物についての周知率(%)

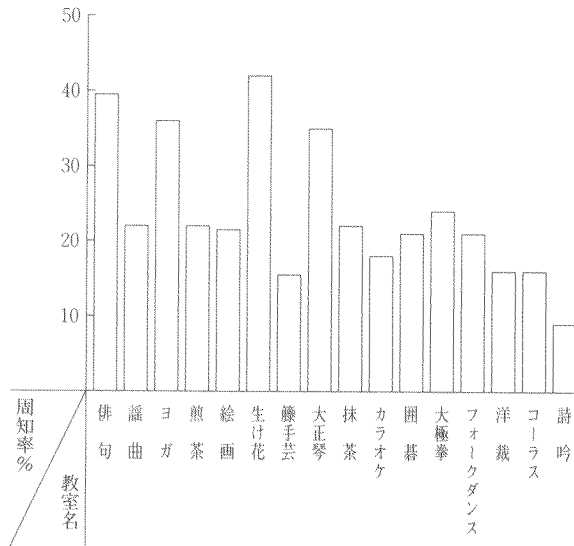


2) 公民館で開催されている教室についての周知率

全体的に見ると俳句、ヨガ、生花、大正琴の周知率は比較的に高く30%～40%の周知率となっているが、他は10%から20%前後と低い数字を示している。

年代別に見ると低年代の周知率は全般に低く、高年代ほど高くなっている。

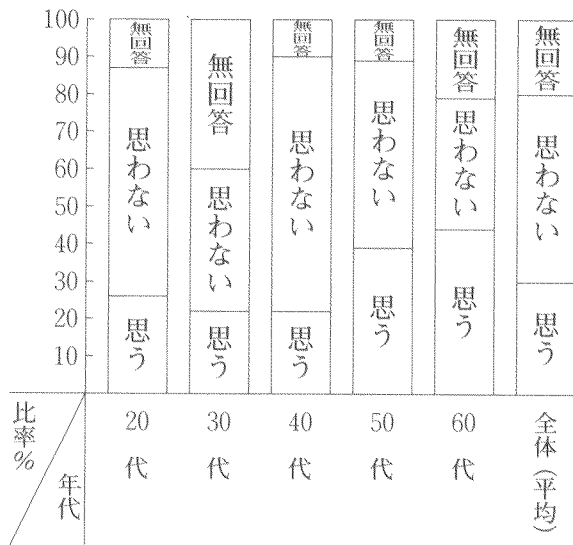
公民館で開催されている教室周知率 (%)



3) 現在の公民館活動は、多くのボランティアの方々によって支えられていますが、あなたは将来公民館活動をやってみたいと思いますか。

「思う」と答えた人は、20代、30代、40代が20%台、50代38.2%、60才以上は43.5%と高令者が多くなり、全体（平均）29.7%とボランティア活動についての関心が高いことが推定される。

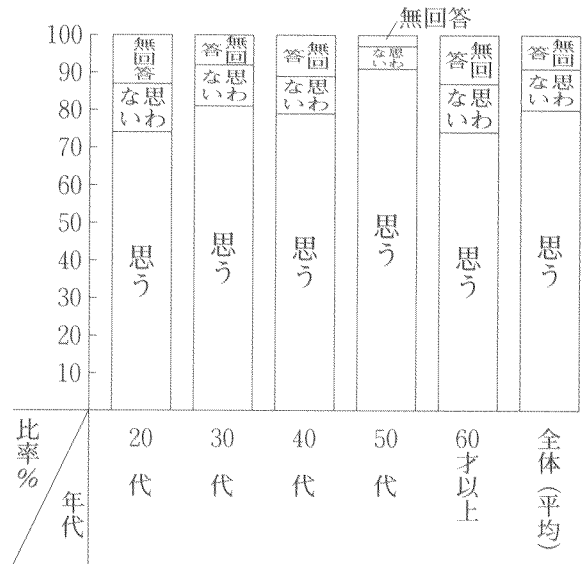
将来、公民館活動をやってみたいと思いますか。



4) 高令化社会の進展に伴い、生涯学習の場として、公民館の役割が増大すると思いますか。

「思う」と答えた人が全体（平均）で80.7%と非常に高く、公民館活動についての期待感の強さが推定され、年代別に見ると50代が91.2%、他は70%から80%となっている。

公民館の役割が増大すると思いますか。



資料 アンケート回答者

年代	回答数	比率 (%)
20	23	15.9
30	37	25.5
40	28	19.3
50	34	23.4
60	23	15.9
計	145	100.0

公民館行事、催物についての周知率(%)

	20代	30代	40代	50代	60代	平均
	%	%	%	%	%	%
成人式	82.6	70.3	85.7	94.1	95.7	84.8
校下運動会	47.8	86.5	92.9	94.1	91.3	84.1
文化祭	52.2	67.6	96.4	97.1	87.0	80.7
弥生さくらまつり	43.5	78.4	82.1	79.4	78.3	73.8
みどり学級	4.3	18.9	32.1	41.2	43.5	28.3
さくら学級	4.3	24.3	35.7	32.4	52.2	29.7
各種講演会	21.7	27.0	50.0	47.1	60.9	40.7
クリーン活動	13.0	51.4	46.4	47.1	60.9	44.8
スポーツ大会	17.4	16.2	50.0	35.3	34.8	30.3
パソコン教室	13.0	35.1	25.0	26.5	39.1	28.3
リサイクル講座	13.0	16.2	21.4	11.8	43.5	20.0
料理教室	43.5	67.6	67.9	52.9	65.2	60.0
ハイキング	4.3	18.9	32.1	35.3	43.5	26.9

公民館で開催されている教室周知率(%)

	20代	30代	40代	50代	60代	計
	%	%	%	%	%	%
俳句	13.0	27.0	60.7	41.2	56.5	39.3
謡曲	0.0	18.9	28.6	8.8	52.2	20.7
ヨガ	17.4	27.0	50.0	47.1	39.1	36.6
煎茶	0.0	13.5	32.1	23.5	43.5	22.1
絵画	8.7	18.9	28.6	14.7	39.1	21.4
生け花	26.1	45.9	50.0	32.4	56.5	42.1
籐手芸	0.0	5.4	10.7	23.5	34.8	14.5
大正琴	26.1	21.6	39.3	44.1	47.8	35.2
抹茶	21.7	10.8	14.3	29.4	39.1	22.1
カラオケ	4.3	18.9	21.4	17.6	26.1	17.9
囲碁	8.7	18.9	25.0	17.6	34.8	20.7
大極拳	13.0	16.2	25.0	29.4	39.1	24.1
フォークダンス	4.3	13.5	28.6	23.5	34.8	20.7
洋裁	13.0	10.8	14.3	17.6	30.4	16.6
コーラス	4.3	10.8	14.3	14.7	39.1	15.9
詩吟	4.3	0.0	10.7	8.8	21.7	8.3

将来、公民館活動をやってみたいと思いますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	計
	人	人	人	人	人	人
思う	(26.1) 6	(21.6) 8	(21.4) 6	(38.2) 13	(43.5) 10	(29.7) 43
思わない	(60.9) 14	(37.8) 14	(67.9) 19	(50.0) 17	(34.8) 8	(49.7) 72
無回答	(13.0) 3	(40.6) 15	(10.7) 3	(11.8) 4	(21.7) 5	(20.6) 30
計	(100.0) 23	(100.0) 37	(100.0) 28	(100.0) 34	(100.0) 23	(100.0) 145

高令化社会の進展に伴い、生涯学習の場として公民館の役割が増大すると思いますか。

	20代	30代	40代	50代	60代	計
	人	人	人	人	人	人
思う	(74.0) 17	(81.1) 30	(78.6) 22	(91.2) 31	(74.0) 17	(80.7) 117
思わない	(13.0) 3	(10.8) 4	(10.7) 3	(5.9) 2	(13.0) 3	(10.3) 15
無回答	(13.0) 3	(8.1) 3	(10.7) 3	(2.9) 1	(13.0) 3	(9.0) 13
計	(100.0) 23	(100.0) 37	(100.0) 28	(100.0) 34	(100.0) 23	(100.0) 145

今後公民館で実施されればよいと思う行事

20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上
夏祭り	盆踊り	フリーマーケット	盆踊り 2 件	演劇
マナー講習会 (フランス料理の 食べ方)	パソコン教室 (メール、ホーム ページを見る以上 のもの)	映画会 (評価の高かった もの)	ハイキング 2 件	いろいろな所の見 学
バーベキュー	ガーデニング教室	子供の行事は多い 方がよい。		
昔の祭りの再現 (獅子舞、みこし)	百人一首教室			
昆虫採集	子供が楽しめるも の			
帯の結び方	ボランティアの呼 びかけ			
クラシック音楽				
そうめん流し				
もちつき大会				

今後公民館で実施されればよいと思う講演会

20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上
地元の職人さんの 話	子育てに関する もの	地域の歴史 (弥生校下、金沢 市など)	実績ある有名人の 講演会	校下の歴史等
行政の話 (警察、税務署な ど)		一向一揆の歴史	リサイクル講座	税や年金、貯金な どに関するもの (わかり易く)
身近な人の体験談 (戦争)		町中の鳥花など	介護について	金沢に関係したも の (例 花のれん)
田中真紀子の講演			健康講座	
料理 (栗原はる み)			市長との座談会	
老人問題				
ゴスペル				

今後公民館で実施されればよいと思うスポーツ大会

20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上
体力テスト大会	釣大会	ボーリング大会	ボーリング大会	卓球大会
ゲートボール大会	室内競技	子供によるマラソン大会	バレーボール大会	グラウンドゴルフ大会
バトンの演技披露	町会対抗競技		ソフトボール大会	オリエンテーリング
綱引き			老人と子供と一緒に楽しめるもの	
ドッジボール大会				
卓球大会			卓球大会	

今後公民館で実施されればよいと思うもの（その他）

20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上
外国語教室	母親向けの子育て講座（年間を通して学べる年5～6回程） 歴史講座 料理教室（午前中主婦向け） コーラス	クラシックコンサート 登山	バザー フリーマーケット 高令化社会に対応して老人世帯や老人を対象とした催事およびサークル活動 校下の子育ての経験のある人(保育士、先生、看護婦など)が学童保育に使ってない時間帯に育児サポーター	英会話教室 読書会（単行本の貸借） 介護問題の勉強

今後公民館で実施されればよいと思われる教室

20才代	30才代	40才代	50才代	60才以上
育児相談	空手教室	社交ダンス	植木庭園	少年剣道
着付教室2件	絵手紙教室	マージャン	寄せ植え	将棋教室
ガーデニング	料理教室	ステンシル等のアート手芸	人形	
書道	フラワーアレンジメント	手話教室	社交ダンス	
写真	パッチワーク	手芸	エアロビクス	
パソコン				

介護相談	ガーデニング		トールペインティング
コーヒーや紅茶の教室	幼児トランポリン		民謡
アロマセラピー・ハブ	幼児体操教室		
英会話			

現在の公民館の運営、施設、設備について

20才代	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ新しい設備を入れてほしい。 ・気軽に入れるオープンスペースがあればよい。 ・成人式をホテルで行ったらどうか。 ・一部の役員で何でもやっている。若い人にもっと参加してもらい後継者を早めに作る。 ・靴を収納する場所をもっと増やす。
30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場が狭い。 ・学校に置けるとか駐車場がもっとあればよい。(泉野小学校は誰でも車が置ける) ・一時的に赤ちゃんを預かる施設があればよい。 ・車椅子でも利用出来るように1Fにオープンな畳でないスペースがあったらよい。
40才代	<ul style="list-style-type: none"> ・集会等の時の駐車場の確保 ・各種団体が協力する行事が増えて来たことはよい。 ・毎年同じ人がボランティアになっておられ感謝します。 ・前向きな取り組みが良い。
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・休日にも各種教室があれば利用したい。 ・3階ホールへ行くのに高令者では、スリッパで階段を昇るのは困難でないか。 ・行事などなるべく1階で行ってほしい。
60才以上	<ul style="list-style-type: none"> ・無関心な人が多いので、公民館の目的、方針、活動の具体的な内容を小冊子にまとめて、各戸に配付したらよい。 ・簡単な舞台装置を設備してはどうか。 ・役員の固定化 ・階段がきつい。 ・調理室にもう少し大きめの温水器を取り付けて欲しい。 ・3階ホール横にトイレがあれば良い。

将来公民館活動でどのようなことをやりたいと思うか

20才代	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の企画運営 ・子供達とレクリエーション ・教室に参加したい。 ・人の役に立つという目標があれば生活にうるおいが出ると思うので、人の世話をしたい。
------	---

30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯活動 ・子供の手が離れ、年を重ねたら、ボランティア活動の拠点として利用させて頂きたい。 ・人の為に役に立てることがあれば、出来ることは何でも。 ・興味のある催しや教室に参加する。 ・子供を預かる。 ・簡単な工作教室 ・教室の指導 ・自分の趣味が活かされること。
40才代	<ul style="list-style-type: none"> ・和裁 ・編物 ・大会の企画運営 ・独居老人の訪問
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に関係のあること。 ・公園、寺、神社の清掃 ・食事の仕度 ・スポーツに関係のあること。 ・老人の外出のお手伝い ・自分も高められること2件
60才以上	<ul style="list-style-type: none"> ・催物の参加 ・さくら公園の清掃など ・自分の趣味を生かしたこと ・各種施設慰問 ・少年剣道の指導

公民館活動をやってみたいと思わない理由

20才代	<ul style="list-style-type: none"> ・ウィークデーは会社、ウィークエンドは遊ぶ。 ・知り合いがいない。 ・時間がない。2件
30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活が忙しいため 9件 ・公民館が一部のお年寄りのためのよう感じられ親しみがないため ・一部の人達が仕切っていて、開かれた所と思えないから
40才代	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活が忙しいため 10件 ・転勤族であるから 2件 ・少し身がまえてしまう。 ・考えたことがない。
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活が忙しいため 6件 ・日曜の行事が多いので ・自分の趣味を生かしたいから
60才以上	<ul style="list-style-type: none"> ・自信がない 3件 ・年令的に遅すぎる。 ・公民館から遠いのと家庭の事情から

生涯学習の場として公民館の役割が増大と思われる面

20才代	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場、憩いの場、交流の場として 7件 ・情報収集の場として 3件 ・高令者も外とのつながりが必要 2件 ・地域に密着して生きていかなければならない。 ・趣味が見つけれられる。 ・高令者の楽しみが少ないため
30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中にあり近いので井戸端会議のような場であり、生きがい（習い事など）を見つける場であれば、人も集まり良い刺激になると思う。それには広報活動や設備面での工夫が必要だと思う。 ・地域で高令者の趣味、生きがい、知的欲求を満たす場が必要。またその家族に対しても介護を助けるひとつの場としての役割を持ってほしい。 ・集いの場、憩いの場、交流の場として 10件 ・お年寄りがいろいろな事に興味を持ち参加できる場として 2件 ・行政が全面的に協力してくれるのは、無理かと思いますが、地域で（小さいところから）少しずつ行うことによってよくなっていくような気がする。 ・民間より安心感がある。 ・気軽に学びたいことを吸収できる場として
40才代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む60代、70代の元気なお年寄りの方々が、気軽に集える場として、時には助け合いながら楽しんでいただけるような開かれた公民館は必要だと思う。 ・集いの場、憩いの場、交流の場として 6件 ・情報の提供の場所となる。 ・地域に密着した活動をしているから ・地域にかえるから（退職すれば、そこしかないと思う） ・無料か低額で種々の講座が行われるので地域の高令者は参加しやすいと思う。
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場、憩いの場、交流の場として 8件 ・自己研鑽のため、自分学のため 2件 ・地域に密着して手軽に参加できる各種教室は費用がかからなくて習える。2件
60才以上	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場、憩いの場、交流の場として 8件 ・高令者の方は、家にこもりがちになりますので、生涯学習の場として、お友達づくりの場として公民館の活動が大切 ・高令者の頭、体力の活性化に役立つ。 ・地域の多くの人達の相談役、まとめ役として ・友達と誘い合わせて気軽に行ける。

生涯学習の場として公民館の役割が増大と思わない理由

30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間の制限からニーズの多様化に対し十分対応が出来ないと思う。もっと大きなコミュニティでの対応が妥当と思う。 ・「生涯学習」の場は、本来は小、中、高校などの施設を使ってすべきと思う。 ・教える人の減少
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・県政、市政における改善が進んでくると思うから ・時間帯が個々によって違うから

今後の公民館活動全般について改善、要望事項

20才代	<ul style="list-style-type: none"> ・高令者のイメージが強い。 ・子供の習いごと、おりがみ教室など ・役員だけでなく、たくさんの人の参加を ・みんなが親しめるように ・3才未満の子が遊べるものを
30才代	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動をしているかよくわからない。 ・高令化社会に向って行くのだから、デイサービスなどに施設を使うべき ・一步踏みこめばとけこみ易いが、そのきっかけを与えてほしい。
40才代	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館活動が活発である事は、とても良い事だと思いますが、役員(ボランティア)の方にあまり負担にならないよう配慮して頂きたいと思います。 ・いろんな所で呼びかけて、出席者を増やしたら良いと思う。 ・成人式は公民館の中でなく、別の場所で開催してもよいと思う。 ・地域に開かれた公民館を今後も続けていってほしい。 ・多くの方の協力で活動が成りたっている事は実際に利用してみないとわからないと思います。 ・公民館を利用することは今は無いが、もっと身近に感じる事が出来るとよいと思う。 ・公民館でしか出来ないことをやったらよいと思う。
50才代	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事に従事している人が多いと思われるので夜の教室を開いてほしい。 ・開館時間の延長をして欲しい。 ・現在の活動で充分だと思うので、ずっと続けて欲しい。 ・教室の時間帯(7～9時)の延長 ・他の地域にない特色のあるものを ・教室案内など、いろいろな情報を流して欲しい。
60才以上	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関前のタイルが滑りやすいので、雪の多い地方でもあるので、すべらないものを用いて欲しい。 ・限られた人たちだけの集まりのような感じがし、新しく参加するには敷居が高いと思う。 ・できるだけ広く、多くの人に利用してもらうようにする。 ・身近な問題から勉強したいと思う。 ・16mm 映写機による映画の上映 ・このアンケートも一方法であると思うが、よいアイデアは絶えず求め、魅力ある関心を持たれる公民館となるよう努め、実行すべきである。

弥 生 年 表

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭26	1. 14	石 県下の公民館が全国一の普及率となる	4. 11	日 マッカーサーが罷免され、後任にリッ ジウェイが着任
	9. 21	金 銭屋五兵衛100年忌法要	4. 24	日 日電桜木町事件で106人死亡
	10. 1	弥 弥生公民館弥生小学校に併設 公民館委員長 橋本 芳契氏	6. 21	日 日本がILOとユネスコに加盟
	11. 29	金 新金沢駅着工	9. 8	日 サンフランシスコで講和会議・日米安 保条約調印
			2. 1	世 国連総会が中国を侵略者と決議
			6. 23	世 ソ連が朝鮮停戦交渉提案
			7. 10	世 朝鮮休戦会議開く。
昭27	2. 10	石 金沢大学教育学部は、金沢城址へ移転		日 この頃、零細農家の離農が目だつ。米 屋が復活し、砂糖・麦・石油製品の統 制が解除された。
	2. 15	金 金沢市立泉中学校が教育学部の址へ移 転		世 [米] アイゼンハワー (共和党) が 大統領に当選。ジェット機、音速の2 倍に。
		金 暁烏文庫は5年2ヶ月ほど空屋になり、 地元民の無償払下げ運動		
	3. 7	石 南加賀で大地震		
	5. 10	金 金沢では最初の民間放送として、北陸 文化放送 (JOMR) が開局した。		
	石 朝鮮戦争のさなかで、在日米軍が小松 製作所に迫撃砲弾40万発 (20億円相 当) を発注し、その砲弾を内灘砂丘で 試射することになり、いわゆる内灘闘 争が開始された。			
	7. 1	石 豪雨県下を襲う。		
昭28	8. 24	金 犀川・浅野川が集中豪雨で氾濫	12. 25	日 奄美群島日本復帰
	9. 26	金 浅野川・金腐川で氾濫	3. 5	世 ソ連首相スターリン死亡
	6. 2	石 閣議が内灘試射場の無期限使用を決定	6. 2	世 エリザベス女王戴冠式
	9. 1	石 町村合併促進法公布	7. 27	世 板門店で休戦協定調印
		弥 初代館長に松本盛典氏就任	8. 8	世 ソ連、水爆保有を声明
昭29	3. 31	石 県下4番目の市として輪島市が成立	3. 26	日 教育二法が決まる。
	7. 1	金 石川郡の安原・額・内川・犀川・湯涌 谷の5村が金沢市に編入	6. 9	日 防衛庁設置法、自衛隊法が公布
		石 白山国定公園に指定	12. 7	日 吉田内閣総辞職
	8. 23	石 暁烏文庫の創始者で浄土真宗大谷派の 宗務総長を務めた暁烏敏 (77) が死亡	12. 10	日 鳩山内閣成立
	8. 27	石	3~5月	世 [米] ビキニで水爆実験
		石 台風15号大暴れ	6. 28	世 周・ネール平和5原則声明
	9. 26	石 町村合併、5町誕生	6. 30	世 [ソ] 原子力発電開始
	11. 3	石	7. 21	世 インドシナ休戦協定調印
			10. 12	世 中ソ対日国交正常化に関する共同宣言
		10. 23	世 西欧15か国パリ協定に調印	
昭30	2. 21	石 石川県知事に田谷充実が当選	3. 19	日 第二次鳩山内閣が成立
	2. 27	石 衆議院議員選挙で1区から辻政信・岡 良一、徳田与吉郎が、2区から益谷秀 次・大森玉木・南好雄が当選した。	日 この年大豊作下期より神武景気	
		石 益谷秀次が衆議院議長に選出された。	2. 9	世 [ソ] マレンコフにかわりブルガーニ ン首相
	3. 18	石 金沢美術工芸短期大学が4年制に昇格	4月	世 バンドンでアジア、アフリカ会議開く。
	4. 1	石 金沢市長選挙で土井登が当選	5. 14	世 ソ連と東欧7か国、ワルシャワ条約に 調印
	4. 30	金	8. 8	世 ジュネーブで原子力平和利用国際会議
	6. 1	弥 独立公民館として弥生公民館が暁烏文		

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭30	6. 29 11. 14	庫跡へ入る。 金 石川郡押野村が金沢市編入を可決 石 松金線が廃止	12. 13	世 国連16か国、日本と外蒙の加盟可決
昭31	1. 11	金 金沢の積雪は1mを突破し、測候所開設以来第8位の成績。陸上自衛隊金沢部隊338名が知事の要請で、市内の除雪作業に出動した。交通機関もマヒ状態である。	12. 18 12. 23	日 国連総会、日本の国連加盟案を可決 日 鳩山内閣にかわり石橋湛山内閣が成立 日 この年好況が続ぎ、高原景気といわれる。
	9. 30	石 町村合併促進法が失効するこの日、県下で11件の合併新市町（2市9町）が発足した。	10. 19 10. 29 11. 22	世 日ソ国交回復に関する共同宣言 世 スエズ戦争はじまる。 世 メルボルン・オリンピック開催
	11. 25 12. 4	石 社会党金沢県連が分裂 石 輪島高3年の山中毅がメルボルンオリンピックの400メートルで銀メダルを獲得した。	12. 8 12. 22 12. 26	世 [米] はじめて人工衛星ロケット実験 世 英・仏軍エジプトより撤兵 世 スエズ運河清掃作業開始
昭32	1. 31 2. 1	石 内灘試射場の使用停止通告 金 石川スポーツセンターで日教組教育研究全国集会	1. 12 1. 29 2. 25	日 日ソ11年ぶりに復交 日 南極観測隊の昭和基地設定 日 石橋首相辞任により岸内閣成立
	3. 28 3. 30 8. 27	石 県下は町村合併で6市28町6村に 金 金沢城三十間長屋が重文に指定 石 内灘試射場が米軍から返還（同日）、茨城県東海村でわが国最初の原子力の火ともる。	10. 1	日 日本が国連安全保障理事会の非常任理事国に当選 日 この年、神武景気の一方で外国為替収支は大幅赤字
	9. 1 12. 23	金 金沢測候所は金沢地方気象台に昇格 金 NHK 金沢放送局がテレビ放送を開始	5. 15 10. 4 12. 5 12. 21	世 [英] 第1回水爆実験 世 [ソ] 人工衛星打上げに成功 世 [ソ] 最初の原子力砕氷船進水 世 [ソ] NATO 提案の外相軍縮会議拒否
			12. 26	世 カイロで第2回A・A会議
昭33	1. 1 2. 19	石 加賀市が発足した。 石 米軍接收の小松飛行場が12年9か月ぶりに日本政府に返還された。	2. 28 11. 1	日 売春防止法の実施を4月1日にひかえ、赤線青線業者の転廃業がつづく 日 東京・神戸間特急こだま運転開始
	4. 28 7. 1 10. 22 10. 27 12. 1	石 石川県教組の勤務評定阻止闘争が激化 石 羽咋市が発足した。 石 天皇・皇后両陛下ご来県 石 大日川ダム起工 石 MRO テレビ開局	11. 27	日 皇太子明仁親王と正田美智子様の婚約決定 この年初のインスタントラーメン発売
			1. 31 2. 14 3. 27	世 [米] 初めて人工衛星成功 世 アラブ連邦成立 [ソ] ブルシチョフ首相に就任
			12. 13	世 [仏] ドゴール内閣成立、国連総会、大気圏外平和利用特別委を設置
昭34	3. 8 4. 6 9. 29	石 北鉄全線スト 金 金沢市政70周年記念式典 弥 泉中学校および弥生小学校全焼、弥生公民館も1部類焼。翌日から市内学校で分散授業	1. 10 4. 10 6. 3 9. 26 11. 2	日 NHK 教育テレビ開局 日 皇太子結婚式 日 益谷秀次が副総理に就任 日 伊勢湾台風、死者3,200人 日 水保で漁民1,500名新日室工場に乱入 前年からこの年にかけて岩戸景気
	10. 12 12. 5	石 石川県立美術館開館 石 北鉄の泥沼闘争	1. 2	世 [ソ] 宇宙ロケット発射

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭34			9. 14 10. 26	世 [ソ] 初めてロケットの月面到達成功 [ソ] 宇宙ステーションによる月の裏側の写真発表 [米・ソ] 宇宙ロケット、人工衛星打上げさかん
昭35	4. 17 4. 19 6. 3 11. 1	石 能登線 鶴川一字出津間開通 石 小松基地起工式がおこなわれた。 石 安保闘争が県下各地で実力行使 弥 市民体育大会不参加 弥 社会体育大会中止 弥 敬老会を大乗寺で実施 石 北陸中日新聞創刊 石 県営我谷ダム建設に関し、県と地元山中町我谷の間で補償問題がまとまった。	1. 19 7. 19 8. 25 9. 10 10. 12	日 岸首相ら日米新安保条約・行政協定に調印 日 池田勇人を首相に指名 日 ローマ、オリンピック大会で金メダル4つを獲得 日 カラーテレビ本放送開始 日 浅沼社会党委員長、右翼青年に刺殺される。
昭36	1. 2 3. 31 6. 1 6. 11 7. 13 10. 1 10. 15 12. 10	石 大雪で北陸線が大混乱 金 金沢市の人口が30万人を突破し、男14万4169人、女15万5917人、計30万86人で全国22番である。 石 中西陽一副知事(元県総務部長)が着任 石 航空自衛隊小松基地開庁式があり、ジェット機67機が配備された。 金 金沢地方に集中豪雨があり、犀川の新橋が流失し、浅野川堤防が決壊した。 石 北陸線に特急が登場 石 県児童文化運動、50周年 石 高校増設要求県民大会が野田中学校で開かれた。	7. 18 10. 2 1. 4 4. 12 5. 16 8. 6 10. 30	日 第二次池田内閣成立 日 大鵬、柏戸ともに横綱に昇進 この年、イタイタイ病のカドミウム原因説が発表され、四日市ぜんそく多発。下半期に株価下落 世 [米・キューバ] 国交断絶 世 [ソ] 初の人間衛星うちあげに成功 世 [韓] クーデターにより、軍部政権確立 世 [ソ] 第2号人間衛星地球を17周 世 [ソ] 超大型核実験を強行
昭37	1. 1 4. 24 5. 31 6. 10 7. 24 10. 12	石 内灘町が発足した。 金 ライシャワー大使夫妻が来県した。 石 銅の値下がり、金融引締めにより貿易自由化を控えていることから、日鉱本社は尾小屋鉱業所など8か所を全面休業にすることを労組に通告。 石 北陸トンネル開通 金 金沢市横安江町の真宗大谷派金沢東別院の本堂と庫裏の渡り廊下を全焼 石 白山国立公園に決定	3. 31 4月 8. 30 10. 1 7. 3 7. 10 8. 11~15 10月 11. 1	日 義務教育の教科書が無償となる。 日 各産業に不況拡大 日 日本航空のYS-11機初飛行に成功 日 貿易自由化が88%実施 世 [アルジェリア] 住民投票の結果、右翼・軍部をおさえて独立決定 世 [米] 通信衛星のうちあげに成功 世 [ソ] 人間衛星2個のグループ飛行に成功 世 [キューバ] 米国の海上封鎖に対し、ソ連が核兵器撤回に同意したため、一応核戦争の危機去る。 世 [ソ] 火星にロケットうちあげ
昭38	1月 2. 10 7. 1	石 38豪雪 小中学校138校臨時休校 北陸線大混乱 石 知事選では中西陽一氏が、金沢市長選では徳田与吉郎氏が快勝した。 石 小松一東京直航便1日1往復運行	6. 5 7. 11 7. 12 10月 11. 9	日 黒四ダム完成 日 老人福祉法公布 日 生存者叙勲復活決定 日 この頃、新潟水俣病発症 日 三井炭鉱爆発事故で死者458人

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭38	8. 9 12. 29	石 小松基地にF104配属 金 新金沢港を重要港湾に決定、39年度から12年計画で建設の計画	11. 23	日 初の日米間テレビ宇宙中継
			4. 10	世 〔米〕原潜スレッシャー号沈没
			6. 16	世 〔ソ〕史上初女性宇宙飛行・アベック飛行に成功
			9. 16	世 新国家マレーシア誕生
			11. 20	世 〔国連〕総会で「人種差別撤廃宣言」を採択
			11. 23	世 〔米〕通信衛星の日米間のテレビ中継でケネディ大統領の暗殺が伝えられる。
昭39	7. 8 10. 1 12. 19	弥 公民館に校下各団体事務所が併設 石 二度の豪雨県下を襲う。 石 北陸線金沢一富山間(62.5キロ)が電化された。 石 金沢工業大学の設置が承認され、野々市町に開校が決まった。40年2月開校	6. 16	日 新潟地震
			10. 1	日 東海道新幹線開業
			10. 10~24	日 東京オリンピック開会、94か国・選手役員5500余人
			11. 8~14	日 パラリンピック、22か国参加
			11. 9	日 佐藤新内閣成立
			1. 25	世 〔米・ソ〕協力して実験衛星打上げ
			1. 27	世 〔仏・中〕外交関係を樹立
10. 12	世 〔ソ〕3人乗り宇宙航空機打上げ			
10. 16	世 〔中〕初の核爆発実験成功			
昭40	1. 1 4. 11 10. 18 11. 26 12. 11	石 「イヌワシ」県鳥に指定 石 三八豪雪でつぶれた石川スポーツセンター跡に建設していた県体育館が完成した。 石 北陸自動車道が建設されることになった。 金 北鉄の市電が全面撤去されることになった。 金 37年から56億円の工費をかけた犀川ダムが完成。満水式が行われた。	6. 12	日 阿賀野川流域で第2水俣病発生
			10. 21	日 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞
			12. 10	日 日本、国連安保理の非常任理事国に当選
			1. 8	世 韓国、南ベトナムへ派兵を決定
			2. 7	世 米軍、北ベトナム爆撃を開始
			3. 18	世 ソ連宇宙飛行士、初の宇宙遊泳
5. 3	世 カンボジア、対米国交断絶			
8. 9	世 シンガポール、マレーシア連邦より分離独立			
昭41	5. 23 9. 5 10. 27 12. 17	金 犀川ダム・上寺津発電所・上寺津ダムの犀川総合開発事業の完成式が挙行された。 石 県木は「あて」に決定 石 金沢港起工式 石 金沢経済大学の設立が承認された。	2. 4	日 全日空機、東京湾に墜落、死者133名
			3. 31	日 日本の人口、1億人突破
			6. 25	日 敬老・体育の日制定、建国記念日反対の運動が激化。この年、丙午で出生率減少
			6. 29	世 米軍機がハノイ・ハイフォン郊外を爆撃
			7. 1	世 〔仏〕NATO統一軍を脱退
			8月	世 中国文化大革命で紅衛兵実力行使激化
			10. 24	世 中国、ミサイル核兵器実験
昭42	1. 23 2. 2 7. 26	金 金沢在住五木寛之の『蒼ざめた馬を見よ』が第56回直木賞を受賞 金 金沢の市内電車全面廃止 金 金沢刑務所が若松・田上両町へ移転、その跡に金沢美大が移る予定 芦中町交番前に横断陸橋が竣工	2. 11	日 初の建国記念の日
			4. 13	日 国産人工衛星第1号打上げ失敗
			7. 28	日 ラジオ受信料廃止決定
			9. 28	日 上越線新清水トンネル開通
			10. 20	日 吉田茂没
10. 31	日 戦後初の国葬			

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭42	10. 14	金 金沢市問屋センターが駅西4町にまたがって完成した。	5. 17	世 中国、初の水爆実験
	10. 18	石 大日川ダム (鳥越村阿手) が完成	7. 1 8. 8	世 ヨーロッパ共同体 (EC) 成立 世 東南アジア諸国連合 (ASEAN) 発足
昭43	11. 15	金 金沢市内にワンマンバス登場	4. 28	日 第16回沖縄返還デー、那覇で戦後最大の集会
	11. 23	石 石川県立郷土資料館がオープン	5. 8	日 厚生省、イタイイタイ病は三井金属神岡鉱業所による公害と正式発表
			6. 17	日 大河内東大総長、機動隊を学内に導入
			6. 26	日 小笠原諸島、日本に正式復帰
			7. 1	日 郵便番号制度実施
			10. 17	日 川端康成、ノーベル文学賞受賞
			10. 21	日 反日系学生ら国会・防衛庁に侵入、新宿駅に放火、翌日、騒乱罪適用
			10. 23	日 明治100年記念式典
			12. 10	日 府中市で3億円強奪事件発生
			3. 31	世 [米] ジョンソン大統領、北爆の一方的停止と大統領選不出馬発表
			4. 4	世 [米] 黒人運動指導者キング師暗殺、各地で黒人異動
			5. 10	世 [米・北ベトナム] パリで和平会談開始
			6. 5	世 大統領候補R・ケネディ暗殺
			8. 20	世 ソ連・東欧軍、チェコへ抜き打ち侵入
昭44	2. 8	弥 航空自衛隊ジェット機が泉2丁目に墜落、4人死亡、重軽傷18人 14戸全焼全壊、10戸半焼半壊、被災者114人、ガラス破損70戸。	1. 18	日 機動隊、東大安田講堂の封鎖排除
			1. 20	日 坂田文相、東大入試中止を大学に強要
	4. 1	石 新テレビ波UHF使用の石川テレビが本放送開始	11. 21	日 日米同声明で安保堅持、米極東軍事体制への協力、沖縄返還表明
	4. 1	金 金沢市、市制80周年記念式	12. 15	日 牛乳からBHC検出
	10. 1	石 北陸本線の全線複線電化完成	1. 20	世 [米] ニクソン大統領就任
	10. 20	石 泉2丁目在住の元衆議院議員江川為信氏が他界	6. 22	世 世界人口、34億2,000万人
			7. 20	世 [米] アポロ11号月面着陸
昭45	4. 20	金 金沢市中央公民館落成	7. 3	世 [北ベトナム] ホー・チ・ミン大統領死去
	10. 1	金 第11回国勢調査で金沢市の人口36万1,379万人、県人口は100万人を突破	3. 14	日 日本万国博開幕
			3. 31	日 日航機よど号ハイジャック事件
	11. 1	金 金沢港開港式	5. 11	日 日本山岳会の松浦輝夫・植村直己、エベレスト登頂
			11. 25	日 三島由紀夫がクーデターを扇動し割腹自殺
			11. 29	日 国会開設80周年式典
			4月	世 [カンボジア] ベトナム系避難民を大量虐殺
			5. 31	世 [ペルー] 大地震で死者・行方不明7万人
			9月・11月	世 [ソ] ルナ16号・17号打上げ、月面無人探測
			11月・12月	世 [東パキスタン] 大暴風と高波で死者

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭45			11. 20	16万8,000人 世 〔国連〕中国招請・国府追放を決議
昭46	6. 11 10. 4	石 金沢美術工芸大学の移転校舎起工式 金 金沢市とベルギーセント市が姉妹都市提携に調印 金 国鉄金沢貨物基地が金沢市高柳町にオープン	6. 30	日 富山地裁、イタイイタイ病訴訟で原告勝訴の判決
			7. 31	日 東亜国内航空のYS11機、函館北方の山腹に激突
			9. 27	日 天皇・皇后初の渡欧
			10. 21	日 志賀直哉没
			8. 9	世 インド・ソ連平和友好条約
			12. 3	世 インド・パキスタン全面戦争開始
昭47	6. 9 10. 18	石 県産業展示館開館 石 北陸自動車道金沢西I・C小松I・C間開通 弥 弥生公民館に補強および修繕代が支給され、工事が行われた。	2.3~3.13	日 第11回冬季オリンピック札幌大会
			2.19~28	日 連合赤軍の5人が人質を擁して浅間山荘に籠城
			3. 15	日 山陽新幹線開業
			3. 26	日 高松塚古墳壁画発見
			5. 15	日 沖縄県発足
			7. 7	日 田中角栄内閣成立
			9. 29	日 日中共同声明・国交正常化
			12. 22	日 第二次田中内閣成立
			1. 12	世 バングラデシュ独立
			2. 21	世 ニクソン米大統領訪中
			5. 22	世 ニクソン米大統領訪ソ
			5.8.5.30	世 テルアビブ空港で日本人ゲリラ乱射
			8.26~9.11	世 ミュンヘン五輪大会、アラブゲリラ選手村に侵入
11月	世 〔タイ〕日本商品ボイコット旬間			
12.7~12.19	世 〔米〕アポロ17号打上げ			
昭48	3. 10	弥 『館報弥生』が創刊		な し
昭49	3. 1 3. 1 6. 10 6. 30 10. 11 12. 5	金 金沢戸室新保ゴミ埋立場使用開始 弥 この年、石田館長が県内唯一の読書サークルを組織。公民館改築に生涯教育の構想を取り入れるなど住民の文化向上に尽くしたとして、市社会教育大会で表彰された。 弥 この年、公民館の補強工事に着手 石 県営内川ダム完工 石 県立野球場開場式 金 浅野川一犀川導水路完成 石 能登海浜道路全通	6. 26	日 国土庁設置
			9. 1	日 日本の人口、1億1,000万人突破
			10. 8	日 佐藤栄作前首相にノーベル平和賞決定
			10. 29	日 北陸自動車道、金沢東I・C・砺波I・C間開通
			11. 18	日 フォード米大統領来日
			11. 26	日 田中角栄首相、金脈問題で辞任
			12. 9	日 三木武夫内閣成立
			6. 19	世 中国核実験を正式発表
			8. 9	世 ニクソン大統領、ウォーターゲート事件で辞任、フォード副大統領昇格
			8. 15	世 〔韓〕朴大統領そ撃され、夫人死亡
昭50	2. 1 2. 10 4. 1 6. 13	石 中西陽一氏、知事選で当選 弥 公民館の改装に着工 石 北陸大学開学 金 江川昇氏、金沢市助役に選任—4期目	2. 7	日 物価3年ぶり下落
			3. 10	日 山陽新幹線博多まで延長開業
			9. 30	日 天皇・皇后訪米
			10. 1	日 国勢調査、農家500万戸を割る。
			4. 5	世 蔣介石死亡

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭50			4. 30 11. 15	世 南ベトナムのサイゴン陥落、ヴェトナム戦争終る。 日 ソ連、金星の号軌着陸成功
昭51	10. 3 12. 10	弥 石田伊一郎館長退任 弥 社会体育大会復活 弥 初代館長 松本盛典氏死去	1. 31 5. 3 10. 21 11. 2 11. 10 12. 23	日 初の5つ子誕生 日 24年ぶり政府主催の憲法記念式典 日 自民党、三木総裁退陣要求 日 法務省、田中角栄らロッキード灰色高官名を公表 日 天皇在位50年式典開催 日 34回総選挙で自民党総裁に福田赳夫を選出
			1. 8 4. 5 7. 2 7. 21 11. 2	世 周恩来死亡 世 天安門事件 世 ベトナム社会主義共和国成立 世 第21回オリンピック開催 世 米大統領にカーター当選
昭52	1. 2 1. 28 8. 8. 25 12. 4	石 県下各地は三・八以来の豪雪 弥 県下で初のミニバレーボールの練習開始 弥 挨拶と躰の運動提唱 弥 公民館建物の改装(1階大広間の改装水洗便所の設置)、公民館の標柱を新設 石 白山スーパー林道開通 石 一里野スキー場オープン	3. 23 4. 29 7. 1 7. 23 9. 28 12. 25 1. 20 5. 7 7. 13 8. 4	日 鬼頭判事の罷免判決 日 全日本柔道選手権で19歳の山下泰裕初優勝 日 領海12カイリ、漁業専管水域200カイリ実施 日 文部省、「君が代」を国歌と規定 日 日航機ハイジャック事件 世 チャップリン死去 世 カーター大統領就任 世 先進国首脳会議 世 米上院、中性子爆弾製造承認 世 ASEAN 首脳会議
昭53	3. 13 8. 2 9. 19 10. 12 11. 3~5 11. 9 12. 1	石 石川県地方は戦後最高の3月大雪 金 金沢で38度記録 石 能登原子力センター起工 石 金沢東一西IC間が開通 弥 初の公民館文化祭開催 22名を館長から表彰 石 県人口が110万人突破 金 岡良一市長の病气辞任に伴う市長選挙で江川昇氏の当選が決定	3. 9 4. 27 5. 1 5. 20 7. 5 12. 7 5. 23	日 長谷川恒男、初のアイガー北壁単独登頂 日 犬ぞり遠征隊、日本人初の北極点到達 日 犬ぞり単独行で植村直己、北極点到達 日 成田の新東京国際空港開港式 日 農林水産省発足 日 福田首相辞任し、国会は大平正芳氏を首班指名 世 初の国連軍縮特別総会開催
昭54	2. 4 5. 18 5. 30 7. 1 8. 16	弥 国際児童年行事実施 石 中西知事が5選決定 金 金沢大学の新しいキャンパス候補地は角間地区が有力 石 手取川ダム・水没地区のお別れ会 弥 「いちょう」と「権」の木を植樹 石 全国高校野球選手権九日目、星稜高校は箕島高校と18回、3対4でサヨナラ負けした。	6. 12 10. 28 11. 9 1. 1 1. 11 3. 26 5. 3 6. 18	日 元号法公布施行 日 木曾御岳山、有史以来の初噴火 日 衆参両院で大平正芳首相指名 世 米中国交回復 世 カンボジア人民共和国樹立 世 エジプト・イスラエル平和条約調印 世 [英] 総選挙で保守党圧勝、サッチャー内閣成立 世 米ソ首脳会談

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭54			10. 26 12. 27	世 朴正熙韓国大統領暗殺される。 世 アフガニスタンでクーデター (ソ連軍大部隊介入)
昭55	5. 14 5. 30 9. 13 12. 24	弥 老人会セミナー 金 金沢駅周辺高架化事業起工 弥 敬老会を開催 石 東北・北陸地方に記録的大雪	6. 12 7. 17 1. 10 5. 5 7. 9 10. 23 11. 4	日 大平首相、心筋硬塞で急死 日 72特別国会で鈴木善幸を首班指名 この年、自動車生産台数1000万台突破の過去最高で米を抜き世界1位へ 世 アフガニスタン問題で国連緊急特別総会 世 ユーゴのチトー大統領没 世 モスクワオリンピック開催 (148) 世 コスイギン首相辞任 世 米大統領にレーガン当選
昭56	1. 31 3. 20 3. 27 5. 31	石 五・六豪雪 石 金沢大学は角間地区移転が決定 弥 弥生校下青年団結成 弥 少連スポーツの祭典	2. 23 2. 27 5. 8 9. 8 10. 19 1. 23 3. 23 5. 21 6. 7 10. 6 12. 4	日 ローマ法王パウロ二世来日 日 富士山頂-38℃史上最低 日 鈴木首相、レーガン大統領と「日米は同盟関係」と発言 日 湯川秀樹死亡 日 福井謙一郎京大教授にノーベル化学賞 世 金大中ら減刑 世 EC首脳、対日貿易摩擦討議 世 〔仏〕ミッテラン大統領就任 世 イスラエル空軍、イラクの原子炉爆撃 世 エジプト、サダト大統領暗殺される。 世 イスラエル、ゴラン高原を併合
昭57	4. 3 11. 21 11. 21 5. 30 8. 8	石 能登島有料道路開通 金 金沢市文化ホール開館記念式典 金 金沢市長に江川昇氏が当選 弥 寄贈品即売会 弥 校下少年対抗ソフトボール大会	4. 1 4. 25 6. 23 11. 15 11. 27 7. 26	日 500円硬貨発行 日 桂離宮、初の全面解体修理落成式 日 東北新幹線大宮・盛岡間開業 日 上越新幹線大宮・新潟間開業 日 中曽根康弘内閣成立 世 中国政府、歴史教科書の記述が日中共同声明の精神に違反と抗議
昭58	2. 6 4. 9 4. 10 4. 24 5. 20 11. 12 12. 27	石 知事選挙、中西陽一氏が6選 金 金沢市庁舎建設事業終了 石 県議会議員選挙 金 市議会議員選挙 石 第34回全国植樹祭、津幡森林公園で開催、天皇ご来県 弥 この頃、新公民館建設への動き 石 新県立美術館開館 石 石川県から中曽根内閣に森喜朗(文相)、奥田敬和(郵政)、坂本三十次(労相)、稲村左近四郎(国土)の5氏が入閣	2. 4 9. 1 9. 15 10. 12 10. 14 12. 27 1. 31 2. 1 3. 27 6. 1	日 日本初の实用静止通信衛星「さくら2号1」打上げ 日 ソ連の大韓航空機撃墜事件 日 国立能楽堂完成 日 ロッキード事件丸紅ルート判決公判 日 日本初の体外受精児誕生 日 第2次中曽根内閣発足、この年、戦後最長の不況 世 〔米〕人工衛星第1号打上げ成功 世 エジプト・シリア合邦宣言 世 〔ソ〕フルシチョフ第一書記、首相に就任 世 〔仏〕ドゴール首相就任

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭59	1. 10	石 石川県立歴史博物館の地鎮祭	2. 12	日 植村直己、北米マッキンリー峰へ世界初の冬季単独登頂に成功、下山途中遭難
	5. 27	弥 弥生少年スポーツ団結成	3. 18	日 江崎グリコ社長拉致事件
	9. 30	弥 寺西館長辞任	4. 1	日 初の第3セクター、三陸鉄道開通
	10. 1	弥 松下館長就任	7. 1	日 総務庁発足
	10. 19	石 元北國新聞社長宮下与吉氏が、88歳で他界した。	7. 28	日 第24回オリンピック・ロサンゼルス大会開催
	10. 29	石 金大新キャンパス起工式	1. 1	世 ブルネイ独立
	10. 29	石 金大総合移転整備事業起工式	1. 19	世 国連、アフリカ25か国の1億5,000万人が飢餓状況にあると発表
	12. 26	石 新内川発電所完工	4. 16	世 ユニセフ、アフリカ飢餓を救うため緊急援助
			4. 26	世 レーガン米大統領、中国訪問
			10. 31	世 [印] インディラ・ガンジー首相暗殺
		11. 6	世 レーガン米大統領再選	
		12. 19	世 中国と英、香港返還合意文書に調印	
昭60	3. 30	金 兼六園、国の特別名勝に指定	2. 11	日 「建国記念日を祝う会」に初めて中曽根首相出席
	5. 24	石 国営河北潟干拓事業が完工式	3. 17	日 科学万博一つくば25開幕
	8. 1	石 全国高校総体、本県で開幕	4. 1	日 日本電信電話(株)日本たばこ産業(株)発足
	10. 1	金 第14回国勢調査実施、人口1億2,104万8,923人、金沢の人口43万81人	5. 17	日 男女雇用機会均等法成立
			6. 14	日 半島振興法公布
			8. 12	日 日本航空ジャンボ機墜落事故
			8. 24	日 ユニバシアード神戸大会開幕
			10. 2	日 関越自動車道全通
			3. 10	世 チェルネンコソ連共産党書記長没(後任ゴルバチョフ)
			4. 26	世 ワルシャワ条約機構、条約の20年延長決定
		5. 2	世 第11回先進国首脳会議(ボン)	
		9. 19	世 メキシコ大地震	
昭61	2. 28	金 金沢にどか雪、総降雪量668cmを記録	5.4~5.6	日 第12回先進国首脳会議を東京で開催
	9. 19	金 香林坊第2地区再開発事業竣工式	11. 21	日 伊豆大島、三原山噴火
	10. 24	石 石川県立歴史博物館が開館	1. 1	世 スペイン・ポルトガル EC に加盟
	10. 16	金 市長選挙、江川昇氏が当選	2. 14	世 フィリピン大統領選にマルコスが当選
	4. 19	弥 弥生会館完成 移転	2. 26	世 [フィリピン] アキノ大統領組閣
		弥 この年から館報が『館報やよい』と題字をかえた。	4. 2	世 マルコス不正選挙で国外脱出
			4. 28	世 [ソ] チェルノブイリ原発で大規模な事故発生
		10. 11	世 レーガン・ゴルバチョフ会談	
昭62	2. 8	石 知事選挙で中西陽一氏当選(7選)	1. 22	日 進歩党結成
	4. 1	石 金沢女子大学開学	1. 24	日 政府、防衛費対GNP1%枠を撤廃
	4. 12	石 県議会議員選挙	4. 1	日 国鉄分割民営化、JR6社発足
	4. 26	金 市議会議員選挙	6. 11	日 奈良県桜井市で聖徳太子の上宮の遺構発掘
	9. 12	弥 73歳以上の老人を招いて校下敬老会	7. 4	日 NHK、24時間の衛星放送開始

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭62			9. 22 10. 12 10. 20 10. 20 10. 28 11. 6 11. 18 1. 1 1. 1 6. 8 7. 20 10. 19 11. 29	日 昭和天皇、入院手術 日 利根川進、ノーベル医学生理学賞受賞 日 中曽根首相、自民党後継総裁に竹下登を指名 日 東京株式市場の株価、過去最大の暴落 日 米価審議会、13年ぶり消費者米価引下げ 日 竹下登内閣成立 日 日本航空完全民営化 世 天安門事件で学生数百人がデモ 世 [中] 趙紫陽首相選任 世 第13回先進国首脳会議 世 国連安保理、イラン、イラク戦争の即時停戦をよびかける決議採択 世 ニューヨーク株式市場の株価大暴落(暗黒の月曜日) 世 大韓航空機、ビルマ上空で消息不明
昭63	3. 25 7. 20 9. 22 11. 21 12. 1	石 のと鉄道開業 石 北陸自動車道全線開通 石 食と緑の博覧会いしかわ88開催 金 オーケストラアンサンブル金沢の設立 記念公演 石 志賀原子力発電所着工 弥 公民館章制定	3. 13 4. 10 6. 14 6. 18 9.17~10.2 12. 30 5. 29 6. 19 8. 20 9. 29 10. 4 11. 8 11. 15 12. 7	日 青函トンネル開通 日 瀬戸大橋開通 日 田部井淳子、マッキンリーに登頂、日本女性初の五大陸最高峰征服 日 リクルート疑惑発覚 日 第24回オリンピック・ソウル大会開催 日 消費税導入を柱とした税制改革関連六法公布(89・4・1施行) 世 レーガン・ゴルバチョフ、モスクワで会談 世 第14回先進国首脳会議 世 イラン・イラク戦争停戦 世 [米] スペース・シャトル打上げ成功 世 ベトナムの二重体児、分離手術 世 [米] 大統領選で共和党ブッシュ当選 世 パレスチナ、独立国家の樹立を宣言 世 [ソ] アルメニア共和国で地震(死者5万人以上、震度 M7.0)
昭64 ・ 平元	2. 24 4. 1 4. 8. 2	弥 『校下のあゆみ』刊行・出版記念祝賀会 金 金沢市制100周年記念式典 弥 早起き歩こう会実施 石 北陸新幹線起工式	1. 7 1. 7 1. 8 1. 14 2. 17 2. 22 2. 24 4. 1 4. 29 11. 21 12. 23 1. 20 2. 15	日 昭和天皇崩御、87歳 日 皇太子明仁親王即位 日 「平成」と改元、施行 日 国の行政機関、第2・第4土曜閉庁 日 国民の祝日法改正公布 日 佐賀県吉野ヶ里集落遺跡を発見 日 昭和天皇大喪の礼 日 消費税実施 日 みどりの日 日 総評組織を解散し連合と全労連結成 日 天皇誕生日 世 [米] ブッシュ大統領就任 世 アフガニスタン駐留ソ連軍撤退完了

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
昭64 ・ 平元			6.3~4 6. 24 7. 14 9. 21 11. 10 12. 2	世 [中] 北京戒厳部隊、市民に発砲 (天安門事件) 世 [中] 趙紫陽総書記失脚、後任に江沢民 世 第15回先進国首脳会議 世 カンボジアのベトナム軍最終撤兵 世 ベルリンの壁の一部取り壊し 世 ブッシュ・ゴルバチョフの米ソ両首脳会議 —この年、東欧社会主義諸国の自由化・民主化進む
平2	4. 1 6. 5 10. 1 11. 18 11. 29	金 財団法人金沢福祉サービス公社発足 金 JR 金沢駅高架化完成 金 国勢調査実施、金沢市の人口44万2,872人、15万4,269世帯、日本の人口1億2,361万人 金 市長選挙、山出保氏が当選 金 議会開会100年記念式典	3. 23 4. 1 10. 22 11. 12 12. 2 3. 21 5. 20 6. 1 8. 2 9. 2 9. 30 10. 3	日 地価高騰が全国に波及 日 大阪花と緑の博覧会開催 日 オウム真理教の一斉捜査 日 即位の礼 日 日本人初の宇宙飛行士秋山豊寛、ソ連のソユーズで宇宙へ 世 アフリカ民族会議指導者ネルソン、マンデラ釈放、ナミビア、南アフリカから独立 世 [台] 李登輝総統、中国との敵対関係終息を宣言 世 ブッシュ・ゴルバチョフ首脳会談で戦略核削減を合意 世 東西両ドイツが経済、通貨統一 世 第16回先進国首脳会議開催 世 イラク、クウェート侵攻 世 子供の権利条約発効 世 韓国とソ連が国交樹立 世 ドイツ統一、首都ベルリン
平3	2. 3 4. 7 4. 22 9. 1 9. 28 10. 12 10. 23	石 知事選で中西陽一氏当選 (8選) 石 県議会議員選挙 金 市議会議員選挙 石 JR 七尾線津幡・和倉間電化開業 石 台風19号が県内直撃、各地の被害甚大 石 第46回石川国体秋季大会開会式、天皇・皇后御臨席 (県陸上競技場) 石 金沢地方気象台、駅西合同庁舎へ移転	1. 19 1. 24 2. 9 4. 1 5. 20 11. 5 1. 17 2. 24 2. 29 7. 1 7. 1 7. 10	日 田部井淳子、南極ビンソンマシフ登頂 女性初の6大陸最高峰登頂 日 難民輸送のため自衛隊派遣と90億ドルの資金援助決定 日 関西電力美浜原発2号機の1次冷却水漏れで原子炉自動停止 日 牛肉・オレンジ輸入自由化 日 雲仙普賢岳火口に熔岩ドーム 日 海部内閣にかわり宮沢喜一内閣発足 —この年、バブル経済が破綻 世 アメリカなど多国籍軍がイラク・クウェート領に空爆開始、湾岸戦争に突入 世 多国籍軍、一斉にイラク・クウェートに侵攻 世 湾岸戦争終結 世 ワルシャワ条約機構完全解体 世 欧州自由貿易連合 (EFTA) 解体 世 [ソ] ロシア共和国で初の大統領選挙、

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平 3			12. 26	世 エリツインが就任 ソ連の11共和国は「独立国家共同体」 創設で合意、ソ連邦解体
平 4	8. 27 10. 24	石 北陸新幹線金沢—石動間建設工事と金 沢駅起工式 石 第7回国民文化祭・石川92開幕 弥 少年消防クラブ結成 弥 みどり学級開設	1. 7 5. 1 6. 15 7. 1 7. 27 8. 17 7. 6 7. 25 8. 24	日 ブッシュ米大統領来日 日 国家公務員完全週休2日制実施 日 国連平和維持活動 (PKO) 協力法案 可決成立 日 東京・山形間ミニ新幹線開業 日 バルセロナオリンピックの水泳200メ ートル平泳ぎで岩崎恭子、日本初の金 メダル 日 自衛隊カンボジア PKO 派遣第一陣出 発 世 第18回主要先進国首脳会議開催 世 バルセロナ第25回オリンピック開催 世 中国と韓国、国交樹立
平 5	2. 7	石 能登半島沖地震発生 弥 生涯学習まちづくり推進運動の展開	1. 15 6. 2 6. 9 7. 12 8. 6 8. 9 10. 11 11. 18 92.1.29 1. 1 1. 15 1. 20 2. 25 3. 27 9. 13 12. 15	日 釧路沖地震発生 日 改正労基法成立、94. 4. 1から労働 時間週40時間に 日 皇太子と雅子様結婚の儀 日 北海道南西沖地震発生 日 土井たか子衆院議長に就任 日 細川内閣発足 日 ロシアのエリツイン大統領来日 日 小選挙区比例代表並立制を柱とする政 治改革、衆院で可決 日 同改革を参院でも可決 —この年、GNPはマイナス成長 世 EC12カ国、市場統合 世 化学兵器禁止条約に130ヶ国が調印 世 [米] 第42代大統領にクリントン就任 世 韓国第14代大統領に金泳三就任 世 中国新国家主席に江沢民共産党総書記 を選出 世 イスラエルとパレスチナ暫定自治宣言 に調印 世 世界貿易機関 (WTO) 発足
平 6	2. 2 3. 27	石 県知事中西陽一氏が死去 石 県知事選挙、谷本正憲氏が当選	4. 26 4. 28 6. 27 6. 30 7. 9 9. 4 10. 2	日 名古屋空港で中華航空機事故、264人 死亡 日 羽田孜内閣発足 日 東京外国為替市場の円相場1ドル＝ 100円を突破 日 村山富市内閣発足 日 向井千秋、米スペースシャトルで日本 人女性初の宇宙飛行 日 関西国際空港開港 日 第12回アジア競技大陸が広島で開催

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平6			10. 13 2. 15 5. 9 7. 8	日 大江健三郎、ノーベル文学賞決定 世 北朝鮮、国際原子力機関の核関連施設の査察受入れ合意 世 [南ア] ネルソン・マンデラ大統領に就任 世 朝鮮民主主義人民共和国の金日成主席死去
平7	2. 16 5. 14	石 金沢大学は城内から角間への総合移転終了 弥 新館竣工10周年記念式典挙行。『弥生の明日のために』発刊	1. 17 3. 20 5. 16 6. 5 9. 4 10. 1 12. 6 1. 1 7. 11 9. 4 10. 22	日 阪神・淡路大震災、神戸市を中心に兵庫県内で建物の倒壊・火災続出、死者6,300人以上 日 東京地下鉄で猛毒「サリン」により乗客・駅員12名死亡、被害5,500名 日 警視庁地下鉄サリン事件でオウム真理教の麻原彰晃を逮捕 日 介護休業法成立 (99. 4. 1 施行) 日 沖縄で米兵による少女暴行事件発生—暴行抗議・基地反対県総決起大会 日 第16回国勢調査 (人口1億2,557万246人) 日 ユネスコは「白川郷・五箇山の合掌造り集落」を世界遺産に登録 世 世界貿易機関 (WTO) 発足 世 アメリカ、ベトナムと国交正常化 世 [仏] ムルロア環礁で地下核実験 世 国連創設50周年
平8	4. 1 7. 14 11. 24	金 金沢市中核都市に移行 石 珠州市やり直し市長選挙 金 さくら公園開園式	1. 11 1. 11 1. 30 1. 31 3. 27 3. 29 5. 31 6. 1 8. 6 9. 11 12. 5 6. 8 8. 20 9. 10	日 若田光一塔乗のエンデバー打上げ 日 橋本龍太郎内閣発足 日 文相いじめ防止緊急アピール 日 グラン高原 PKO 参加の自衛隊出発 日 ライ予防法廃止法成立 日 薬害エイズ、和解成立 日 国際サッカー連盟、W杯日韓共催決定 日 新食糧法でコメの販売自由化 日 厚生省、病原性大腸菌 O157などによる感染症を伝染病に指定 日 最高裁、一票の格差6.59倍に違憲判決 日 原爆ドームが世界遺産に 世 [中] 地下核実験実施を発表 世 [米] 広島・長崎両市、初の海外巡回原爆展 世 国連総会、包括的核実験禁止を採択
平9	1. 2	石 隠岐島沖でタンカー沈没、重油流出	1. 24 3. 22 3. 30 4. 1	日 文相、2003年度から学校週5日制を完全実施の方針 日 秋田新幹線開業 日 三井三池鉱閉山 日 消費税率5%に

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平9			4. 1	日 1週40時間労働完全実施 (中小企業は2年間の指導期間)
			2. 19	世 [中] 鄧小平没 (92)
			4. 23	世 [ペルー] 日本大使公邸占拠事件で特殊隊突入
			7. 1	世 香港、中国に返還
			10. 8	世 [北朝鮮] 金正日、総書記に就任
			12. 1	世 温暖化防止京都会議
			12. 18	世 [韓] 金大中、大統領選で当選
平10	8. 23	弥 市民震災訓練	2.7~2.22	日 長野冬季オリンピック開催
			3. 31	日 山一証券閉鎖
			4. 5	日 明石海峡大橋開通
			4. 18	日 エリツィン・ロ大統領来日
			6. 5	日 改正学校教育法成立
			6. 5	日 改正国連平和維持協力法成立
			6. 11	日 日中共产党関係正常化を合意
			7. 25	日 和歌山市で毒入りカレー事件、4人死亡
			7. 30	日 橋本龍太郎にかわり小淵恵三内閣成立
			8. 31	日 防衛庁、北朝鮮弾道ミサイルが三陸沖に着弾と発表
			10. 7	日 金大中韓国大統領が来日
			10. 21	日 改正祝日法成立
			5. 4	世 [インドネシア] 暴動発生
			5. 11	世 [インド] 地下核実験
			5. 28	世 [パキスタン] 地下核実験
			11. 24	世 国連軍縮長崎会議開催
			12. 4	世 国連総会、核軍縮決議を採択
平11	4. 10	弥 初の弥生さくらまつりの開催	1. 19	日 奈良県で飛鳥池遺跡で日本最古の鏡・貨幣発掘
			5. 1	日 本四連絡橋「瀬戸内しまなみ海道」開通
			5. 7	日 情報公開法成立
			5. 24	日 新ガイドライン関連法成立
			8. 9	日 日の丸・君が代を国旗・国歌とする法律成立
			9. 30	日 茨城県東海村のJCOで臨界事故発生
			1. 1	世 EUの単一通貨ユーロ導入
			3. 1	世 対人地雷禁止条約発効
			6. 10	世 NATO、ユーゴ軍のコソボからの撤退合意で空爆停止
			6. 18	世 第25回主要国首脳会議開催
			10. 1	世 ロシア軍、チェチェン共和国に侵攻
			12. 20	世 マカオ、ポルトガルが中国に返還
平12	8. 20	弥 初めて弥生の散歩道 (旧街道) をたどる。	3. 31	日 有珠山爆発
			4. 5	日 森喜朗内閣発足
			5. 3	日 17歳少年がバスジャック

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平12			6. 29 7. 1 9. 1 9. 3 10. 1 1. 1 2. 6 3. 26 6. 13 9. 15 10. 23 11. 7 11. 21	日 雪印乳業の低脂肪乳で集団食中毒事件 日 金融庁発足 日 三宅村が全島避難 日 プーチン・ロ大統領が来日 日 第17回国勢調査 (人口1億2,691万9,288人) 世 アメリカの永久租借地パナマ運河がパナマに返還 世 〔ロ〕 チェチェンの首都グロヌイを制圧 世 〔ロ〕 大統領選でプーチン当選 世 韓国金大中大統領、北朝鮮訪問 世 第27回オリンピック (シドニー) 開催 世 米国務長官、北朝鮮訪問 世 〔米〕 大統領選でブッシュが当選 世 〔ペルー〕 国会、フジモリ大統領を罷免
平13	1. 15 1. 18 1. 20 1. 30 2. 13 2. 17 2. 21 2. 25 3. 13 3. 18 3. 23 3. 28 3. 29	石 12月の県人口 118万1,270人 41万2,238世帯 男57万2,443人 女60万8,827人 石 15年ぶりの大雪 金沢73センチ、白峰231センチ 金沢でラッセル車初出動 石 大雪で北陸線の特急すべて運休 石 県民総出で、20年ぶりの除雪 弥 ふくろう作り (15名で) リサイクルの布でふくろう作り 近くのお年寄りや一人暮らしの人に贈呈 弥 毎月第1水曜日、第3土曜日 どんぐりの会 古い服地でベスト、ブラウス、マイバッグ、小物等々の作品作り 弥 弥生環境委員会発足 市の環境保全課から2名出席し環境学習 弥 世代間交流料理教室 (学童と主婦で中華まんじゅうをつくる) 金 金沢城址で百万石博 二の丸広場に6パビリオン、来年3月の大河ドラマに合わせ 弥 コーラス・芸能フェスティバルに弥生コーラスが発表 石 宮守堀9000平方メートルを復元、県の計画 弥 初代弥生公民館委員長橋本芳契氏死去 金 金沢外環状道路 涌波トンネルが起工 石 北陸鉄道浅野川線・金沢地下駅供用開始 石 北電志賀原発の使用済み核燃料を六ヶ	1. 6 1. 6 1. 19 1. 23 1. 26 2. 8 2. 10 2. 13 3. 10 3. 30 4. 27 4. 29 5. 6	日 政府は1府22省庁から1府12省庁へ 日 金沢弥生出身の参院議員杵掛哲男環境政務次官は環境副大臣に就任 日 来年のNHK大河ドラマ「利家とまつ」の主演は唐沢寿明と松嶋菜々子に 日 外務省、松尾克俊要人外国訪問支援室長を徴戒免職 日 消費者物価 最大0.7%の下げ 日 捨て身の救助無残、山手線新大久保駅 韓国大学生カメラマン李秀賢の死亡事故 日 東証 1時1万3,000円割れ…2年4か月ぶり 日 1月卸売物価0.2パーセント下落 日 宇和島水産高実習船、ハワイ沖で米原潜と衝突、9人不明、12人負傷 「救助せず」原潜に怒り 日 日銀 (約5年半ぶり) 公定歩合を0.35%に下げ史上最低を更新 日 機密費4,200万円詐取容疑で警視庁は外務省の松尾元要人外国訪問支援室長を逮捕 日 消費者物価、下げ幅最大で初の2年連続下落 日 森内閣に代わり、小泉内閣が発足 女性閣僚は田中外相ら最多5人 日 小泉内閣支持率86% 日 総務省が「子供の日」にちなんで4日まとめた人口推計によると、4月1日現在の15歳未満の子どもの数は1,834万人で昨年より24万人減少した。少子化の流れは止まらず

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平13		所村へ初輸送		男子941万人、女子893万人で男女差は昨年より2万人広がった。総人口に占める子どもの割合も昨年を0.3ポイント下回り、戦後最低の14.4%となった。
	3. 31	金 金沢市埋蔵文化センターは同市高岡町遺跡から江戸後期のいぶし鬼面瓦が出土したと発表		都道府県別の人口に対する子供の割合では、石川は14.7%で26位だった。
	4. 2	石 のと鉄道輪島一穴水 65年の歴史に幕 20.4km	5. 18	日 5月17日の時事通信社の世論調査
	4. 5	金 金沢市は2日、市内全域で容器包装プラスチックの分別回収を始めた。今後は月2回、資源ごみとして回収		小泉内閣の支持率は72.8% (細川内閣の67.4%)を抜き、過去最高
	4. 19	金 金沢市は8日に同市彦三町1丁目に「中央公民館彦三館」を開設する。	5. 24	日 小泉首相の政治判断でハンセン病訴訟の控訴を断念
	4. 19	石 〔七尾〕前田利家が築いた七尾の小丸山城跡に櫓台跡や土塁跡などの城郭の基本骨格が残っていることを確認	5. 24	日 全患者対象に損失補償 今国会で立法措置 (補償金は600億円)
	4. 21	石 金沢城址公園の菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓の建物がほぼ完成し、加賀百万石の栄華がよみがえる。全容は5月末に	5. 30	日 国連報告、初症例から20年間でエイズ死は2,200万人にのぼる。
	4. 26	金 金沢の観光ボランティア「まいどさんの家」を長町などに設置する。(ひがし茶屋街、長町武家屋敷、石川門の3か所)	6. 11	日 1～3月期GDP (国内総生産)は年率0.8%減、2期ぶりマイナス
	4. 28	金 金沢東別院で蓮如の遺徳しのぶ御遠忌法要に5千人	6. 15	日 北海道縄文遺跡から世界最古の漆製品
	4. 30	石 「金沢城・城下町の学術研究プロジェクト」は金沢城の城郭の北東にある丑寅櫓台下の石垣が城内で最も古く天正年間 (1573—1592)に前田利家が築いた可能性が大きいことを確認した。	8. 13	日 小泉首相の靖国神社参拝が問題化
		本丸の北東、高さ5メートル、犀川や能登の石を粗い方法で積んだもの	10. 5	日 秩父原人なる東北旧石器の40遺跡で発掘のねつ造があったとして、教科書の記述の記述・修正がせまられている。
	5. 10	石 石川県が金沢市二俣町の森下川上流で進めてきた「医王ダム」の完工式開催。着工から24年を経た完成	1. 8	世 〔米〕次期大統領に共和党ブッシュ正式当選
		農業用ダムでは県内最大規模。治水・利水の両面の機能をもつ	1. 13	世 〔エルサルバドル〕M7.6の激震、行方不明約1,200人
	5. 17	石 明治期の書家、北方心泉が収集した蔵品などを展示する「心泉記念館」が金沢市小将町の常福寺に完成	1. 24	世 世界の失業者1億6,000万人
	5. 27	石 北陸新幹線 上越—富山間起工 南越までの着工促進	1. 26	世 〔インド〕インド西部でM7.9の大地震
	5. 31	石 金沢城菱櫓、五十間長屋、橋爪門続櫓、7月完成めざして威容をみせる。		死者推定 2万5,000人 不明 12万人 被害 6,000億円以上
		石 金沢城址二の丸御殿を復元 来年の百万石博、玄関部分を築城、屋外に能舞台	2. 4	世 政府、インド大地震に自衛隊約100人を派遣
	6. 10	弥 弥生公民館が野町校下の寺院見学	2. 12	世 〔米〕無人小惑星探査機が地球から約3億1,500万キロの小惑星エロスに軟着陸
	6. 12	金 金沢市教委学校評議員296人を委嘱 27—86歳 女性3割 校長は評議員から意見を聞き、学校	2. 13	世 〔米〕ブッシュ大統領、えひめ丸事件で森首相へ電話で正式謝罪
			2. 14	世 〔エルサルバドル〕M6.1の地震、死亡173人、負傷1,500人以上
			2. 15	世 〔スイス〕地球温暖化の影響で2025年には50億人が水不足、5mの海面上昇説
			3. 2	世 〔アフガニスタン〕タリバン政権が中部バミヤンの石窟群の仏像に砲撃 (6～9世紀 55メートル級)
			3. 27	世 〔アフガニスタン〕大仏2体、完全破壊、タリバン政権が公開

年	月 日	石 (石川の歴史) 金 (金沢の歴史) 弥 (弥生の歴史)	月 日	日 (日本の歴史) 世 (世界の歴史)
平13	6. 19	石 運営に取り入れる。 松任市 市合同成人式を中止 来年から中学校単位で マナーの悪さなどが原因	5. 14	世 北方領土交渉でロシア譲歩 「歯舞諸島、色丹島の返還」と「国 後、択捉両島問題の協議」に
	6. 20	石 金沢市消防本部 移転先を泉本町に (北日本紡績敷地) 施設老朽化 3年後の開設目指す サイレンは騒音と味噌蔵は反対の声	6. 7	世 地中海超特急が開通 パリーマルセイユ間3時間に
	9. 8	石 11月11日まで金沢城址公園で「夢みど りいしかわ2001」展開催	6. 12	世 ドイツ原発30年後全廃(国内19基)シ ュレーダー首相電力4社と協定
	9. 12	石 洋・邦楽の殿堂の石川県立音楽堂がオ ープンした。	6. 19	世 中国日本製3品目に特別関税
	10. 10	金 第29回泉鏡花文学賞に久世光彦『蕭々 館日録』笹野頼子『幽界森娘異聞』	9. 11	世 アメリカ本土で民間航空機乗っ取りに よる同時多発事故がおきる。アメリカ 政府は今回の奇襲がアフガニスタンの ウサマ・ビンラディン指揮のタリバン によるものと断定。
			10. 6	世 アメリカ大リーグのマリナーズの日本 人選手イチローの打率3割5分、241 安打、56盗塁の快記録
			10. 7	世 米・英空軍アフガン軍事施設にミサイ ル空爆開始
		10. 11	世 野依良治名大教授にノーベル化学賞	
平14	3. 10	弥 弥生公民館50周年記念式、『弥生公民 館50周年記念誌』発刊		

あとがき

荒木 郁雄

昭和二十六年十月に「弥生公民館」が誕生して、五十周年を迎えるにあたり、平成十四年三月の記念式典を目的に、「五十周年記念誌」の発行が決まり、平成十三年三月に編集委員会が発足しました。編集にあたり、館報記事を中心に公民館活動の歴史を記録するとともに、古くから公民館活動に携わってこられた方々の座談会の開催、校下の方々に対し、公民館活動についてのアンケートの実施などをとおこないました。

弥生の地形、気象について、守屋以智雄氏、宮一郎氏に特別寄稿を頂いたほか、諸団体から活動状況記事の提供がありました。

これら原稿を頂いた方々、執筆の中心を担って来られた奥谷陽一氏をはじめ、長期にわたり執筆に編集に校正に労を惜まず、献身的に努力された編集委員の方々に、心から感謝申し上げます。

また、アンケートの回答にご協力頂いた校下の方々、適切な指導とアドバイスを頂いた松下館長、埃まみれになりながら、古い資料の収集や連絡調整にあたられた寺西主事、黒田事務員に厚くお礼申し上げます。

五十周年記念誌編集委員会

会長 松下 良

編集委員長 荒木 郁雄

編集副委員長 奥谷陽一

編集委員 酒井守三

〃 坂本朝子

〃 田辺和代

弥生公民館五十周年記念誌

平成十四年三月十日 発行

編纂 弥生公民館五十周年記念誌編集委員会

発行 弥生公民館

金沢市弥生一丁目二九番一三号

電話（〇七六）二四一―二三二九

印刷 株式会社橋本確文堂

金沢市増泉四丁目十番十号

